滿洲日報

外務、陸軍の意見一致し ゆふべ我代表に回訓
協調的態度を明かにす

【東京七日發】理事會決議案及び匪賊討伐權に關する留保條項の措置方に關し七日午後外務省に於て外務、陸軍兩當局會議の結果、パリの我が代表部よりの請訓に對する回訓案は外務當局案を執る事に意見の一致をみるに至り幣原外相より若槻首相、南陸相の諒解を求め同夜外務省より芳澤代表に回訓が發せられた右の內容は

一、匪賊討伐權の留保は決議案上程の際芳澤大使より明確に留保聲明をなし決議案の條件附受諾を明かにする事但し支那側の對抗的留保聲明は許さぬ事

一、決議案第五項の支那調査委員會の權限に關しては現地に於て九月三十日の決議の履行狀況に關し理事會は之れに報告を命ずる事を得となすの外勸告をなす等の權限は附與せざる事

支那の反對を顧みず 公開會議開會か

【東京七日發】日本政府は理事會の妥協案を受諾に決した結果、理事會としては支那側を說得し決議草案を受諾せしめ公開會議を開き一先づ打切る段取となつてゐるが、支那は自ら提議した中立地帶案を撤回せるほか日本の滿洲に於ける駐兵權を否認せんとする無法なる留保を爲さんとしてをり、理事會はこの情勢を憂慮し支那が飽くまで決議案に反對の態度を執るに於ては聯盟の權威失墜の外ないので斯る場合別途を撰ぶべきだとの意見最近聯盟內に有力となつてゐる、卽ち理事會が今日まで努力し來つた日支紛爭の實際的解決方法を捨て、決議案をも犧牲にし支那の反對を顧みず聯盟本來の原則に立ち歸り八、九日ごろ公開會議を開き九月卅日の決議を再確認する程度の勸告案を上程一應理事會を打切らんとするものだが、斯くなれば支那は世界の公論の前に糺彈を受ける事は免れないだらうといはる

中立地帶の區域は 小凌河から山海關の間
外務省から芳澤大使に回訓

【東京七日發】理事會の中立地帶に關する質問書に對し外務省は七日芳澤代表に回訓したが、右區域に關する日本政府の見解は小凌河より山海關（約百二十哩）に至るまでゞある

今村司令官等を滿鐵招待

內田、江口滿鐵正副總裁は七日晚練習艦隊司令官今村中將以下將校を滿洲館に招宴する

幣原外相首相訪問

【東京七日發】幣原外相は七日午後四時、若槻首相を訪ひ聯盟に對する我最後的回訓につき報告した

秘密會議 八日午前一時より開會

【パリ七日發】理事會決議起草委員會は七日午前十一時より會議を開いてゐるが支那代表施肇基氏は會議に出席密議を凝らしてゐる、十二箇國會議は午後五時（滿洲時間八日午前一時）より開會の豫定である

內相、首相と會見

【東京七日發】安達內相は今朝十時若槻首相と會見園公訪問の顛末を報告する處があつた

支那の不誠意で交涉纏らず
重光公使上海に引揚ぐ

【南京七日發】錦州中立地帶問題で外交部長顧維鈞氏と折衝中だつた重光公使は支那側の不誠意から交涉成立の餘地なしと見て七日、日淸汽船で上海へ引揚げたが往訪の記者に對し

錦州中立地帶設置問題は現下の兩國々難を打破する唯一の方途であるに拘らず支那側が誠意を示さぬ以上如何とも致し方ないその結果が日支兩軍に及ぼす反動は恐るべきものと憂慮されると顧氏の不誠意を痛烈に指摘してゐる

學良の操縱する不逞團

張學良は滿洲各地の擾亂を圖り盛んに別働隊、邀擊隊を基幹とし馬賊を糾合して組織せる義勇軍並に純馬賊を操縱してゐる、その配置は圖表に示す如くである、因に別働隊の勢力は約一九、〇〇〇にして更に義勇軍六大隊（約五千）を組織中、純馬賊數は遼寧全省に於て五、六千ある見込

別働隊　義勇軍　純馬賊

張學良の別働隊や 匪賊團一齊に活動開始

奉天包圍の隊形にある張學良の別働隊と匪賊團は南北一齊に活動を開始しわが軍警當局はいちいち之が討伐に努力してゐるが、彼等がかく行動を開始し來れるは我軍の遼河東岸よりの撤退により錦州政府との聯絡容易となり（一）滿鐵線東部の匪賊五千の活動に便ならしめた上（二）張學良からの軍費一齊に行きわたり（三）遼河、大凌河の氷結により活動自由となりたるによる【奉天電話】

張學良自ら錦州に出動
對日作戰に當ると通電

張學良は部下少壯派の主戰論に引ずられ一方蔣介石牽制のため自ら錦州に出動し對日作戰に當るべき旨七日電報した【奉天電話】

學生の運動 國府が抑壓
政治運動の理由で

【漢口七日發】各地で續發しつゝある學生の愛國軍事行動は其の實愛國に名をかる政治作用が多分に含まれて居るとの理由で國民政府はこれが嚴重取締方を武漢行營に命じて來たので昨夕來戒嚴令を布き學生運動を抑壓して居る

顧氏辭職理由

【上海六日發】外交部長顧維鈞氏の辭職理由は過勞のためとあるが實は學生其他から不人氣で辭職勸告を受け政府との間に板挾みとなり動きがとれなくなつたゝめといはれてゐる

モスクワ政府の御機嫌取に腐心
學良が窮餘の一策に

張學良は窮餘の一策として又も親露政策に腐心し死中に活路を見出さんとしてゐる、卽ち勞農ロシアと馬占山との連繫を圖らしむることにより黑龍江省の奪回をもくろんでゐるが彼は先年露支紛爭以來モスクワ政府の感情を害してゐるので、日本は北滿において白系露人を手先に使ひ露境侵入を圖つてゐると宣傳しその歡心を買はんとしてゐる

馬占山の行動 監視方を要請
張景惠氏が皇軍に

ハルビンにおける趙仲仁と徐寶珍との策動その功を奏し馬占山の態度急變を來した、卽ち張景惠に對し黑龍江の鹽稅剩餘金五十萬元の引渡しを迫ると共に自らチチハルに入り黑龍江政權の支配者たらんとする氣配が見えて來たので張景惠氏はチチハル行を中止すると共に日本軍に對し馬占山の行動監視方を要請した【奉天電話】

錦州政府が操縱の馬匪賊が益々增加
漸次滿鐵沿線方面に進み來る
二宮參謀次長視察談

【東京七日發】二宮參謀次長は中央部の重要使命を帶びて去月十七日滿洲に派遣され今後の滿洲對策について關東軍司令部の意向を聽取すると共に中央部の方針を示し更に各地の軍情を視察し七日午前八時半東京驛着の列車で渡歐米課長、長谷川副官を帶同して歸京した、同驛ホテルで小憩後直に參謀本部に到り金谷參謀總長ほか首腦部に報告したが途中車中にて左の如く語つた

吉林を 除いて北はチチハルから南は新民に至るまでに我軍の出動してゐる地方は全部視察すると共に本庄軍司令官から種々腹藏ない意見を聽取して來た、各幕僚の意見はなかなか強硬ではある、政府方面に滿洲對策委員會を設けるといふ事は自分が奉天を出發した後に起つたものだが斯る機關を設ける事は外國に疑惑を持たせる、田中內閣當時の東方會議の

二の舞 の如き結果になりはせぬか、殊に今更年寄連中を集めて見たつて仕方がないではないか、これに對し留守中陸軍中央部の方針がどう決まつたか知らないが關東軍の今後の滿洲對策を如何にしたいかの考へが種々多い譯である、自分も意見があるが話す譯に行かない、錦州方面の事態も最近は馬賊土匪等殆んど錦州政府が操縱してゐるもののみで然も完全に武裝した者が多くその數も次第に增加して二萬五千位あらう、これが漸次滿鐵沿線方面に進みつゝあるのは確實で錦州には奉天軍も三萬はゐる、內地から續々送つて來るところの種々の

慰問品 は軍は心から感謝してゐるが然し一人に御守が三十枚、齒刷子手拭が二十本と云ふので殊に御守の始末には困つてゐる、慰問品は金で送つて軍で必要な品物を買求めるが最もいゝ都合である

滿鐵附屬地內の わが駐兵權を否認
支那が施代表に訓電

【南京七日發】國民政府外交部は昨夜施肇基代表に對し理事會決議案、ブリアン議長の宣言に關し重大なる保留をなすべき旨訓電した、その內容は滿鐵附屬地內に於ける日本の駐兵權を根本より否認したものである

依然、滿洲の治安を 脅威すれば斷乎處置
一應錦州軍の撤兵を要求の上
參謀本部の肚決まる

【東京七日發】參謀本部では七日午前十時より滿洲視察より歸京せる二宮次長を加へ金谷參謀總長以下首腦部出席の上二宮次長の報告を聽取したるのち錦州方面の對策につき重要協議をなした結果參謀本部としては**錦州軍の撤兵を要求し萬一これに應ぜず依然現狀を續け滿洲の治安を脅威するに於ては自衛上斷乎たる處置に出づる事に一決した** 而して錦州攻擊斷行となれば內地より增兵を要し姬路の第十師團が候補に押されてゐるが軍制改革案の結果八年度より滿洲に移駐さるべき第十四師團の一部を先發せしめてはとの說もあり今日のところ未定である

支那側態度如何で 事態再び重大化か

【東京七日發】陸軍外務兩當局の一致協議の結果、錦州方面の事態を憂慮し直に矢野參事官をして張學良に警告を發せしめたが、學良はこれを無視しその後事態は益々緊張しつゝあるから今後支那側の態度如何では事態再び重大化するものと觀てゐる

反復常なき 支那の軍事行動や外交
益窮地に陷れるもの
駐日勞農ロシヤ大使談

駐日勞農ロシア大使メリニコフ氏は七日午後二時安奉線にて着奉、同三時半長春に向つたが氏は滿洲問題に關する記者の質問に對し確答を避けながら語る

滿洲事變に對し日本軍の執つた行動についてはこれが批評は、この際さし控へるが支那當局の反復常なき外交乃至軍事行動は益々支那自體を窮地に陷れるもので、このまゝ進めば四分五裂の昔に還り國民革命の前途逆睹し難きものがある、さてロシアとしてこの時局に面し東支線その他の北滿の權益を如何に擁護するかはモスクワ政府の關するところでわれ等在外人士の關知し得ざるところである、今回の歸國も本國政府の命によるので特に深い理由のあるわけでない、余は一日も速かに滿蒙の平和の招來せんことを切望するのみだ【奉天電話】

軍縮全權の任命と訓令

【東京七日發】政府は八日軍縮會議日本全權松平大使以下三全權顧員を上奏任命する事となつたが、九日の定例閣議で全權に對する帝國政府の訓令案を決定し上奏の上全權に手交する事となつた

安達內相靜養

【東京六日發】興津に西園寺公を訪問した安達內相は五日午後四時五十五分東京歸着直に內相官邸に入り大塚惟精氏、高橋警視總監と約三十分間會談六時私邸に歸り山道幹事長、中野正剛氏と會談七時半橫濱の別莊に赴いた

大勢を動かし目的達成
安達內相の意圖

【東京六日發】政府側の觀測によれば安達內相が西園寺公を訪問せることは過般の問題の事情を說明し聯立內閣について述べたのである、しかし園公は「三派內閣位は出來ますれ」と答へたるに鑑み園公の意壯も想像される、而して若槻首相が飽くまで時局切拔けに當ると言明し居ることを園公が承知してゐる以上安達內相の訪問によりこの考へが變るとは思はれぬ、勿論安達內相は協力內閣說を捨てゝ現狀維持で進むとは報告してゐないだらうし、園公も「協力內閣も結構だが充分愼重にされたい」位の程度が落ちだらうと見てゐる斯くして安達內相は黨を動かしその大勢を以て若槻首相を屈服せしむる方法を執るべく政友會が贊成し黨內亦大勢を造らば事は一擧に成るとの目策を持つてゐると見らる

北海道と青森へ 罹災救助金貸出

【東京七日發】內務省では北海道並に青森縣下の不作救濟金として青森縣へ十四萬二千圓、北海道へ三十一萬五百八十圓合計四十五萬餘圓及び大豆の種籾を罹災救助基金のうちより貸出す事を認可し七日それぞれ指令を發した

京城株取增配

京城株取は重役會に於て今期一分增配の三分配に內定したと

奉天新政權の陣容全く成る
之から基礎を固めねばならぬ
金璧東氏は語る

去る五日奉天電信管理局長に新任した吉長吉敦鐵道局長金璧東氏は七日往訪の記者に對し滿洲の新政權に關し左の通り語る

奉天政府は今や陣容全く成り軍部、財政各機關それぞれ活動を開始しつゝあり、殊に政治の公開、租稅の輕減は大いに省民の賞讚を博し滿洲の中央政權問題は未だ具體化するに至らぬが近く開催の三省首腦者會議において決定をみるべく、之に先きだち速やかに錦州政府の驅逐から地方機關を救び出し、新政權確立の基礎を固めねばならぬ【奉天電話】

社説

護國祈願祭に就て

市民諸氏に深謝

六日我社が主催者となり、大連神社に於いて舉行した護國祈願祭は、事實豫期通りの盛儀であつた。斯樣に盛大な祭事と、眞劍にして、しかも熾烈な氣魄のほとばしつた市民運動は、曾て大連にあつては一度も見聞したことがない、と此土地に古くから在住する市民諸氏が一樣に話して居た。いかにもその通りである。昨紙にも報じた通り、當日の祈願祭に參加した市內の各團體は、總數百二十餘の多きを算し、それがあらゆる階級、あらゆる方面を網羅してゐたことに於て、正しく全市民の祈願祭であつた。又或る意味に於て全市民の大示威運動共いふべきものであつた。我社はこの企を發意した當初から、深くこのことを念じ、希くはこの祈願祭が我社一個の催しでなく、全市民の祈願祭であれかしと祈つて居た。果然この切望が達せられて、この未曾有の盛儀を見るに至つた。畢竟市民諸氏の胸奧深く內在してる報國の赤心が、我社の發意によつて流露合體したものである。國家の爲め、取り分け時局がら吾人の慶賀措かざるところである。

◇

實のところ我等は、大連市民に對する多少の批評を聞いた。その第一は、時局への關心ぶりが聊か微弱であるといふことである。同じく在滿の日本國民として、奧地在住の同胞に比し、獨り大連市民のみが、その心理に左樣な差別などあるべき筈がないが、併し事變發生地の奉天市民、乃至出動皇軍の勞苦を日常親しく目睹してゐる奧地の同胞に比ぶれば、或はその氣持に多少不緊張な處があつたかも知れない。然るに近來の大連市民は、全部を舉げて、異常に熱烈な關心を時局に持ち出して來た。事變以來、各地の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた勇士の遺骨がつぎ〳〵にこの地を通過し、その都度執り行はるゝ慰靈祭に參列するにつけても、市民の神經は彌が上に刺戟されて來た。また後送さるゝ傷ましい傷病兵諸氏を迎へても、大いに深察の情が溢れて來た。さらに聯盟理事會の推移などに對しても、憤然として奮起した。近來隨處に見聞する時局美談、例へば恤兵獻金の爲めの少女の夕刊賣り、婦人團の街頭運出等、これ等の弱き婦人間にも、時局に對する熾烈な熱情が動き出して來たのを見るそしてこれ等全市民の大きな赤誠が一團となつて、如實に具象されたのが、今度の祈願祭である。これこそは正に蔽ふべからざる大事實で、同時に大連市民の時局に對する大決心、大覺悟のほどを明白に示したものである。

◇

我等は今回の護國祈願祭を以て、その效果を數字的に算定するものではない。さりながら、あの莊嚴な式典における參列者の異常な感激と祈念ぶり、乃至忠靈塔前に於けるあの天地も碎けよとばかり叫んだ萬歲の聲、それ等は幾千里の山河を越えてパリに、セネバに、乃至世界の都市に波長を送らなかつたであらうか。少くとも滿洲の一角から揚げた市民諸氏のこの大きな聲音は、必ずや世界に對して大きな反響を傳へるであらうことを信ずる。

按ふに滿蒙の天地は、今や嚇かに更始一新の氣運が磅礴として居る。その大地は新なる建設への叫びから、隨處に蠢いて居る。新なる建設とは何ぞや。多年兼然なる軍權の壓迫によつてこの黎明の滿蒙民生を指導しその新なる建設の支持者として三千萬民生の福祉を希求すべき大任が、一に吾帝國に繫つてゐることを想へば、我等はこゝに更めて深く省察せねばならない。我等は祈願祭の當日、社頭の一角より、前面一帶の地に密集して居る潮の如き市民の大衆を望んで、心先づ踊り、退いて社前に額ずいてこの日のこの盛儀を感謝した。しかもこの盛儀が一つの事故なしに完了せるにおいていかに市民諸氏が嚴正にその統制を保たれたかを明示された。吾人は昨日の紙上に於て取敢へず市民に對する挨拶を述べて置いたが、更に改めて本欄に於て謝意を表する。

稅制整理案と增稅案の要綱

きのふ閣議で決定

【東京七日發】今日の閣議で決定せる增稅案要綱並に稅制整理案要綱左の如し

增稅案要綱

一、所得稅の增徵

（一）法人の普通所得稅、生產所得稅につき所得金額百分の一、五を增徵す

（二）第二種所得稅につき所得金額百分の一を增徵す

（三）個人の所得稅につき五千圓を超ゆる所得者に對し稅額の五分を增徵す

（四）同族會社の加產稅につき所得稅法廿一條の二による稅額の五分を增徵す

二、ビール稅に對し一石につき五圓の增徵を行ふ

三、以上は三ケ年間の臨時增徵とす

稅制整理案要綱

一、所得稅

（一）法人所得稅を資本金十萬圓以下の小法人に對しては課稅せぬ事に改正す

（二）法人解散の場合清算分配金にして拂込み資本を超過する部分はこれを受くる個人の所得に綜合課稅する事とし合併の場合もこれに準ず

（三）預金部預金の利子を第二種所得稅とす

（四）特別賞與、記念賞與、退職手當、一時恩給等に對し課稅する事、けだし退職手當及一時恩給は五千圓を超ゆる金額に對してのみ課稅する事

（五）第三種所得の追加決定をなし得る期間を三ケ年に延長する事

二、資本利子稅

（一）資本利子稅の稅率百分の二を百分の四に引き上ぐ

（二）稅法施行地內に居住する者の稅法施行地外に於て支拂を受くる公債社債銀行預金の利子又は貸附信託の利益に對しては課稅す

（三）預金部預金の利子に對し課稅す

三、相續稅

（一）課稅價格百萬圓以上のものに對する稅率を引き上げ整理し最高率の適用を受くる課稅價格を二千萬圓を超ゆる金額とする事

（二）相續財產價格中不動產の價格が八割以上を占むるものに對しては年賦延納の期間を十年以內に延長す

（三）相續開始地が稅法施行地なる時は稅法施行地外にある相續財產に對しても課稅す

四、鑛業稅

（一）鑛山稅の半額を市町村に委讓する事とし昭和八年より實施す

五、酒稅

（一）アルコール中燒酎の原料として白酒、味醂、燒酎の使用を認め味醂の原料として清酒の使用を禁ずる事

六、取引所稅

（一）取引所外に於て行はるゝ差金取引を取引所稅脫稅行爲と見做し同稅法中に之れが取締り處罰に關する規定を設く

七、ガソリン稅

（一）ガソリン稅を創設しガソリン製造場、保稅區域より引き取る際取引人に對し百ガロンにつき一圓五十錢の稅率を以つて課稅す

心を籠めて

滿洲軍へ慰問袋

滿洲の野に寒さと戰ひつゝある皇軍のため色々な慰問品が陸軍省を通じ現地に送られつゝあるが、こゝに女生徒が一人々々眞心こめた慰問文を添へシャツ三千枚と下帶を贈ることになり大妻コタカ女史を校長とする麴町六番町の大妻高等女學校では女生徒の手によつて三千個の慰問袋を製作されてゐる【寫眞は同校にて慰問袋の製作を急ぐ生徒等】

明年度の豫算概算

歲出十四億七千九百九十九萬圓

歲入不足一億七千萬圓

【東京七日發】七日の閣議で決定せる明年度歲入歲出豫算概算左の如し（本計算は後日多少の異動は免れず）（單位千圓）

歲出閣議決定額	一、四七九、九〇〇
歲入概算額	一、三〇七、八〇〇
差引歲入不足額	一七二、一〇〇
右補塡內譯	
電話事業公債	一七、五〇〇
震災善後公債	七、七〇〇
失業公債	四一、七五〇
純不足額	一〇五、一五〇
右不足補塡計畫	
增稅	三〇、九三〇
關稅其の他	九、一四〇
公債	六五、〇八〇

稅制整理案は

けふ行財政審議會に附議す

【東京七日發】七日の定例閣議は午前十時半開會、井上藏相より增稅稅制整理案の修正點につき說明し與黨側の希望に依り曩に示した增稅案四千萬圓より九百十四萬圓を減じ、增稅額を三千九十三萬圓とした、而して九百十四萬圓の大部分は關稅增收に依るものである旨を報告し別項の如き案を滿場一致承認その結果政府は八日午前十時より行財政審議會を開き稅制整理案を附議決定し九日の閣議に於て增稅案國債發行額その他來年度歲入豫算案の全部を上程玆に明年度總豫算案の正式決定を見る事となつた

獨逸賠償問題

專門家委員會

七日からパリに召集

【パリ六日發】極度の財政逼迫に直面せるドイツ政府は過般賠償會その他の財務問題關係各方面に對して覺書を送り特別諮問委員會を七日からパリに召集する事となつたが、フランス側よりの報道によれば右覺書中、ドイツは同委員會において賠償に條件的に……更に起債をも賠償問題と關聯せしむべく希望せる模樣だが、フランス側は無條件賠償問題には絕對觸るゝべからざる事及び私的債務を償問題と混合すべからざる事を主張さるゝものと觀られてゐる

きのふの閣議

【東京七日發】七日の閣議は午前十時より首相官邸に開會、先づ井上藏相より增稅案の說明を爲し次いで南陸相より支那各方面の情報を報告したのち馬占山の公式報告によれば昂々溪における支那軍の戰死者六百名、負傷者五百名であると述べ、安保海相より上海學生騷ぎは大した惡化ない旨を報告し來る九日の閣議には軍縮會議の訓令案を決定する事を申合せ零時三十分散會した

民政黨幹部會

遂に失敗した英・印圓卓會議

印度國民會議派の自治運動

過去二ケ月間、英京ロンドンで開會中だつた第二回英印圓卓會議はまたも失敗に終つたこれが爲め業を煮やしたインド國民會議派では、早くも自治運動を開始せんとしてゐる、同派の兩袖ジャワハルル・ネール氏はカルカッタにおける演說において左の如く力說してゐる

我々はガンヂー氏の歸國を待たずして、全インドの消極的抵抗の大運動を至急開始しなければならぬ、何らかの新らしい鬪爭に出づることなくしてはインドの完全なる自治を獲得することは不可能である

×

然らば英印圓卓會議とは何か？それはインド將來の政體をどうしたらよいか、卽ちインドの憲法問題や政治問題に就て英印兩國代表が膝を交へての相談會である、今回の圓卓會議は第二回目のもので ある、第一回目は昨年十一月十二日から本年一月十九日迄開かれた第一回の會議にはガンヂー氏一派の國民會議派は參加しなかつたが今回の會議には參加してゐる、第二回目の會議は九月十四日開會され、十一月十四日を以て終了したが、委員會で行詰り、本會議開會までには立ち至らなかつた

×

第一回、第二回の圓卓會議とも會議の最大難關は、多數民族たるインド教徒と少數民族たる回教徒間の意見の扞格利害の衝突であつた

（註）インドの人口三億三千五百萬人中二億二千萬人迄はインド教徒で、回教徒は僅か七千八百萬人に過ぎない）

由來、兩教徒代表とも、インドの完全なる自治を要求する點に於ては一致してゐる、而してインドを將來聯邦組織にする事に就ては第一次圓卓會議に於て旣に意見一致し聯邦構成委員の任命を見た程である、然し新聯邦中央議會の議席の問題となると却々一致しない

×

今回の會議に於ても聯邦構成委員會の方は著るしく進捗し十一月初め旣に新聯邦中央議會制度に關する左の如き報告草案を完成してゐる

一、聯邦中央議會は上院及び下院の二院制度とす

一、上院は定員二百名、下院三百名とす、而して聯邦中各獨立侯國選出議員が新議員に於て占むべき數は、上院議員の四割卽ち八十名、下院三分一卽ち百名とす

一、上院議員は凡て各地方議員が之を選舉し、下院議員は廣汎な地域に亘る大選舉區の下に一定の制限資格により選舉民がその一部を選舉し、其他地主、實業家並に勞働者階級よりも特別の代表を送るものとす

×

然し各種族の議席問題を決する少數民族委員の方は一向進捗しなかつた

冷血な家主さん

避難一女子

◇妾共母子は最近天津から避難して參つたもので御座います。支那軍の襲擊により租界は非常な危機に陷り婦女子は生命からがら避難したので御座います。

◇妾共母子も當地に避難して參りまして事變の片附くまで家を借り度いと或家主さんの處へ參りました處が「天津の方ならドウせ二三ケ月でせうから」と斷られたので御座います。次ぎの家主さんは「母子さんだけで何も荷物もない樣では家賃が不安だから」と云はぬばかりの口吻で斷られました。三度目には「遠方の方だから三人以上の保證人が要ります」と面綺を言はれ體よく斷られました。然し、幸ひにも知人が居てお世話くだされて漸く落着く事を得てホッと致したので御座います。

◇避難民などに家を貸したら家賃が取れないと云ふ家主さんの心配は御尤もだと思ひます、然し斯る場合に私慾を離れて相互に助け合ふ處に日本人の麗しさと强さとが有るのではありますまいか、若しも、一片の溫かい同情をもつて心よく貸して戴いたならソノ御恩惠に對してもニ三ケ月の僅かな家賃を踏み倒す者がありませうか。

◇家主さんは大切な家賃を取るのが商賣ですから平時も戰事もないと言はるゝのは當然ではありませうが、餘りにも冷やかな態度だと思ひます。多くの家主さんの中にはコンナ冷血な人ばかりでは御座いますまいが今少しく哀れな避難者達に一片の溫情を注いで戴けないものでございませうか。

◇何等深い知己でもないのに避難者に對し厚い世話をされてゐる篤志家も有ると聽いて居ります、斯うした隱れたる篤志家の光が一部冷やかなる家主さんの爲めにソノ光を失ふことも遺憾では御座いますまいか。

『增稅は明かに內閣の政策破綻』

研究會は默過出來ぬ

【東京七日發】貴族院研究會は七日午前政務審査部各部長理事會を開き意見交換の結果現內閣が前議會に於て國民負擔輕減を標榜し減稅を斷行し乍ら財界不況の深刻化を餘所に增稅せんとするは明かに政策破綻であり研究會としてはこれを默過するを得ないとの强硬論に意見一致し今後愼重に調査研究するに決したが、增稅案に關しては旣に公正會も絕對反對を表明してゐる事でもあり本案を繞つて貴族院の形勢は頗る注目されて來た

天津市民

神經過敏の

【天津六日發】本日午後……

何んの彼んのと云つて居る……

東京市中銀行協定金利引上

在滿英國人治外法權撤廢反對を決議

生駒管理局長關東長官訪問

本日の附錄

本日滿報少年版及滿報附錄を添ふ

市況（七日）

株式　地場株保合

特產　新材料なく一般平調

商品　麻袋甦らす　綿糸軟弱

錢鈔　上海標金軟調　鈔票甦り

奧地市況

市場電報

東京株式　大阪株式　東京株式（短期）　大阪期米　神戶期米　東京期米　橫濱生糸　大阪綿糸　特戶特產

童話

丁ちゃんはどんぐり目

上田美山

丁ちゃんは毎日お教室の一番前に坐つてゐますからお友達の仲間ではごく小さい子供です。その上に瞳が少し大きいので歩いてゐるのを見るとあまりいゝかつかうではありません。でもその顔を見た時は何だかひきしまつた強さうなそして恐ろしい力が感ぜられるのでした、それは丁ちゃんの目が外の子供達よりも少し大きいのが原因かも知れません。丁ちゃんのお父さんが何時か斯う仰しやいました。

「うちの丁は幼稚園にも出しませんでしたそれはあまり大人びてゐるからどんなわるい子になるかも知れぬ」このお話で考へて見てもよほど内で腕白なんでせう。丁ちやんが入學するとすぐそれがわかりました。ところがある日先生が用事のためちよいと教室から出て行かれましたその留守の事です。丁ちゃんは強い。丁ちゃんには力がある。と皆にはつきりとみとめられました。丁ちゃんはすぐ教壇にかけ上つたさうですそして

「みんな靜かにしろ」

斯う云つた時、それはほんとうにみんなの子供達はその聲が馬鹿にはりのある大きな聲だつたのでびつくりしたさうです。

「みんな靜かに」

二度こんなに言はれた時教室は水をうつたやうにほんとうに靜かになりました。子供達はもはや眞劍に眞面目に本を見てゐました先生が見えた時の靜けさは實に今まで先生としては經驗のないまでに立派なものでした。そしてそれは丁ちゃんのお陰だつたこともすぐわかりましたそれから後は先生から時々

「みんなのお行儀を見ていたゞきます」

とかう丁ちゃんにお願ひする事もありました。そのたびに丁ちゃんは教壇にかけ上つて自分より大きい子供達をにらむのでした。そして丁ちゃんの力はみんなに日一日と認められました。ところがそれからしばらく後のことです。

「丁ちゃんは威張つてゐるね」

「丁ちゃんは生意氣だね」

「ちびのくせに」

「あんな大きなあたま」

こんな會話が教室の隅々に聞えるやうになりました、でも丁ちやんにはみんな遠慮してこそ〳〵話す程度でした。

秋のある日先生はみんなを連れて山遊びをしました子供達はあたゝかい日をあびて思ふ存分山をかけまはりました。そして特に喜んだのはどんぐりひろひでした。多い子供は十もひろひましたそしてみんなポケットに入れて學校にもつてかへりました。教室の机の上でみんながならべて勘定しました丁ちゃんも五つ六つひろつてゐました。

「どんぐりはほんとうにまるいね」

「うん毬のやうだ」

「猫の目だ」

「いやそれは丁ちゃんの目だよ」

最後のこの會話でみんなドット笑ひました。

「あゝどんぐり目の丁ちゃん」

どんなに面白かつたんでせう、みんなの子供達は何度も何度も言つて見ましたそして一寸元氣のよい剽軽者の子は少し大きい聲で

「丁ちゃんはどんぐり目」

と言ひました、それは少し位は丁ちゃんに聞えてもよからうと思つてゐたのでした。その時は丁ちやんには聞えませんでした。聞えたのはそれから五六日後の事ですさうく聞えました丁ちゃんは全く怒りました。

「何がどんぐり目か」

「何うしてどんぐり目か」

「言つて見ろ、言つて見ろ」

斯うぐん〳〵ある子供をせめてゐましたその子供はもう泣きさうでした。丁ちゃんはよほどこのどんぐり目が癪に障つたと見えますそれからはどんぐりを見つけ次第窓外に投すてたといひます。ところがこゝに可愛さうな事が起りました。丁ちゃんはお休みの時間にどうしたはずみかおとなりの教室の子と廊下でいやといふ程顔のカッチンコをしました。その時丁ちゃんはいたいので思ひきり泣きました。丁ちゃんとしてはそれは極めてまれなことでしたそれと一しよに丁ちゃんは目からパット火がとび出したやうに感じました。丁ちゃんはいたいと共によほどびつくりしました。いたさが少しやんだ時丁ちゃんは急いで洗面所に行つて火のとび出した目を洗ひましたそしてどうなつたかとうんと目をあけて鏡に向ひましたその時丁ちゃんはゆつくり自分の目の中を見ましたが何處から火が出たとも知る事ができませんでした。しかしその時

「僕の目はどんぐりのやうだ」

と始めてさとりました（をはり）

三

一 ソノ アクルバン モ オソク オホカミ ガ 三ビキ ヒツジ ヲ ヌスミ ニ デテ キマシタ

二 ウオー ウオート オホカミノ ウナル コエ ヲ キクト ヒツジ ハ コハクテ チイサクナッテ キマス

三 タイチヤン ト ニイサン ハ ヨク キレル ヤマガタナ ヲ モツテ オウチ ノ ナカカラ ノゾイテ キマシタ

四 オホカミ ハ ヒツジ ヲ クハウト パツト トビツク ヘウシ ニ バタン バタント アナ ニ オツコチタ

赤誠を現した 尊い恤兵献金

滿日婦人團本部で受付の分 百五十圓六十五錢

過日來本社内滿日婦人團本部では恤兵獻金を受附けてゐましたが、五日正午締切までに總計百五十圓六十五錢に達し、他に復興貯蓄債券五圓券三枚及び銅子兒三枚の獻金がありました、中でも小鳥の世話をして一錢づつためたお金をとゞけて來た小さい嬢ちやんや、庭掃除やお母さんの手助をした御ほうびのお金を獻金する小學生や、寒い中を附近の家々をすゝめて歩いて五錢、十錢と零細な金を集めて七十餘圓を本社にとゞけられた奇特な婦人など、係員もその美しい赤誠と尊い獻金に心を打たれました、この獻金は過日の街頭獻金と、四日の大演奏會の收益と合せて近く軍隊へ屆け出る事になつてゐます、因にこのほか多數の眞綿がとゞけられましたがこれも適宜の方法によつて出動軍人の手許に送ることになつてゐます

新年懸賞寫眞募集

課題　『新春』滿蒙を背景にしたもの
印書　八切以上（臺紙に貼附せず裏面に畫題住所姓名撮影場所を明記）
締切　十二月二十日限り
宛名　本社編輯局（應募印畫は返却せず）
賞金　一等一名五拾圓、二等一名二十圓、三等六名五圓

滿洲日報社

簡單て而も美味しい冬向きお料理

まあお試し下さい

色々の器具を要しないで家庭で簡單に、しかも誰にでも出來る冬向の美味しいお料理を御紹介いたしませう

鷄卵料理（一名スコットエッグス）

▲材料　茹鷄卵五ケ、挽肉八十匁、生鷄卵四ケ、メリケン粉一〇匁、パン粉三〇匁、食パン一切、牛脂一〇〇匁、鹽、胡椒少量

方法　茹鷄卵の皮をむき、少量のメリケン粉をふりかけておきます、食パンは水に浸し直に水を絞ります、挽肉に生鷄卵二ケと食パンの絞りたるものをよく混ぜ合はせて鹽及胡椒で味をつけ、その挽肉で前の茹鷄卵を包みます、包む時は肉の厚い所や薄い所が出來ないやうに平均して包むことが大切です、別に生鷄卵二ケをスープ皿か鉢に割つてかきまぜておきます挽肉で包んだ茹鷄卵をメリケン粉につけ次に鉢に割つた生鷄卵、次にパン粉と順次につけて、フライ鍋に牛脂を熱し、その中に入れてころがしながらフライします、これを縦に二つ切りとして（半分が一人前）裏漉した馬鈴薯か、ホーレン草の練り物を皿の中央に丸く輪の様に絞出器で絞るか、又は匙で皿の中央におき、その上に切口を上にして、フライした鷄卵をおき、クリームソースか、トマトソースをかけて供します（パン粉の代りにヴアーミセリ（洋素麺）を粗く粉にして使ひますと一層美味しくなります。

馬鈴薯の裏漉（マッシドポテトー）

▲材料　馬鈴薯三〇〇匁、牛乳一合、牛酪大匙一杯、鹽、胡椒少量

方法　馬鈴薯の皮をむき、ふかし芋の程度に茹で、熱い中に裏漉しにします、バタを鍋に入れ、弱火にかけて溶かしてその中に漉した馬鈴薯を入れ杓子でよくかきまぜ、それに牛乳一合を温めて加へてよく混ぜ、鹽、胡椒で味をつけます。

ホーレン草の裏漉（マッシドスピナッチ）

▲材料　ホーレン草三〇匁、馬鈴薯中位のもの三ケ、バタ大匙一杯、鹽、胡椒少量

方法　ホーレン草の根の部分を切り捨て、よく水洗ひして煮立つた湯の中に入れて柔かくなるまで茹でます、それを鍋より取り出し直に冷水に浸して冷し、充分水を絞つて肉挽器で挽くか、俎の上で細かに叩き、それを裏漉しておきます、馬鈴薯も皮をむいて茹で、前の様に裏漉にかけておきます、鍋にバタを入れて弱火にかけ、その中にホーレン草の裏漉したものを入れ、よくかきまぜ、次に馬鈴薯の裏漉したものを加へてかきまぜて後鹽、胡椒で味をつけます、これと同じ方法で山芋、人參、カボチヤ、玉葱、グリーンピース、栗、百合根、甘藷などで拵へる事もあります。

豚肉煮込料理（アラビヤンスチュー）

▲材料　豚肉（チョップ）十切、白米大匙十杯、玉葱二ケ、トマト三ケ、豚脂二〇匁、西洋唐辛子二ケ、鹽、胡椒少量、熱湯五合

方法　フライ鍋に豚脂を入れ火にかけて熱し、その中に豚肉を入れ、兩側を脂肪狐色にいため底の平な鍋の中に一つづゝ並べます一切につき大匙一杯の米と玉葱一切、トマト一切と、青唐辛子を細く切つてのせ、全體に鹽、胡椒をふりかけ、熱湯を注ぎ込み蓋をして天火で三時間より四時間焼いて供します、天火のない場合はストーブの上で焦げつかない様に注意して（若し焦げつきそうな場合は熱湯を少し加へ）豚肉や米の柔かくなるまで煮込んで供します、トマトは罐詰でも結構です。

ルシヤン、スープ

▲材料　馬鈴薯五〇匁、人參一〇〇匁、玉葱一〇〇匁、セロリ五莖、キャベツ一〇〇匁、蕪菁五〇匁、トマト三ケ、サヤ豆三〇匁、青唐辛子五ケ、ベーコン五〇匁、牛肉百五〇匁、トマトソース、茶カップ一杯、泡立クリーム五勺、ウスターソース、鹽、胡椒少量

方法　人參、玉葱、キャベツ、蕪菁、セロリを約一時角の一分厚さに切り、綺麗に水洗ひして水を切ります、馬鈴薯、サヤ豆、青唐辛子を同形に切つて、別に茹でておき、トマトは皮をむき、縦八つ切りとしておき、牛肉は三つ位に切つて鍋に入れ、水一升五合を加へ強火にかけて煮立て、上面の泡を網杓子で掬ひ取りて後それに人參キャベツの端切れを入れて弱火で肉が柔かくなるまで煮て充分柔かくなつたら肉を取り出し、汁は布巾で漉しておき、ベーコンは五分角、厚さ一分位に切り鍋に入れ強火にかけてかき混ぜると脂肪が出ますから、その時水洗ひしておいた人參、玉葱、キャベツ、カブラ、セロリをその中に入れて充分その脂肪でいため後、漉しておいた肉汁を加へて野菜類の柔かくなるまで弱火で煮、柔かくなりましたら、馬鈴薯、青唐辛子、サヤ豆、トマトを加へて鹽、胡椒、トマトソース、ウスターソースで味をつけ、なほ十五分程煮て、愈々出す時に肉を同形に切つてそれに加へ野菜とよく混ぜて皿に盛り、その上に泡立クリームを茶匙一杯浮して食卓に出します。

滿日各地版

平和と正義のため 全滿婦人團體團結
六日奉天の滿鐵社員倶樂部にて 聯合會の結盟式擧行

【奉天】既報全滿婦人團體聯合會の結盟式は六日朝奉天滿鐵社員倶樂部に於て擧行され時局に際し在滿日本婦人として平和と正義に邁進し内地婦人は勿論世界婦人に向つて趣意書を發し輿論の喚起に努力せんとする一大事業を決行することになつたがその趣意書及び規約は左の如し

趣意書

日本國民發展のため又民族協和のために選び分たれた滿蒙の地に平和と正義の理想郷を建設することは私共在滿同胞の双肩に荷せられた榮ある義務でございます

女性として母性としての立場から此の聖業に參加し聊かにても貢獻し度いとの念願は滿洲にある婦人一人々々の胸に潜む息み難き叫びでございました

今や時局に促されて私共女性は起ちました、次から次と各地に婦人團體の聯合組織が生み出されました、總ての婦人團體はそれぐに獨自の目標を有し乍らも女性の持つ眞意義と社會的使命とに於ては單一體であるべき事を要求されてゐるからでございます、然れば私共各地の婦人團體は更に大同團結の歩武を進めて茲に全滿婦人團體聯合會の結盟を爲すことゝなつたのでございます、婦人の力の加はらないところには社會の進歩も人類の向上も望まれません、私共は謙遜にけれども勇敢に女性の社會的使命を自覺し人道的義務を痛感するが故に起つたのでございます、私共は此の千載一遇の機會に寄しくも與へられた固き團結の力を提げて世界平和のために祖國正義のために在滿百萬の同胞と三千萬民衆の繁榮とのために最善の努力を致さん事を誓ひます

私共の胸には新生の歡喜が高鳴り、私共の五體には奉仕への熱意が充溢れて居ります、同志よ共に立ちませう、そして人類を最高の理想たる信と望と愛との世界に導き上ぐる「久遠の女性」の尊き使命を果たさうではございませんか

規約

一、全滿各地婦人聯合會は大同團結して全滿婦人團體聯合會を組織す

二、時局中取敢ず奉天婦人聯合會を以て幹事團體とし連絡運用の事務を委任す

三、本會事務所は當分奉天事務所地方課内に置く

四、本會の事業は左の如し

イ世界及母國婦人の輿論を喚起する事

ロ罹災民救濟

ハ軍隊傷病兵及遺族の慰問

ニ時局のため辛勞する警官、在鄕軍人及滿鐵社員等の慰問

ホ將來の團體運動に對する自己訓練

婦人團體聯合會の結盟式

萬歳の爆發 感激の歔り泣き
凱旋軍を迎へた長春

【長春】長春時局後援會では六日午後四時二十分凱旋する我駐朝第三旅團及步兵第四聯隊を歡迎すべく市内隨所の電柱その他に祝凱旋のビラ多數を貼付し驛前廣場には歡迎門を作つて賑々しい旗を張り廻し全市各戸には國旗を立て凱旋軍隊を迎へるには全力を擧げての準備が整つた、然るに一方軍用列車の長春着は最初午前十一時であつたが二時になり三時になり四時になるといふ遲着に市民の心はいらだち

雪空 の天からは午後二時頃よりあいにくの雨が落ち何んとなく氣を沈めしも四時二十分凱旋軍を乘せた臨時列車が驛ホームに入るやホームは期せずして萬歳の聲が天にも屆けと爆發し婦人團體の一角からはもう極度の感激から スヽリ泣く聲が聞え勇ましくも驛頭に整列した防寒具嚴々しい姿を見たときは老も若きも嬉し淚にそれは形容の出來ないシーンを現出した、凱旋兵は隊伍整々ホームから驛廣場に出づるや又も萬歳のドヨメキは全市に流れ時局後援會主催全市民の歡迎旅行列は長谷部旅團長を

先頭 に凱旋全軍隊、長春商業、長春高女、各小學校、青年訓練所、健兒團、時局援護會、長春婦人聯合會等殆ど全市總出で旗を振り萬歳を叫び、軍隊の行進ラツパ、商業生徒のバンドは歡迎行進の歩調を合せそぼ降る雨の中を日本橋通りから吉野町を經て長春神社へ凱旋として連り、神社に凱旋報告後第四聯隊から第三旅團司令部に至り破れるばかりの萬歳を三唱して散會したが斯る盛大な感激に滿ちた催しは長春未曾有のことで軍隊でも非常に感謝してゐた尙支那人、ロシア人方面が歡迎の小旗を押し立て、數百名參加したことは異彩を放つてゐた

巡邏中の我警官 便衣隊に襲はる
强打されて生命危篤

【長春】長春警察署管内東五條派出所勤務田村和友氏は六日午後二時十分頃管内警邏のため東五條通り香外鐵道ガート下貯炭場附近通行中後方より便衣隊らしき支那人數名より不意に頭部その他全身を强打され其場に昏倒するや賊は三不關方面へ向け逃走したこの急報に接した長春署では直に司法刑事をして現場に急行せしめ田村巡査を附近醫院に擔ぎ込み應急手當を加へたが生命危篤の診斷を受けたので更に滿鐵醫院に送り目下加療中だが生命危險と見られてゐる、一方刑事隊は附近一帶にかけ兇暴犯人の搜査に努めつゝある

鐵嶺衛戍病院 戰傷者の氏名

【鐵嶺】北滿の戰地に於て激戰の結果負傷せる勇士、或は嚴寒の爲め凍傷に罹れる我戰傷兵は數百名の多數に達したる模樣なるが當地衛戍病院に於て目下收容手當中のこれ等勇士は實に百六十五名の多數である、中には重傷に苦む者、亡き戰友の面影を追ひ戰死に洩れたる殘念がる勇士、右足右腕を失つて輕傷人の淚を誘ふ者等々在鐵市民は何れも心からなる慰安を與へ全快の一娘も早からん事を祈つてゐる、入院戰傷病兵の氏名及所屬部隊名は

戰傷患者の部

步兵第四聯、海野博、高橋俊之助、櫻内盛、高橋忠治郎、渡邊岩津、酒井静次、山形金之助、小池正、阿部新作、川村龜吉、末永次雄、阿部新次郎、阿部甚次郎、森田泰雄、佐藤泉、後藤實、沼下淸加納仁

步兵第二十九聯隊 小山田良久、高田溢

步兵第七十八聯隊 岡榮、中村保吉田熊市、堤德次郎、石原卯吉山田時定、松石留吉、岩永治郎來島德馬、吉田義夫

野砲兵第二聯隊 渡部竹八、野本作藏、永吉武雄、門間賢助、齋藤直平、田村増治

騎兵第二聯隊 曾根彦二工兵第二大隊 石田寅一、早坂直治、渡邊七男、若生源三郎

凍傷患者の部

步兵第四聯隊 阿部時雄、千葉男猪股捨三郎、菊地甚五郎、佐藤英一、門馬榮五郎、千葉長五郎

早坂勇、小村熊治、卜部内藏夫及川治右衛門、松本清雄、鈴木勝雄、大野篤、鈴木進、天野茂我妻武壽、庄司初穗、鈴太郎義相澤久五郎、今野正、菅原憲夫高橋一男、佐々木喜平、齋藤工高梨勇五郎、渡邊林藏、泉忠雄西條直吉、千葉重高、遠藤定夫高橋淸六、門馬甫、鄕右近智里千葉久司、小野吉雄、佐藤千秋本間吉四郎、佐藤勝雄、森幸作須藤正秀、佐藤幸八、鈴木利男須藤龜治、武田龜壽、大沼庄七千葉國四郎、尾形善左衛門、近藤幸之助、大槻佐一、大槻伍一本田市三、鈴木彌助、藤村[illegible]玉水壽、奥田傳、武藏仁太郎、加藤勘吉、高橋新吉、佐藤稔、杉村松、鹽谷淸三郎、阿部哲司千葉雄三、相馬孝三、岩佐寛一熊谷進一、菊地一郎、佐藤松壽工兵第二大隊 藤岡保

滿鐵消費組合の 撤廢運動再燃す
奉天商店協會で提唱

【奉天】數年來懸案となつてゐる滿鐵の消費組合撤廢問題に關し今回奉天商店協會で再び提唱し七日午後開催の第十六回役員會に於て右問題につき審議をなすことになつたが中村奉天商店協會長は語る

この問題は今まで何回となく提議され審議して來たがまだ何等具體的決定を見てゐない、元來滿鐵の消費組合なるものはその設置の當初社員に對し相當便宜を與へたいといふ所から日常雜貨品のみを販賣する筈であつたしかし近來は吳服も賣つてゐるし、魚菜も賣つてゐる、床屋もあれば風呂もある、これでは市中一般の商人がどうあせつても立ち行かれぬことは明瞭なことで在滿廿萬同胞の約半數を占めてゐる滿鐵社員がこの消費組合に吸集され殘る半數の在滿邦人を相手とする邦商の經濟的發展も期待することは出來ないと考へてゐる、今市中の小賣商店の値段と消費組合の値段を比較すると市中商店には消費組合より安價なものが約半分位ある、從つて消費組合にも市中商店より安いものが半分あるが、組合としても社給品として仕入なかつたらそう安く賣ることは出來ない筈である將來滿蒙における經濟的發展を期せんとするなら先づ在滿邦商の活躍を十分可能ならしめると共に集團的商品の販賣機關を速に撤廢する要があると思つてゐる

最近の法庫門
全くの死の街

【鐵嶺】法庫門市街には多數の支那正規兵が駐屯する如く傳へられてゐたが最近歸來者の談によれば去月中旬頃までは事實二千近くの正規兵駐屯しゐたりしも其後各地に出動し或は彰武縣方面に移動して今は一兵もなく、市街の治安維持は公安隊と自警團約四百名がこれにあたり市街の周圍には高壓電流を通じた鐵條網を張り、通行のものに對しては極めて嚴重なる身體檢査を行ひ表面何等異狀なく平穩ではあるが市中の寂れ方は今昔の感深きものあり各商店とも閉鎖し全く陰慘な市街に化してゐる

床屋さんの 勞力奉仕
兵隊さんも 久しぶりで散髪

【鐵嶺】鐵嶺理髮業組合員は鐵嶺衛戍病院入院中の我戰傷病患者に對して何等かの方法を以て慰安せんと協議中であつたが金錢物品を贈つて慰問せんとする議も出たけれど各地轉戰中未だ一回の散髮もせぬ勇士ありと聞き自らの勞力によつて慰安奉仕するに如かずとの意見纏まり病院と交渉の結果病院側でも其誠意を多として其希望を容れ理髮同業者も大ひに喜び六日午後六軒全部一齊に臨時休業して病院に赴きお手のものゝバリカンと鋏で以て心からなる勞力奉仕をした尙十三日の日曜日も半日を奉仕する筈であると、斯の如く全鐵嶺市民の眞心籠る慰安によつて多數の戰傷患者は日々に慰めら れ全快の日を待つてゐるが狹い鐵嶺にも時局の生んだ斯うした美談は少くない

鮮人の避難者

【鐵嶺】敗兵や匪賊の迫害に堪へ兼ね鐵嶺を絶對安全の地として避難して來る鮮農の群は今も尙續出しつゝあり從つて朝鮮に歸り或は前住地に歸る者あるも其數は減ぜず今や輸出する者より新しく避難する者多き有樣で五日現在當市中に收容せる鮮農避難民は六百三十一名あり事變以來の避難者累計千六百八十三名三十一ヶ村の住民である

鐵嶺管内 同胞の被害

【鐵嶺】九月十八日事變以來鐵嶺領事館管内における朝鮮同胞の被害は嚴報の如くなるが現在まで判明したる被害統計は二十二ヶ村に亘り殺害されたる者四十三名、傷害を受けたる者七名、家屋を燒拂はれたるもの三十戸、家財を掠奪されたるもの九十五戸、穀を燒棄ある

されたるもの實に二千九百四十七石に達し此外判明せざるもの直接間接の損害等を累計すれば想像以上の額に達するであらうと觀られてゐる

自轉車買ふのをやめて その金を軍隊と警察へ
可憐な手紙を添へて醵金

【熊岳城】今回の滿洲事變が生んだ報國心の表れとして各地に奇特な行爲が見受けられるがこれは我が第一中隊が熊岳守備の當時可憐な手紙に添へて金五圓也を兵隊さんの爲めに何んに使つてやつて下さいと申出た少年がある、それは熊山市明治通り二二三番地土山友一君で此の獻金は左の理由に因つて今回提出したものだと云ふ

僕は自分で貰つた小使錢を蓄へて子供自轉車を買ふ積りであつたが今度日支事變が起り兵隊さんや警察の人々が命をかけて苦心して居らるゝ話を聞き小供心にも同情の末、自轉車を買ふ事をやめて兵隊さんと警察の人々に使つて貰ふ考へを起し兩親の承諾を受けて御送りします

この事に當守備隊でも此の優しい奇特の少年に對し何とも云ひ知れぬ感激にむせんでゐた

鬼神も泣く 旅順聯隊の奮戰
井聯隊長の實戰講演に 滿堂の聽衆みな感激

【旅順】第三十聯隊の戰死者井上大尉外三十餘名の遺骨出迎と慰靈祭に參列のため赴旅中の同聯隊長坪井[?]明大佐の「昂々溪附近における三十聯隊の戰鬪」と題する講演は六日午後四時四十五分より旅順昭和園で催されたが出動以來同聯隊に對する旅順市民の後援殊に五日の慰靈祭に對するお禮の意味も兼れ日部下の戰死者慰靈のため三十聯隊の壯烈なる戰死當時の實見狀況を生々しい戰場より歸來の聯隊長自ら報告するといふのが全市の人氣を呼び雨天にも拘らず聽衆は場内に溢れるほどの盛況であつた、大佐は軍人らしい莊重さと簡潔明晰なる句調を以て出動以來奉天長春、吉林等に出動せる同聯隊の活動經過より說き起し轉じて昂々溪附近零下三十度の酷寒における同聯隊の奮鬪狀況を詳細に述べ

國難打開祈願

【奉天】大日本修養團では六日から一週間全國一齊に國難打開祈願全國總起運動をなすと共に戰死者に對し默禱を捧げることになったが奉天支部には六日から毎日午前七時奉天神社に於て右同樣運動をなすことになつた

營口滿鐵埠頭 本年の輸出

【營口】滿鐵埠頭本年の輸出は開所以來の多忙で昨年雜貨輸出の三十一萬噸に比して二十七萬噸增加の五十八萬噸にして石炭の輸出は南支方面排日の激烈なる影響を受けて昨年に比し稍低位にありさうである

吉長鐵道警戒

【吉林】熙長官は鐵道守備隊の重要なるに鑑み王子臣氏を誡許令に任命した、又吉長一帶に駐屯の李桂林軍は長官の命により吉海沿線の馬賊討伐のため起かしめたので長春一帶には新募兵せる衛隊の一部が駐屯した

籾搬出のために わが軍警隊出動
七日施家堡子に向ふ

【鐵嶺】鐵嶺驛下施家堡子の籾搬出問題は警察側と外務當局との意見相違から其成行は頗る憂慮されてゐたが一方敗匪の方では恐るゝものなく大膽に屢々來襲し鮮農達が生命に次ぐ財産として一娘も早く其搬出を哀願してゐる穀物の掠奪し出穗に着手するときは彼等鮮農の財も全く跡形なく掠奪し去らる形勢にあり外務當局も茲に於て軍隊の應援を得て警察隊を出動せしむるに決定し渡邊警部を總指揮とする警官隊三十一名は六日總領事の下に出動準備を開始し支那側公安隊を傭はして殘籾搬出用の荷馬車を徵發し鮮農は此報に蘇生の思ひして勇躍し何れも出發準備を整へると共に軍隊へ向つた警官隊は六日數名の先發隊を派し主力は守備隊と共に七日午前十時發貨物列車にて出動平頂堡驛に下車して施家堡子に向つたが當日間溫暖の天候は六日午後急に險惡に降雨となり出動を前に嚴寒を豫想させたが警察官は何れも衛れた鮮農救援のため献身的保護の決心を示し全員意氣昂然たるものがあつた、斯くて彼等鮮農も我軍警出動によつて唯一の財産を其手に收め苦痛を免れ歡喜する事であらう

沿線往來

▲江口滿鐵副總裁 六日夜歸連
▲竹中滿鐵理事 同上
▲山西滿鐵理事 同上
▲森守備隊司令官 五日四平街へ
▲二宮關東憲兵隊長 五日來奉
▲バロン氏（滿洲佛國武官） 五日大連へ
▲金吉滿鐵路局長 五日來奉
▲白田少佐 六日夜來連
▲高橋仁一氏（滿電常務） 大石橋營各方面を訪問慰問の意を表し奉天へ
▲在京愛國學生聯盟滿洲慰問團一行十五名 四日吉林へ同日離吉

各地の馬賊

海紅の一團

【長春】日支事變以來伊通、懷德兩縣を中心にして掠奪を擅にしてゐた馬賊頭目全勝、黒虎、同樂、海紅等は最近合作して五百の騎馬隊を組織し海紅が之を統率あらゆる暴虐を行ひつゝあるが海紅はその勢に當る徐子葛が昨年二月迄伊通縣五臺子に保衛隊長をしてゐた縁故を辿り五臺子に騎馬馬賊の本據を置き同地商務會より毎月莫大なる金の提供を受けつゝありしも十二月一日吉林省華甸縣より約一千名餘の討伐隊が五臺子に向つたゝめ海紅は全部下を率ゐて懷德縣黒林子を距る西北方七十支里の揚林子に逃走目下休養中だが全勝黒虎同樂等の大頭目等と協議一大飛躍を試みるべく計畫中だといふ

范家屯警戒

【長春】本年夏范家屯附屬地より人質を拉去した頭目徐樂子こと魏屬僚はその後現大洋一萬元の分配を受け黒龍江方面に高飛びしたとの噂だつたが、范家屯南方二十支里の魏家窪子に根據を置く騎馬隊二十名を率ゐる附近村落を掠奪中だといふ而して彼等一味は大部隊の匪賊が地方的大部落を襲撃占領して掠奪の限りを盡してゐる關係上目星い金品もなく從つて附屬地に近接した方面を窺つてゐるため范家屯では頗る警戒を嚴重にしてゐる

匪賊を取調べ

【遼陽】煙臺炭坑派出所員及本署からの連絡員は五日午前十一時頃炭坑附屬地に於て三人の匪賊を逮捕した彼等は元三勝の部下であり現に一團廿餘名あるが六日午後四時を期し炭坑附屬地を襲撃する計畫で偵察に來たものであると申立てて居る

又た沙河附屬地支那人煙草商方に闖入金品を強奪した一味が同地を距る七支里の灰栄泡に潜伏中なるを探知した遼陽署では大崎警部補以下八名五日夜出動六日未明潜伏家屋を包圍一名を逮捕した彼は長銃と實包四十八發を所持し居り去る廿一日城南玉皇廟の村長を人質に拉去した一味であるのみならず煙臺十里河沙河方面に出沒し居る賊團は彼等の一味であると申立てゝ居る

自警團と交戰

【遼陽】遼陽城南第六分區（七嶺子）管內孔峰臺附近に頭目亞東洋以下四十餘名の匪賊が現はれたと云ふので同村自衛團五十餘名が出動交戰約二時間に亘り賊一名射殺一名逮捕長銃二挺を捕獲賊團は南方金永嶺方面に向け逃走中廟見臺（孔峰臺の南十支里）自衛團と衝突し團丁一名卽死したと

西恩の騎馬隊

【長春】四日范家屯西南方九十支里の鋒山より避難して范家屯附屬地に入つた農民の談によれば頭目西恩の率ゆる騎馬隊百餘名は最近伊通縣より移動鋒山に來り附近の放火掠奪あらゆる暴虐を行つてゐるがこれがため良民の多くは滿鐵沿線に避難して來た

開原

小春の暖かさ

最近小春日和のやうな天氣續きで十二月六日は朝來殊に暖かであつたが午後二時四十分頃より細雨蕭々として降り夕刻まで歇ます

兩理事赴奉

十二月七日奉天に開催の全滿日本人聯合會では佐竹令信佐藤正親の兩氏開原を代表し出席した

愛善會支部長

元人類愛善會支部長白水淳松氏は今回都合に依り辭退したるに付佐竹令信氏が本部よりの委囑に依り支部長となつた

奉天

民會評議員會

奉天居留民會では五日午後四時から數島小學校に於て評議員會を開き會長、副會長、會計主任の互選を行つた結果會長に野口多內氏、副會長に西巻豊之助氏會計主任に竹本勇雄氏が當選し朝鮮人副會長には林漢龍氏が新に選ばれ閉會續いて森島領事、柳井領領、岡田地方課長、藤田會頭、石田地方委員議長、上田町內會總代等を招じ新舊評議員の晩餐會を盛大に催した

鐵嶺

鐵嶺婦人聯盟

鐵嶺婦人八團體を以て一丸とした鐵嶺婦人聯盟は既報の如く各代表の意見及團員の總意一致して近く知名士多數を聘し盛大なる結盟發會式を舉行する事になつたが聯盟の陣容は正副會長の外幹事十六名相談役七名にして其陣容左の如し

相談役　松田智德、大畑覺了、川瀬江月、南條快平、堀川慈範、眞崎正、馬場音次

會長　石塚千代、副會長　前田コウ

幹事　西尾不二、山田志滿（篤志）石坂ツキ、久保シゲノ（社員）吉見鍋美江、福永ヒデ子（家庭）眞マツ、橋本ナチ（西佛）大野夫人瀧夫人（東佛）下山せつ、松崎こま（日蓮）森江信子、久米谷ヤス（眞言）若松チヨ、田中ヨネ（觀音寺）

兒童慰安映畫

滿鐵地方課主催第四十四回兒童慰安映畫は來る十三日靈小學校に於て上映するが今回は滿鐵も特に面白いものを選擇して鐵嶺兒童を喜ばせる事としたる由フヰルムは左の如し

實寫鋼鋸と飾船一卷、喜劇お轉婆サリー一卷、科學電燈二卷、漫畫空の桃太郎一卷、教訓劇此の子を見よ四卷

遼陽

理事大會出席

奉天ヤマトホテルに於て七日午前九時から開催の全滿日本人聯合會理事大會には遼陽から飯田院長（滿鐵社員會代表）生田友次郎（地方有志）細矢權吉（鄉軍分會長）安達周太郎（區長代表）の四理事が出席した

實業有志會

遼陽實業會復活問題については豫て會則の起草中であつたが七日午後七時から公會堂日本間において準備委員會を開き會則及び內規その他の審議會を開催した

內山田家慶事

遼陽本町食料品商安事內山田安太郎氏は陸軍主計氏の媒酌で息女菊野子へ列車區勤務の中村敏忠氏を婿養子に迎へ五日華燭の典を舉げ午後六時から親戚知己數十名を招待披露の宴を催した

鞍山

軍警慰安映畫

鞍山新聞記者協會主催にて九日正午より午後六時よりの晝夜二回に亘り守備隊留守隊員及警察官並に軍警家族慰安の爲め左のプログラムにより演藝館に於て慰安映畫大會を開催することに決定した、各家庭に於かれても御賛同の上續々御來觀を希望するさ、會費は一般三十錢、小人十錢

一、時代劇彼れは復讐を忘れたか六卷
一、喜劇おごつてちようだい四卷
一、現代劇燃ゆる花ビラ十五卷

指導員挨拶

遼陽縣地方自治委員會の指導員に就任した長田吉次郎、古田傳一、趙の三氏は鞍山駐在を命ぜられたので五日地方事務所其他各所を歷訪して挨拶する處あつた

大石橋

婦人會の活動

大石橋聯合婦人會は屢々の舉を舉げて日淺き今日其の活動振り凄ましきものあり六日は負傷警察官を大石橋病院に見舞ひ各々金一封を贈りて慰問の誠意を表したり、尙七日滿城野戰隊の遺骸祭には代表者日野夫人協川夫人吉川夫人江野村夫人をして參列せしめた

本年度入營者

本年度の徵兵檢査に依り當地管內より目出度合格近く入營さる壯丁氏名左の如し

田中清君、綱野只一君、末吉一子、花田清成君、福島喜吉君、笠岡定嘉君、本持武夫君、本田武夫君

熊本縣民代表

六日午後零時十一分着第二列車にて日支問題熊本縣民大會代表者陸軍少佐山根正常、帝國在鄉軍人會熊本支部長德山德次郎、九州日日新聞編輯長植山彌一、九州新聞主幹高木亮の一行來石直に守備隊憲兵隊を慰問の上午後二時十分發にて營口に向つた

營口

南天棒講演

乃木山道場總裁南天棒平松亮卿氏は三日來營四日夜駐在軍隊のため「時局に際し日本人の覺醒を促す」と題し軍神乃木將軍を中心とさせる國粹演說をなした

熊岳城

婦人會の活躍

熊岳城婦人會にては其後着々實行事項に迫られ各地戰死傷者の慰問電、弔電を發し當地出動部隊留守家族の慰問等をも行つたが六日奉天に於て結成式に吉村主事引率の下に瓦房店各代表者と共に當地より形田未亡人一同を代表して出席、遼陽、奉天の各衛戍病院に入院中の各將士見舞品として熊岳城名產紅梨四組を會より携へて訪問した尙歸熊の上來る十日頃全婦人會員の出席を求め發會式を兼れ各地婦人會の狀態、奉天における大會狀況の報告會を開き吉村社會主事の滿洲事變に關し婦人の常識として覺悟しおくべき沿革及び經過及び東海林守備隊長の實戰に直面しての所感等を極めて平易に判り易く一般婦人のため講演をなすさ

瓦房店

父兄會へ寄贈

瓦房店小學校父兄會へ左記の通り寄贈があつた

一金二十圓　村井與吉氏在職記念
一金十圓　藤原哲二氏令孃在學記念
一金二十圓　小野寺清雄氏同上

小野寺氏の謝電

鞍山地方事務所長に榮轉五日赴任したる小野寺清雄氏より左記電報があつた、在任中は色々と御世話樣になり其上本日出發に際し市民多數の見送を受け誠に感激に堪へず貴紙を通じ官數御傳へを乞ふ

金州

關山校長歸る

關東廳から選ばれて內地各地の時局講演行脚の途に上つてゐた關山金州小學校長は六日午前七時十分金州着の急行列車で歸金した同校長は語る

毎日數千名の學校教育者並教化團體、中等學校以上の學生に對して、こちらで見聞したまゝ研究したまゝ卽ちありの儘を強調講演しましたが相當感動を與へた樣です、內地の輿論は目下最高潮に達してゐます云々

公學堂學藝會

金州公學堂南金書院では五日午前九時より講堂に於て學藝會を催ほした

第二の反抗 (97)

三宅やす子　阿部金剛畫

女同士（一）

堤に沿ふて、あてもなくお静はトボ〱、さまよつた。

川の流れは相當に早い。水もこゝらあたりは、と思ふ深さうなところがある。一思ひに、飛び込んだら、誰にも見つからず川下に流れてしまふだらう。

蘆のしげみをかきわけ、お静は水際におりた。蘆が一ぱいしげつて居て、こゝで飛び込むには都合が惡い。

お静は、あたりを見まはし、また堤に這ひ上つた。

月がそろ〱昇りはじめるか、山の方がほんのり、明るくなつて來たやうだ。

お静はガサリといふ物音におびえ、身をひそめて、しげみにかくれやうとした。

人影が見える。お静は驚いた。お静は身をちゞめる。見つけられては大變だ。

人影は思ひがけなく女だつた。

力の無い足どりで、こんな夜の川べりを獨りで歩いてゐる女は、どこのどんな人だらう。お静は何かしら、自分と同じやうにせつぱつまつた人ぢやないかしら、と云ふ氣がして、透して見た。

女はやがて、足を轉して、堤の上を、歩いて去つてしまつた。

お静はまた暫く岸に佇んだ。

昨日あんなに云つたばかりで、今日はもう新吉も自分も、死の旅に赴つてしまふのだ。かあいさうな腕內の子、戀しい人の形見に育て上げたい此の子だけれど——

「お父さん。諦忍して下さい。不孝者をゆるして下さい」

人の話にきいた通り、袂の中に石を拾つた。

「新吉さん。今すぐゆきます。待つて、頂戴」

お静は、生きて居る新吉に、物を云ふやうに、はつきり、大きな聲に出して云つた。

聲が水の上を流れて、氣味惡く響いた。水の中に、新吉の魂があるのかと、お静は吸ひよせられるやうに、フラ〱と草履をぬいだ。

「いけない。待つて」

音もなく、後から人の聲がして、お静の帶をしつかり押へたものがある。

「離して!」

懸命の力で逃れやうとするさ

「お静さんぢやないの?」

思ひがけなく、懐しい女の聲である。

「早まつちや駄目よ。死ぬなら私にわけを話して——私も死にたくてこゝに來たのよ」

これはまた意外な言葉だ。

「あの、橋本樣の奥樣、でせう」

「えゝ。あなたは五平さんとこの娘さんね」

「お目に懸つては居るのですけれど——お恥しい。こんなところを」

「女は女同士よ。私も不仕合せな女の一人よ。自分の事は、どうにも仕方がないけれど、あなたに、何か力を貸せたら、私に出來ることならしてよ。もしもお金の事なら、どうでもしてあげられるのよ。話して下さいね」

佐枝子はしんみりと云ふのである。

キング
新年號
見よ！大奉仕！何たる偉觀ぞ！
四大附錄つき八百頁！僅か六十錢！
英雄偉人を語る座談會
出席者
文學博士 中村孝也先生
代議士 中野正剛先生
大審院長 中島鐵藏先生
澤田謙先生
文學博士 笹川臨風先生
菊池寛先生
軍事美談 日東男兒血染の雪…相澤政志
唯一人の生殘り勇士
全日本青年諸君に檄す…永井柳太郎
愛の院長松田三彌先生…山室軍平
使ふ人使はれる人…山本留次
日本一の劍客は誰か…直木三十五
時代小說 薩摩飛脚(大佛次郎)
長篇小說 青春無情(三上於菟吉)
時代小說 菊五郎格子(子母澤寛)
長篇小說 未來花(菊池寛)
名小說「未來花」のヒロイン千夜子姉妹！
大日本文武大官宮中席次(アルバム)
面白い屋號・マーク・看板物語(池田文痴庵)
大懸賞各種文藝當選發表
歐米笑の放送
天の聲・地の聲
一問一答常識大學
人生畫訓
野間清治先生
面白繪統計
漫畫ユーモア
評判奧樣噂さ話
人氣花形
秘話感話を公開
不思議な男の話…長谷川伸
泣かされたお稽古…尾上菊枝
世帶を持った頃…水谷絹子
カチユーシヤの作曲…中山晋平
大試合大勝負 決死の體驗を語る
落語 コトン傑作集
現代漫畫家傑作競演會
冒險 海龍號…東日出夫
名言名訓 偉人繪ばなし…楠藤太郎
連續漫談 愉快な御隱居…田河水泡
我が處世の信條…四大名家
感動美談 村の勇者…唐木散人
現代小說 白夜は明くる(久米正雄)
時代小說 天晴れ啞將軍(白井喬二)
純愛小說 大地に立つ(野村愛正)
江戸川亂歩先生作 鬼
讀者大奉仕 十万圓大懸賞
日本財界三巨頭…石山賢吉
珍談漫談奇拔くらべ
驚くべき科學技術の進步
連續講談 小松龍三
第一附錄 千古に輝く大感激画帖
偉人―名人―聖賢―文豪―
第二附錄 社會百般物知り漫画讀本
これはビックリ話の種―
第三附錄 新時代― 歐米五大巨人傳
新興獨逸の風雲兒アドルフ・ヒトラー
年俸五十萬圓の新聞記者アーサー・ブリスベン
少年馭者から佛國首相ピエル・ラヴアル
紙函賣から大銀行王となつたハーバート・フライシヤッカー
世界音樂界の革命兒ポール・ホワイトマン
第四附錄 大家新人腕くらべ― 短篇小說大傑作集
悉く讀み應へある大傑作！
定價 新年號に限り 六十錢
大日本雄辯會講談社發行 東京本郷 振替東京三九三〇

看板だけの歳末

きのふ浪速町にて

押し迫りはしたが浮立たぬ歳末風景

不景氣のためか、時局のためか　何と『らしくない』ことよ

押迫つて來た、年末だ、一九三二年の女神は既にアデューのキッスを投げかけてゐるやうにさへ思はれる今日此頃だ、だが何と云ふ年末らしくない年末だらうか、積り積つた不景氣のためか、時局のためか、とに角年末と云ふ氣分にせき立てられないのが今年の年末だ

……それでも流石に浪速町から連鎖街へかけての商店街は「歳暮大賣出し」の文字を

眞向

にかざして無理矢理に年末の氣分を搔き立てやうとしてゐる、浪速町、城町、連鎖街等に出て見ると既に賣り出しの凄ごい原色の旗や幟や、立看板が處狹く立て並べられてゐる、しかしそれすら、旗のみの年末、立看板のみの歳暮と云つた感じを抱かせるに充分な淋しさだ、試みに店先の店員を捕へて話しかければ「駄目ですよ、成つてゐませんよ

不景氣不景氣と云つたつて、去年の方がまだ、ましですよ、ほめて會社にボーナスが出る頃が

唯一

の望みです、一年中の書き入れ時を、今日のまま過ごすとなりや、商人は、浮ばれませんよ、今日ぢや店舗を張つてゐる商人より、夜店商人の方がどれだけ内所は樂か知れませんよ」と答へる有樣だ、店のデコレーションなんか飛んじまへとばかり、店先に貼り出された「五分より五割まで割引します」「大景品附大賣出し」「注文はづれ品大見切り歳暮賣り出し」等々大書して赤丸つけた文字は商賣人の悲鳴に外ならない、ショーウィンドの一九三二年型羽子板は

ベソ

をかいてゐるし「擧りも見えず」と奏してゐる賣出しの樂隊は、引ツぱたかれた赤子の泣き聲だ、全く文字通り笛吹けど人踊らぬのが今日の商店街だ

負傷兵の無聊を慰む

文庫や映畫で　關東廳學務課

關東廳學務課では目下旅順衛戍病院に入院治療中の負傷兵達百八十餘人の身心を慰むるため、今回圖書館で「軍隊慰問文庫」五個を調製し病院内の各病室に大々備へ付くることとし書籍も取敢ず思想、宗教、小說、旅行記、傳記等肩の凝らぬ通俗新刊讀物二百餘冊を新に購入し八日から備へる、尚映畫班では十二日頃病院内で慰安映畫會も催す由であるが、ガランとした病室内で無聊の日を送つてゐる戰傷者達はこれ等の設備や催しで今後大いに慰められるであらう

增兵を要望 外務當局を鞭撻

決議文を直ちに要路へ打電　旅順で非常市民大會

增兵を要望し、外務當局を鞭撻せんとする旅順非常市民大會は七日午後六時三十分より昭和園に於て開催、千二百餘名の聽衆場内を埋めた、定紋大塚乾一氏開會の辭を述べ永山市長を座長に押し次で各議士は交々起つて熱辯を揮ひ左記の如き宣言、決議文を滿場一致可決の上隆山助役の閉會の辭を以て盛會裡に散會したが當夜の決議文は直に母國各要路に向つて打電した

宣言文

我が在滿軍隊は東奔西馳常に數倍の敵に對抗し鎭衛の身尙困憊其極に達す、加ふるに錦州假政府は敗兵馬賊を從嗾し戰備を整へ沿線各地を擾亂しつゝありて我が在滿邦人の脅威甚大なるものあり政府は速かに增兵を斷行し禍根を芟除せられたし

決議文

旅順非常市民大會

中立地帶設定の議は支那側の錦州以東說と聯盟側の山海關以東說とあるもいづれも支那側及び聯盟側の利益に過ぎず、若し設定の必要ありとせば其の地點は勘くとも山海關長城線を限る西南の地點たるべきこと右宣言す

一、現在滿洲の形勢に對し地元旅順市民は憂慮に堪へず政府當局は速かに增兵を斷行せられたし

一、公明なる我が自衛權に危害を加ふる兵匪馬賊群を勦滅し併せて皇軍に挑戰せる錦州假政府の現狀に對し政府當局は速かに之れが驅逐の方策を執られたし

一、中立地帶の設定必要ありとせば山海關長城線以南たるべく政府當局の主張を望む

滿洲軍の動靜や慰問の放送

近く技術者が來連し　內滿の放送連絡を完備

【東京特電七日發】滿鐵理學試驗所の中谷技師は某方面の用務を帶び上京中であつたが大體研究事務を果したので八日東京驛發帰連する事となつた、中谷技師の斡旋により關東州と內地との放送連絡を完全にする打合が出來たが約六名の技術者が近く內地より出張する筈である、極寒の奧地に於ける日本軍に對しても時に慰問のラヂオ放送をなし、また滿洲軍の動靜に就ても差支なき程度に於て臨時內地に放送し熱烈なる國民の後援に報い軍部と民衆との接近を出來るかぎりはかる方針であると

北太平洋橫斷中止

【東京七日發】コンナー・マクド

シネルは十二月太平洋橫斷決行を傳へられたが使用機製造のヘランカ會社支配人談による飛行機は作製したが金が揃へず兩氏とも横斷を斷念しシカゴに歸つたと

張學良よ 御身はいづこへ

強くなつたり弱くなつたり　順承王府に懊惱を續ける彼　モヒの需用增す一方

その後に來るべきもの、天津における軍事的一蹉跌から野日的に全然立場を失つた張學良は順承王府において今や懊惱苦惱の日を送り其下野は正に時期夫も僅々數日を餘すのみと觀測さるゝに至つたしかも平津における內部的關係即ち內政の惱みこそ混沌としてその論議の判斷すらつかないと云ふ有樣だ、殊に

最も

信賴する天津における二直系勢力の瓦解が更に苦悶の學良を再起不能の極地に追ひ込

んでゐる、二勢力即ち實弟學銘の對日積極政策と王樹常の消極政策が學良をかくも苦悶の淵に陷し入れたもので學銘が北平行をした後における學良の言明は常に強氣となり王樹常の伺候した揭句は弱氣になり全く今の學良にとつては一定の內政政策の能力を失つたと見られ、學生團體の示威運動に微しても曾つて凱旋將軍の如く華やかな北平入りを企てた當時の如き信望は見られない

もから「張學良は何處へ行く、山西落ちか、南京逃避か、或は外遊か、民衆の信望を失つた彼は或はさしてゐるのだ、從つて八方塞がり、何れに逃げ様にも當てを失ひその言動は全く一致を缺き外面的には口で和平を乞ひ東は梱村に北は錦州にグングン手兵を集結し更に內面的には疑心益々暗鬼を生ずる形でいやしくも日本と關係あり、日本と認識のあるものに對してはあらゆる壓迫を加へつゝある

下野

の時期すら失しよう

李傑林の暗殺說、張宗昌の監禁說、孫傳芳の逮捕令說、それ等は全く學良斷末魔の七轉八倒と見ても差支へなく讀者學良のモヒ定量は日毎に增加すると云はるゝを見ても「學良終れり」の感が深い、平津における

學良の勢力に歸るべきものは？恐らくこれこそ年內に殘された最も興味ある焦點であらうが老段出盧說一度平津に傳はるや民衆は拍手しつゝこれを迎へてゐる、これより察すれば老段執政により或ひは平津に曙光を見出すのではなからうか【寫眞は張學良】

北平にて加藤特派員發

牛心臺に馬賊 邦人を拉去

わが警官守備隊出動

七日早朝牛心臺、紅臉溝に約百名の匪賊團現はれ同地採炭後興公司邦人松山義正氏を人質として拉去した、急報により午前十一時半本溪湖署では署長以下全員出動し目下賊團を追擊中である【奉天電話】

通遼の正規兵 彰武方面に南下

通遼方面の情報によれば歐里（通遼から七つめの驛）より以東の交通は全く杜絕し消息不明であるが七日朝奉天鐵道公所への入電によれば通遼の正規兵は彰武縣方面に南下しつゝあり、現在尙通遼には四千餘名駐屯しこれまた移動準備中である【奉天電話】

新城子に馬賊襲來

奉天北方二十里の新城子に約四百名の馬賊團現はれたの報に我軍は直に奉天發討伐に向ひ飛行機の爆擊と相俟つてこれを擊退した【奉天電話】

白旗堡驛を匪賊襲擊

有金を掠奪逃走

北寧鐵路局の情報によれば六日數十名の匪賊團白旗堡驛を襲ひ驛長を脅迫し金庫の有金その他を掠奪逃走した【奉天電話】

安奉線に匪賊現はる

警官隊急行す

七日午後三時安奉線姚千戶屯驛附近に匪賊の一團現れ急報により奉天より警官隊出動討伐に向つた【奉天電話】

我飛行隊活躍

（公太堡、新城子各地に匪賊）……別働隊の橫行甚だしく我飛行隊は上空より滿鐵沿線の警備に全力を舉げてゐる【奉天電話】

陸軍省が獻金で『愛國號』を購入

戰線に送るに決定

【東京七日發】陸軍省は獻金十三萬圓をもつて陸軍愛國號を購入し戰線に送る事となつた

宮城縣鄉軍が飛行機獻納の資金を募集

【仙臺七日發】宮城縣在鄉軍人團は陸軍重爆擊機「宮城野號」を獻納するため二十萬圓の募集に着手した

輸送指揮官本社へ謝狀

過日御用船にて來連沿線各地獨立守備隊へ配屬された獨立守備隊前期新入兵の輸送指揮官芳賀大尉は本社へ對し左の如き謝辭をよせた

今回獨立守備隊入營海陸輸送の節は熱誠溢るる歡送迎を忝ふし洵に謝するの辭も無之候去る二日無事入隊致し直ちに教育を受け居り候萬歲の聲は一同腦裏に徹し候爲め其の決意の程も一段と表れ候脈寒身に沁み候へども祖國の正義擁護の爲め夙く淸健闘可仕候へば何卒御安堵被下度候先づは入營兵一同に代り御禮述べ度粗文認め候

昭和六年十二月

獨立守備隊入營兵輸送指揮官陸軍步兵大尉　芳賀豐次郎

兵匪襲擊をうけて華興公司殆ど全滅

約百萬圓を投じた理想的農場　鮮農五百名氣遣はる

通遼華興公司における兵匪襲擊事件の結果は詳細不明であるが同地は四里四方もある廣大な農場でこれ迄大倉組、華興公司等で約百萬圓の經費を投じ井戶を掘鑿し、羊を移し或はトラクターを設置するなど諸設備を完了した理想的な同公司農場も之によつて殆ど全滅せるもの、如く同地居住鮮農五百名の生命も非常に氣遣はれてゐる【奉天電話】

淺間乘組員が慰問金

七日午後小崗子署の受付に目下大連入港中の練習艦隊淺間の乘組員が來て金一封を在滿軍人への慰問金として取扱ひ方を依賴し名も告げず立去つたがこの奇特な行爲に署員は非常に感激してゐた

遭難同胞の義捐金品を送附

暴戾なる支那兵匪のため放火掠奪され或ひは掠奪を行はれた上その住居を追はれた遭難同胞のため大連市役所では之が救濟の目的を以て過般來義捐金並に同情品の募集中であつたが今回締切の上現金三千圓、衣類、食料品六十梱包を奉天總領事館あてに送附し分配かたを依賴した

皇軍活躍に感激する

歸る慰問團

福岡在鄉軍人會を代表して滿洲軍隊慰問に來た原田貞吉中將の一行は沿線各地を廻り七日出帆のあめりか丸で離連したが船中にて語る

酷寒の滿洲で働いてゐる軍隊を見ては理窟も文句もない、しつかりやらにやならない、我々が歸つてこの皇軍苦心實情を報告すれば良いのだ、之を聽けば振ひ立たぬ者があらうか

また九州日報社主催の軍隊慰問團の男女一行は七日出帆のあめりか丸にて離連歸國したが

あの寒い處で活動してゐられる軍隊の苦勢をみては私共も默つてゐられません、歸つたら聲を張りあげて皆に傳へねばなりません

と一行盛んな元氣であつた

三業組合が慰問金

大連署に屆出

艱に獻屋側が單獨で開催しようとした軍隊並に警察官慰問金募集の演藝會が大連署の命令によつて取止めさなつたので大連三業組合では去る十一月二十六日役員會を開催、組合員中から慰問金募集を行ふことを申合せ、翌日から直に役員の手で募集を行つた結果、一千九百三圓四十錢集つたので、うち千六百三圓四十錢を軍隊へ、三百圓を警官慰問金として田中副組合長、若松會計係は七日大連署に出頭寄贈の手續きをとつた

東劇上演中の「滿洲事變」放送

【東京七日發】目下東劇で上演中の「滿洲事變」は非常なセンセイションを捲き起してゐるが東京中央放送局では來る二十三日午後一時より二時二十分まで全國に中繼放送される事となつた

松平里子さんの遺骨東京に到着

【東京六日發】伊太利ミラノで客死した我樂壇の明星松平里子さんの遺骨は夫君に護られ神戶から陸路六日午後四時五十五分東京驛着音樂葬が行はれる

不正商人を嚴重取締

大連署で酒や罐詰檢査

大連署衞生係では年末を控へて不正商人が跋扈し始めたので七日から市內の酒罐詰等の一齊檢査を開始した、即ち酒、罐詰などの歲暮贈答品中には直接需要者の手に渡らぬので從來可成り怪しげな品を發賣してをり、殊に酒類の如きは問屋から卸したものに多量の水を混入したり、甚だしいのになると腐敗物をある種の方法で誤魔化したりする者あり、公衆衞生上斷然取締り發見次第嚴罰に處す方針である

北平の學生團目的達成南下す

きのふ約一千名が

【北平七日發】前後三日間饑餓と寒氣に耐えて北平東西兩停車場を占領してゐた學生團は遂に目的を達成し本日正午約一千名列車に搭乘し南下の途に就いた、これ明かに蔣介石及張學良の押へがきかなくなつた事を證するもので學生を中心とする民衆運動は今後益々惡化暴動化すべく、結局廣東派の反蔣運動と相俟つて蔣張の自發的下野なきかぎり收拾し難き事態を惹起するものと觀られる

時局映畫會頗る盛況を極む

昨夜本社講堂で開催

わが社主催の時局映畫會は七日午後七時から本社講堂において佐賀縣警業局長の挨拶により開催、時局に對し關心をもつ多數の來場者は殆ど文字通りの立錐の餘地なく特に六日舉行した護國神社招魂祭當日の活動寫眞は滿場の拍手をもつて迎へられたが、愈々洮昂線沿線における我軍の進擊と、チチハル省城へ入城の光景、蒙古軍達厥と滿蒙の平原、しかも我軍の勇敢なる行動はいづれも多大の感動を與へ八時半盛會裡に散會した

居睡から發火

七日午前零時半ごろ市內貯藏街一八油龍變造業、萬瑞福方仕事場より出火せるのを家人が發見消防署の活動によつて大事に至らず約一時間後鎭火した原因は當日降雨のため油籠はストーブにて乾燥中番人萬某が居睡りしたためストーブより籠に延燒したもので損害は目下小崗子署にて調査中

日本邦樂學校開校

【東京七日發】三味線界の一人者杵屋榮藏の日本邦樂學校は明春二月から開校に決した

ハフィス時計　振動不惑　Hafis

森洋行　營口近江洋行　奧田時計店

慰問金寄贈

逢坂町遊廓快樂樓主八霽雄次郎氏は七日大連署を通じ二百圓を軍隊へ、百圓を警察官慰問金として寄贈した

六三料理店玉家こと福田ハナさんは七日朝抱へ妓八名と共に金二十圓を小崗子署に持參し軍及び警察官に慰問金として寄贈方を願出た

小林謙氏結婚

大連水上署高等係内勤巡査小林謙氏は余井房太郎、永澤興志郎兩夫妻の媒妁により齋藤弘野嬢と婚約成り七日大連神社において結婚式を擧行、同午後五時半よりライオンカフェーにおいて披露宴を張る

安樂椅子

護國新願祭をまのあたり見た小學生五名が感謝の手紙に、ため た小遣錢十八錢を添えて獻金方を本社に賴んできたことは既報しましたが、お手紙が大變よく出來てゐるので、所々を原文のまゝ紹介して、兵隊さんと共に感謝と微笑みを五人の坊ちやん達に捧げたいと思ひます。

（手紙一）……兵隊さんたちなんぎするでせう。僕は兵たいさんのこきがきになつてたまりません。兵たいさん御國のためにはたらいてください。

（手紙二）兵隊さんありがたうございます。僕は兵隊さんのために學問やあそんだりしていられます。……お金をおくつてやりますからどうぞゆつくりさしてください。そうしてどうかしてしなの兵隊をやつけてくださ い。

（手紙三）……僕は大きくなつたら飛行家になつて支那の國にばくだんをおさしてやらうと思ひます。……いつもこの滿洲をまもつて下さるので僕たちはらくくもぬくいふとんにねられますのでありがたうございます……日本の貿易のだいきんが五十萬圓以上たまつてゐるといふことをきいてしやくにさわりました。兵隊さん日本帝國のためにはたらいて下さい。

判妻きく儀豫而病氣の處藥石無効昨六日死去致候此段御知候也

（親戚・友人代表）五島繁松　平川直重　宮川忠雄　夫 衛藤幸吉　高本吉郎　加藤太郎　森田島受敬　岩切波正宗　松山

曙の鐘 (132)

倉田潮　河野想多畫

夜船情話 (三)

「何うして戀をすれば、女を殺さればならないのですか」

と春木はカンテラの灯で煙草をすいつけながら訊いた。浦吉は默つて立ち上ると燒酎のかめを出して來て、それをコップについで春木にすゝめ、己もまた舌をうるほしながら、

「舟の習ひなのです」

と語り出した。昔から金華山通ひの舟には執拗な性の道德があつて、二十歳以下の女が密通すると對手の若者は追放され、女は遊女に賣られることになつてゐる、しかも、その規約が嚴然と行はれて來たのだつた。さうしないと、その舟は海の怒りにふれて必ず海路に難破に逢ひ、死にいたらない迄も二度と本國の土は踏めないと信じてゐたのだつた。舟の戀は人に見つけられない譯には行かない。見つけた以上、それが親であつても寸毫のかしやくもなく娘を遊女に賣り放つ。だが、氣強い海の女は汚辱の殘生を送るのを嫌つて、殆ど皆海に投じて死ぬのだつた。

浦吉もそれを思ふと、おしのに對する戀を耐えればならなかつたが、耐えやうとしても耐え得ないのは戀の常である。ましておしのは目立つて彼の後を追ふやうになつて來た。或る夜遅く彼がおしのゝ舟から歸らうとすると、おしのは後を送つて來て、意味ありげに彼を見て笑ひながら「ここばかりが海ではない。流れて行く先に海はある」と云つた。浦吉はそれを聞くとおしのと戀に落ちても外海に逃げてしまへば大丈夫だと考へた。そして、思ひ切つておしのの手を握つた。二人は夜の荒海の上で互に抱き合つて、耐えてゐた戀を打ちあけた。

奧州の冬の海は荒れて寒い。舟は木の葉のやうに波に搖れる。しかし、二人は氷風に裾を亂しながら、何時までも抱擁し合つて離れなかつた。

次日から彼は毎夜おしのの舟に忍んで行つて、納舍倉にかくれておしのの來るのを待つた。夜の泊りには舟が繋がつて岸についてゐるので、舟べりを傳つて行くと、わけなくおしのの舟に行けるのだつた。おしのは夜更けて床からもぐり出し舟の上をはつて戀人に逢ひに來た。

二人は危ふく人に見つけられさうになつたことはあつても、仕合せに危難を脫して、まだ本當に見つけられたことは一度もなかつた見つけられない中に逃げてしまはうと相談して、ひそかに其の日を十二月十一日と約束した。彼の舟は友舟と別れて松島をめぐつて來て、十二月十一日に洋上でおしのの舟に逢ふことになつてゐたのだつた、別れの日に二人は彼の舟で忍び逢つたが、その時も人には見つけられなかつた。歸る時おしのは四艘友舟を渡つて、自分の舟に歸つて行かねばならないのだつた彼はその途中を案じたが、おしのは大丈夫だと云つて強いて一人で歸て行つた。彼の舟はその夜直に松島に向けて出發した。

松島から歸つた夜、約束の十二月十一日の夜に、彼は直本船からはしけをおろして、荒海をそつとおしのの舟にこぎつけた、が、約束のあいづをしても、おしのは姿を見せなかつた。心變りがしたのではないか。それとも此の前逢つた時人に見つけられたのだらうか——彼は闇の中で山のやうな波にもまれながら、おしのの身を案じわづらつてゐた。すると、おしのの舟のへりに細い灯が見え出して、それが次第に浦吉のはしけの方に近づいて來た。彼は逃げようと思つたが、おしのが來るのではないかと思つて、己の小舟をおしのの舟のへりにかくして待つてゐた。灯は彼の小舟の眞上まで來ると、すのこにくるんだ女の死體を彼の舟に放りこんで、思ひ切りよく立ち去つた。死體は勿論おしのの自殺したもので、袂にあつた書置きを見ると、最後に逢つた夜の歸り道に舟の若い衆に見つけられたことが判つた。若い衆は早くから浦吉とおしのの關係を見ぬいてゐてその夜大勢でおしのを擁へ、浦吉の親舟が松島に出發すると間もなく、おしのをつれて其の兩親のもとにかけ合ひに行つたのだつた。

けふの放送

大連 JQAK 十二月八日

▲午後六時五十分 ニユース ▲講話「曉鷄聲」に因んだ綠花と投入」廣田耕司 ▲ハーモニカ獨奏(A)竹に雀と新內流し(永田編曲)(B)ケークウオークダンス(プレイオー作)(C)波濤を越えて(ローシエス作)永田彰男 ▲浪花節「乃木將軍松樹山」有明亭龍月 ▲漫談「モダン高田馬場」白藤六郎 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニユース

東京 JOAK

十二月八日午前六時三十分 ▲講演未定 ▲放送映畫劇(大阪より)「噂の女」新興キネマ現代劇部 歌川八重子、瀨良章太郎、徳川良子、牧英勝 ▲放送歌劇「トロヴァトーレ」ヴエルデイ作伊庭孝譯 時十五世紀、所スペインの北部 レオノラ姫 南部たかれ、イネツ(レオノラ姫の侍女)佐藤あき子、アツチエナ(ジプシイの老婆)豊島政子 マンリーコ(トロヴァトーレ)奥田良三、ルナ伯爵 徳川璉、フェルランド(ルナ伯爵の家來)下八川圭祐 ルイヅ老たるジプシイ 原田潤、其の他大勢TOAK合唱團、伴奏日本放送交響樂團、指揮ニコライ、シフエルブラット、放送指揮伊庭孝

滿洲日報

（夕刊）

第三種郵便物認可

昭和六年十二月八日　夕刊　（火曜日）　第九千二百一號　（一）

滿蒙新國家成立後は有力な總督制が妥當

滿蒙政策遂行機關に對するわが軍部當局の意見

我滿蒙政策遂行の機關に就て關東軍當局の內意を聞くに大要左のやうである

滿蒙獨立國家成立前は軍部獨裁政治、成立後は滿洲總督制を妥當とする 前者は一の過渡機關にして政治と政略の調和を圖り支那軍閥制禦の必要からで、後者は新國家に接續さすべき新機關で顧問府と稱し、相折衝して**滿蒙國是を終始一貫完成し得る有力なる機關**たらしめんためである、而して兩者共政治、經濟、交通の各機關を包含せるものなること勿論である【奉天電話】

軍部首腦の重要會議

けさ二宮次長　歸京匆々

【東京七日發】二宮參謀次長は七日午前八時半東京驛着歸京すると共に直に參謀本部に登廳、金谷參謀總長、梅津總務部長、建川第一部長、橋本第二部長等總長室に集り、二宮次長より

一、滿洲各方面の實情

一、今後の滿洲軍の兵力を如何にすべきか

一、今後關東軍司令部に民政方面の事務を掌る部を設置するための職制改正方法

一、錦州方面の事態

等に關し、詳細說明報告し更に本庄軍司令官の今後の滿洲對策に關する意見の具陳について報告をなし、種々重要協議を遂げた後午前十一時半散會した

理事會審議停頓狀態

【パリ六日發】兵匪討伐權に關して日本は依然議長宣言を固執し、聯盟は相當困難な立場にあるが更に支那側が中立地帶反對意向で決議案と中立地帶問題との關連等あり、理事會は目下のところ閉會をも豫想し得ない狀態にある

起草委員會

收穫無く散會

【パリ六日發】決議案起草委員會は本日午後三時半より四時四十五分まで會合、伊藤氏を招き協議したが遂に何等進展をみず散會した右會合では主として調査委員會の權限に關する決議第五項の措辭につき討議されたが、日本對案たる委員會は若し命ぜられた場合、次の理事會までに撤兵に關する報告をなすべしといふ案は委員會の權限を制限するとの理由で受諾するを得ずといふ事になり更に修正案も出たが結局決定に至らず起草委員會は更に明日午前會議を續行する筈

學良自身陳謝せざれば斷じて許さぬ

北平武官府投彈事件と我態度

北平におけるわが海軍武官室への爆彈投下は更に日支關係を惡化し酒井駐在武官の如きは「學良自身の陳謝なき限り斷じて許せない」と亢奮してゐるが、北平は今や爆彈事件を中心として日支關係が微妙に動きつゝある、爆彈は正しく支那軍隊の使用するもので武官室正門前の滙文大學校舍より酒井武官の歸邸を目がけて投げ込まれたもので、爆發力の强烈な事は恐るべきで二間四方位に飛散してゐると、事件後直に日支兩國により共同調査が行はれたが酒井武官が記者に語るところによると

當時自分は天津に在つて危く難を免かれたが單に爆發力が强いとか弱いの問題でなく、帝國海軍の延長たる武官室に事件を釀した事に對しては正々堂々抗議をするつもりで目下本省の指示を仰いでゐる、事件後二日目三十日に學良の使ひが來たがこちらでは單なる見舞として承はりおくといつておいた【寫眞×印は武官府の爆彈跡】

峻嚴な抗議提出

日本の重大決意暗示

【北平六日發】日本公使館より昨日午後張學良の許に文書を以て提出した我海軍武官室投爆事件に關する正式抗議は字句極めて峻嚴でこれを以て帝國の代表機關に與へた重大なる暴行なりとなしこれが回答如何によつては相當の決意ある旨暗示したもので、錦州政權に對する我政府の强硬態度と關聯せる重要な內容を持つものと觀測す

北平の學生騷擾擴大

當局優柔に暴動化の危險

【北平六日發】北寧、平漢、平綏三鐵道の發着驛を占領せる學生團は各大、中學生の應援も數を増し七、八十輛の車輛と驛の各室に陣取り構內で炊出しをなし飲食店が出張するなどごつたがへして居る驛員及び乘務員は全部逃亡し鐵道電話も不通となつた、支那側は武力彈壓を唱へてゐるが後難を恐れ優柔不斷引續き公安局長や學校長などが慰撫に努めてゐる、學生側は益々强硬で事態如何によつては暴動化する危險あり今晚も睨み合の儘過ごされるであらう、一方北平外交團は學良に對し列車運轉至急恢復方を非公式に要求し我矢野參事官も公安局長を訪問し同樣の嚴談をなしたが支那側が斷乎たる措置に出でぬ限り解決の見込なしと觀られてゐる

反學良運動の前奏曲

【天津六日發】北平學生團の停車場占領は單に學生の意思のみでなく鐵道從業員各種工人團體とも連繫あり非武裝團體の反學良運動の前奏曲でその背後に廣東、直隸、安福各派の動きあり更に共產黨も生の指導を受け事態收拾は頗る困難となつて來た　學良は武力解散を決意したもの、學生團は戰略上女學生を矢面に立てゝゐるので威嚇射擊も出來ず全くもてあましてゐる、なほ右學生團は北平大中學生を網羅してゐるが、アメリカ系の清華大學が參加し居らぬことは注目されてゐる

各地に學生運動

形勢漸く重大化す

【上海七日發】北平學生の上京阻止、南京に於ける北平學生代表の監禁、學生團の請願禁止命令等に刺戟された學生運動は益々猛烈となり北平では更に中等學校學生二千名が大學團に應援して永定門、正陽門、豐臺各停車場を占領し天津、漢口への鐵交通は杜絕され形勢愈々重大化しつゝあるが、濟南でも學生團が停車場を占領して上京を迫り政府を手古摺らして居り漢口でも學生代表が省政府に對し請願團の上京を要求してゐる、上海、南京各大學生は南京で監禁された學生の釋放運動のため學生大會を開き政府攻擊の決議を爲しつゝあり、上海學生代表二百名は本日死を決して釋放請願のため赴京する筈であるが學生に困たあや

米の行動は九國條約に違反

日本の信用他國に劣らず

米上院シ氏の言明

【ワシントン六日發】ミネソタ州選出の農民勞働黨上院議員ヘンリツグ・シブステードク氏は日支紛爭に關しアメリカの態度を非難し

アメリカが聯盟に參加し日本に命令しやうとするは九ケ國條約違反である、今日の國際關係において日本の信用は他國に比し劣つてゐない、日本がケロッグ條約の遵守者である事は他國以上だと考へる

と言明した

全滿日本人聯合會

けさ十時から奉天において開催

滿蒙問題對策を討議

時局に關する全滿日本人聯合會は七日午前十時から奉天ヤマトホテル地下室において開催された、出席者は

大連大內、田邊、相川、仙波、番外吉田、芦刈、▲大石橋小林山下▲松樹山路、東▲營口上田▲遼陽細矢、安達、飯田、生田▲撫順中島、高久、窪田、末廣▲開原佐竹、佐藤▲昌圖青柳▲長春箱田▲安東荒川、藤平▲奉天上田、野口、富村、守田、萩原、石田、入江、木下、中展、鯉沼、三谷、笹江、菅原その他總勢五十名餘に達し奉天の上田氏座長に推薦され議案の審議に先立ち緊急動議として大連の吉田氏は政府問責委員派遣の件につき協議の結果、議案を委員に附託することゝなり可決しいよく議案の協議に入る

第一案　滿洲におけるわが政治外交軍事などの一の全權を有しこれを統轄する最高機關を設置要望の件

右案に關しては大連田邊氏よりこの際三頭、四頭政治を統一した最高機關の出現は絕對必要であることを說明し奉天守田氏はこの方法として來るべき議會に建議案として提出することに滿場一致可決した、その建議案は問責委員上京の際持參せしむることゝなつた

第二案　滿洲政策方針委員會に在滿邦人の代表を參與せしむべく要望の件

右に對しては奉天の守田氏の說明あり異議なく可決、また代表に關しては全滿日本人聯合會より選出しその方法は委員附託となる

第三案　關外の支那舊政權の掃討に關する件

第一項滿洲治安維持のため山海關以東の支那舊政權軍を掃討すべし、第二項若し中立地帶を設けるとせば絕對に山海關以西たることを要す、右に對しては大連の相川氏の說明あり奉天守田氏は錦州地方に中立地帶を設くることは絕對反對であると意見を述べ結局第二項は中立地帶を設置することは絕對反對すに字句を訂正して滿場一致可決

第四條　新國家建設に關する在滿邦人の意見協定の件（新國家は東北四省の民衆を基礎とすると）

この議案につき萩原氏の說明あり新國家建設については從來の幣制を改革し如何なる國家にせよ東北四省三千萬の民意を基礎とすること、新國家建設については事重大問題で更に研究を重ねれ又理事會を開き具體的に審議しても差しつかへない事、この際手ぬるい對策を排して東北省を日本の保護國として新國家建設を支那側になさしめること等議論百出したが結局委員附託となり十二時半頃散會した

解決案の二大難關

支那の態度に事態紛糾

【パリ六日發】中立地帶に關する十二ケ國代表會議からの問合せの手紙中の主なるものは「地域の決定」であるが、今一つの重要な點は日本の留保內容を知りたいといふ點である、卽ち緊急必要の場合に適當行動を執るといふ點に關するものでこの點につき今少し判然たる所を知りたいといふのである但し決議案と中立地帶問題とは全然別個の問題として取扱はれてゐるので、決議案が纏まつた際中立地帶問題は放棄するか否かは今のところ不明である、中立地帶設置を好まぬ支那政府の態度は益々事態を紛糾せしむるものとの印象を與へてゐる

日本の行動好印象

中立各國視察員の報告

【パリ六日發】理事會六日の形勢は匪賊討伐宣言形式及び中立オブザーバーの勸告權につき日本よりの回訓を待つてゐるが、朝來在滿各國オブザーバーの報告が相次いで到着し何れも日本側の行動に好印象を與へてゐる、午後の起草委員會はセシル卿希望で伊藤氏も加はり日支双方の立場につき檢討を重ねたが南京政府が錦州地帶不要論に傾いた事は理事會を立往生せしむるものと見られ、出席を求むる筈だつた施肇基氏へもこの狀態では別段語り合ふ必要もあるまいといふ事になり本日は出席を求めなかつた、なほ聞知する處によれば南京政府の回訓に基き施肇基氏が決議案宣言文に關する回答を理事會に提出したのは四日であつたが、ドラモンド氏は內容不滿足なるもの故形勢惡化を避けるため一時ポケットに之を納め施肇基氏へ再考を希望した、理事會も痺れを切らし閉會に漕ぎ着けんと苦心してゐるから日本の回訓到着次第急進展するであらうと見られてゐる

英視察員報告

國際聯盟に到着

【パリ六日發】滿洲視察中のイギリス、オブザーバー團は聯盟に對し左の報告を寄せた

一、十二月三日前後錦州は平靜で日本の飛行機が日々偵察飛行に姿を現はすのみ

二、日本兵約百名北寧線新民府の次驛たる柳家溝に殘留してゐるこは新民府への匪賊襲來に備へるためとさる

三、日本兵三百、目下遼河以西にあり新民府及び巨流河に駐屯し匪賊警戒を理由として分遣隊をして鐵道警備に當らしめてゐる然し余等は匪賊襲來を目擊した事はない

四、日本軍は兵員全部を引揚げさせるに十分な軍用列車を新民府に引き込んでゐる

五、長城以北の鐵道線上には未だ支那軍の移動を聞かぬ

天津學生も起つ

對日宣戰運動を赳す

【上海六日發】南京で列車を占領し乘務員を脅迫運轉させ來滬した暴力學生團二百名の南京學生は本日午後四時半伍朝樞氏邸で汪兆銘氏と會見し民衆政治、革命外交實現、東北失地回收、三民主義實現のため汪氏の來京を請願した、汪氏は廣東から胡、伍、陳、孫氏等が數日中來滬の豫定だからその上同氏と共に赴京すると約し民衆政治を力說し國難に當る旨强調した

南京學生團

汪氏に赴京請願

……まるの結果となるべく形勢重大となつて來た

【天津六日發】當地の支那學生は北平の學生運動に刺戟され相呼應して對日宣戰運動を起し氣勢を揚げることになり南開、北洋等の各大學代表三十名は昨夜佛租界で會合し左の決議をなし王樹常に手交することゝなつたが、何時暴動化するやも測られず我軍は警戒を嚴にしてゐる

一、錦州中立地帶絕對反對

二、聯盟を脫退し對日宣戰布告

三、當局は學生義勇軍に武器を與へよ

東北軍の第二旅滄州で兵變

韓、石兩軍應援の下に

【天津六日發】確なる筋への入電によれば今日午後五時頃津浦線滄州に在る東北軍第二旅丁喜春部下の一部は韓復榘、石友三應援の下に兵變を起し學良打倒の一石を投じた

學良全軍を擧げて錦州へ增援の準備

積極的に攻防を策す

【北平六日發】錦州方面に戰端開かれた場合東北軍は全軍を擧げて增援すべく該方面は榮臻指揮の下に數十の塹壕を構築し鐵條網その他攻防工事完成され飛行機よりの爆彈除けの土穴も夥しく掘られてゐる

錦州を死守

學良榮臻に命令

【北平六日發】東北軍幹部は中立地帶設置に絕對反對を表明し日本軍進擊し來らば蔣、張の命令如何を問はず斷乎反擊を決行するを主張したり殊に少壯派の鼻息荒く最早制止の術なきに至つたので張學良は昨夜榮臻に對し錦州を死守せよとの命令を發した

劉珍年軍防備

韓軍の攻擊懸念

七日未明芝罘より入港せる某艦客の談によれば、劉珍年は芝罘において日支衝突を避けるため從來極力芝罘における反日運動を壓へてゐるたが最近に至つて韓復榘が反張的に態度を變へたため劉珍年は韓復榘軍の襲擊を怖れ俄に芝罘において防備を嚴にして韓軍に對して備へてゐる

上海學生團の示威運動

【上海七日發】上海各大學排日救國會は六日午後代表大會を召集し北平大學生應援のため七日代表を派遣する事代表の出發前に租界內において大示威運動を行ひ秘密外交、中立地帶設置反對、調査委員派遣反對、顧維鈞氏の查辦、抗日運動壓迫反對、卽時出兵等を交涉する事に決したが、一方上海中學生抗日救國聯合會も同じく昨日午後大會を開催三十五校代表參加各學校は七日から一齊に休校する、全國各會一致罷市を斷行し政府に出兵を督促するとの決議をなし大學生團に對抗して氣勢を揚げる事となつた

顧外交部長は私邸で執務

【南京六日發】蔣介石氏は本日午前顧維鈞氏を私邸に招致し國民の反對は余が責任を負ふ故外交事務を余の宅において執られたいと命じ、顧氏はこれに對し

余は事務は執るが全國各會、言論機關が爭つて余に反對して居る、この反對歇まざれば辭職の外ない

と答へた旨發表された、顧維鈞氏は當分蔣氏の私邸で政務を見る筈

與黨の院內役員

詮衡とその顏ぶれ

【東京七日發】第六十議會召集も間近に切迫し豫算編成は既に五日與黨、藏相間の折衝で關稅問題妥協なり、協力內閣問題も安達內相の園公訪問の結果現狀維持で押進むことと明瞭となつたので、愈々院內役員詮衡に取りかゝることゝなつたが、常務顧問富田幸次郎氏は既に櫻澤氏の後任議長に押され、院內筆頭總務には中村啓次郎氏、山道襄一氏何れかが就任、院內一派を切拔すとの說が有力である、黨筆頭總務は慣例を破り櫻井木桂吉氏が重任せざる限り俵孫一、中村啓次郎兩氏の中何れかが選任される筈で、幹事長は山道襄一氏が事實上の筆頭總務になり難局に當り、後任は小山松壽、一宮房次郎、永井柳太郎三氏何れかである、要するに院內外總務及び幹事長の人選如何によつて總務、部長の顏觸れが決定されるのであつて何れにしても院內外總務は

鳩澤宇八、小西和、岡崎久次郎、吉田磯吉、井上剛一、廣瀨德藏、堤康次郎、增田義一、木檜三四郎、加藤鯛一、內ケ崎作三郎、津原武、斯波貞吉、土屋清三郎、田中萬逸、鈴木富士彌、小坂順造、粟山博、山本厚三、野村嘉六、小川郷太郎、八木逸郎、野田文一郎、荒川五郎

蔣氏に下野要求

廣東派執行委員通電

【廣東六日發】昨日終了した廣東派國民黨第四次代表會議執行委員は「蔣介石が下野せざれば南京に赴かず廣東に暫時中央黨部を設く」との通電を發した

當局の彈壓に益々惡化

【南京六日發】學生の暴動惡化し警備隊と正面衝突し双方負傷者を出すに至つたので、衞戍司令部は彈壓令を發し今曉までに百八十五名（內女二名）を逮捕して衞戍監獄に打込んだ、暴動學生の卽時釋放、當局の謝罪、損害賠償を要求し猖獗を極め更に別働隊は打倒顧維鈞、蔣介石等國民政府反對のビラを貼り廻し形勢不穩である

汪精衞氏痛烈に外交政策を糺彈

國民進退兩難に陷る

【上海六日發】當地にある汪精衞氏は蔣介石氏に對し最近錦州中立地區設置又は天津國際管理を聯盟に提議したといふが眞僞如何、事實とせば絕對反對なりとの電報を發し、國民政府の外交政策を糺彈した、顧維鈞氏に對する反對は今や國民政府の外交政策への總攻擊となり聯盟との間に國民政府は今や進退兩難に陷りつゝある

土匪團も活動開始

【天津六日發】北平に學生騷擾發生し反張氣勢濃厚となつて來たのに乘じ樂亭天津鐵路附近の土匪昨日來俄然活動を開始し鐵路をも破壞し兼ねまじき情勢を示して來たが附近の支那軍隊は無力にて今朝天津から機關銃を持つて討伐隊が出動した

北平附近鐵道全部不通

【北平六日發】平綏線も今朝來不通となり北平を繞る全鐵道の運轉停止され全く孤立に立つに至つたので當地の外交團は平津間交通保全の條約上の權利につき抗議すると共に國際列車の運轉を考慮するに至つた

張海鵬獨立宣言要旨

洮南の張海鵬氏が去月廿九日易幟を斷行して國民政府及び張學良より名實共に獨立せることは既報したが張海鵬氏が當時發表した獨立宣言は最も明確に獨立を表明してゐる、全文は頗る長文であるがその前文において民國二十年間の腐敗政治を指摘し蔣介石、張學良の失政を糾彈した後次の如く結論してゐる

爰に特に國民政府及び北平行營（張學良を指す）關係を脫離し今後本軍の到る地方は均しく海關より蒙邊督辦の名義を以て自主獨立し以て保境安民に資し東北大局の根本政權歸一するを俟つてその隸屬統轄に應ずべきを宣告す【四平街電話】

宇垣總督園公訪問

【清水七日發】宇垣總督は歸任の途次今朝八時半興津に園公を訪ひ治鮮方針並に對滿方針その他につき約一時間に亘り報告十時四十分辭去久能山に參拜午後三時二十分靜岡發途中辨天島に立寄つた

坪井聯隊長戰況講演會

辛島民政署長、小川市長、時局後援會主催で來る十三日午後六時から協和會館において洮昂線戰に參戰した坪井步兵三十聯隊長の戰況講演會を催す由、市民多數の來聽を歡迎すると

人事

▲江口定條氏（滿鐵副總裁）七日朝奉天より歸連

▲山西恒郎氏（滿鐵理事）同上

▲八木聞一氏（滿鐵秘書役）同上

▲山ノ井格太郎氏（滿鐵囑託）同上

▲竹中政一氏（滿鐵理事）社外線滿鐵社員慰問を終へ七日朝歸連

▲シ・バーロン氏（佛大使館附武官）七日午前十時出帆のあめりか丸にて內地へ

▲原田貞吉氏（豫備陸軍中將）同上

▲在滿在鄉軍人時局同志會一行十二名　同上

▲九州日報主催軍隊慰問團一行五十一名　同上

▲キニー氏（滿鐵囑託）同上

▲鈴木豐次郎氏（海軍少佐）家族同伴同上

ばいかる丸　八日午前八時半大連港外着の豫定

蛇角

南京外交部長顧維鈞辭意、學生から辭職勸告を受けた餘、頑張ると王正廷のやうな目に遭ふ。

◇

北平學生運動に、政治的黑ん坊がある、正體は反動派か共產派か例によつて不明、不明といふよりもゴッチヤ。

◇

津浦線滄州の東北軍第二旅、學良打倒の兵變を起す、韓復榘の尻押、張韓の反目追々具體化。

◇

女學生を先頭に立たせるのは支那示威運動の常套手段、嬰兒を看板にする乞食と同一心理。

◇

馬占山後援の五百餘名、上海から北上の途に就く、其愚其痴憫く可きも、無理にも崇拜者を製造せんとする心理狀態には同情。

東亞の謎（143）

國枝史郎　作
伊藤順三　插畫

危機から危機へ（十七）

小夜子はヂリくと引き寄せられて行つた。

引き寄せられながらも小夜子は思つた。

（どうせ妾の體なんか、これ迄メチヤくに穢されてゐる。誰に穢されたつて同じだ。でもこんな野蠻人の也速該なんかに穢されるのは厭だ。それに此奴の目的は、妾を愛して妾の體を、自由にしやうとするのではなく、さういふ事をすることによつて、妾の體へ――肌へ現はれる、謎の解釋を得やう爲めなんだ。……それを上げたい人は他にある！松下伯爵へ！あのお方へ！）

それで彼女はどうあらうとも、也速該の魅力から遁れやうとして心と體とをもがかせるのであつたが、遁れることは出來なかつた。それは謂はれぬ動物的の、不可抗力であるからであつた。

彼女はヂリくと引き寄せられて行つた。

やがて彼女は寶座まで來た。

彼女の手は自と寶座にかゝつた。

也速該の濡れた紫色の唇が、蛭かのやうに蠢いた。

「伯爵樣！伯爵樣！」

彼女はやつと是だけの言葉を、死物狂ひで口から吐いた。

「伯爵樣！妾の伯爵樣！」

彼女の體は捲き上げられるかのやうに、寶座の側面を上の方へ登つた。

也速該の露出した肥つた股が、盛上がりながら眼の先にあつた、その上へ彼女が乘せられたら……

…………

彼女の體は登りつゝあつた。

「助けて！伯爵樣！妾の伯爵樣！」

松下伯は見詰めてゐた。

忘れてゐた。が、今は氣がついた。

（擊つんだ！畜生、也速該の野郎を！）

彼も銃を持ち上げた。

伯も狙ひを也速該へつけた。

也速該の胸へ、擴げた胸へ。

が、この時叫び聲が、それも洋子の叫び聲が、本堂の方から聞えて來た。

恐怖と、怒りと、悲哀とに充ちた。

「兄さ――ん！」

といふ聲であつた。

「助けてヨ――ッ」

といふ聲であつた。

プルッと顫え、思はずよろめき伯は銃を下へ下げ、聲の來た方へ顏を向けた。

その時也速該は兩腕を延ばし、小夜子を股の上へ抱上げた。

瞬間鐵砲の音がした。

次郎が夢中で擊つたのである。

と、それの木精かのやうに、洋子の悲鳴の來た方角からも、同じく鐵砲の音がした。

先刻から堂の入口で、扉の陰に身をひそめながら、眼ばかり出して見詰めてゐた。

伯も一切を直感してゐた。

彼の額からは汗が流れ、胸は凄じく躍つてゐた。

彼の横に次郎がゐた。

彼は先刻から喘いでばかりゐた。

「ハ、伯爵！お、伯爵！」

呻くやうな聲で彼は云つた。

その時彼は伯の兩手が、銃をソロくと持ち上げるのを見た。

（うむ、俺も）

と次郎も思つた。

彼は自分が蒙古兵として、蒙古兵の服裝をし、さうして先刻蒙古兵を仆し、その手から奪ひ取つた劍附きの銃を、握つてゐることを

奉天長春チチハル間の定期航空路を開設する
追て京城大連にも延長計畫
當分は隔日に一回

兒玉遞信省航空局技術課長佐藤朝鮮總督府航空官、島田陸軍々務局航空中佐の三氏は去る三日京城より飛行機で來奉、麥田日本航空會社運輸所長參加の上軍當局と滿洲航空路開設に關し協議中なること既報の如くであるが、聞くところによれば愈々近く奉天、長春、ハルビン、チチハル間の定期航空路開設の運びとなり先づ奉天、チチハル間隔日一回より開始されるに決定した模樣で、なほ本航空路は追つて京城、大連に延長さるべく斯て日滿連絡の一大エポックを造るわけである【奉天電話】

遼河以東の匪賊を徹底的に討伐
支人側の要望も容れ 自衞手段斷行

滿鐵沿線を脅威する兵匪別働隊等の跳梁止まざるため我軍は支那人側の希望もあり遼河を境としてそれ以東の兵匪を一人殘さず徹底的に討伐する事に決定した【奉天電話】

警務局の一部奉天に進出
松田高等課長が滯在して各方面と連絡し警備統制

關東廳警務局の一部奉天進出はかねてより第一線に於て活躍しつゝある沿線各警察署の切望する處であつたが中谷警務局長も最近沿線視察の結果その必要を痛感し、突然これを實現することゝなり、奉天に於ける關東軍、滿鐵、憲兵隊等の連絡、情報の蒐集、警備上の統制等の任務に松田高等課長が當ることゝなり、支那通の末光警部同伴六日夜大連發急行で赴奉したが、事務所は奉天署內に置き、松田高等課長一行は奉天にて越年、來春まで滯在し形勢の推移に順應する筈である

鐵道聯隊勇士
昨夜東京出發

【東京六日發】支那兵匪に破壞された滿洲各地の鐵道修理のため派遣を命ぜられた近衞師團管下の千葉鐵道〇〇聯隊の牛田大尉以下〇〇名の將士は千葉市民の歡呼に送られて六日午後七時二十四分千葉驛發同八時四十四分兩國驛着、直に東京驛に集合し婦人待合室で月桂冠、勝栗、鯣などで岡本師團長、林第一師團長、林警備司令官等が牛田大尉以下の出動將士を招じて奮闘を誓ひ乾杯、斯くして派遣將士は十一時三十五分萬歲聲裡に勇躍西下した、一行は八日午前十時三十分下關發關釜連絡船で渡滿する

農民の窮狀に救恤金下賜
青森縣と北海道に黑田侍從を御差遣

【東京七日發】兩陛下におかせられては本年の北海道並に青森縣下における凶作による農民の窮狀を聽し召され殊の外御軫念遊ばされ七日特に侍從を御差遣並に救恤金御下賜の御沙汰あつた、よつて侍從黑田長敬氏は七日午後十時卅分上野發青森縣へ赴き四日間同縣下の視察をなした上更に北海道に渡り仔細に凶作による農民の窮狀を視察の上十八日歸京、兩陛下に御復命申上げる趣きである

戰線の實感で輿論を喚起
在滿在鄉軍人時局同志會の內地特派員一行出發

滿洲實情報告旁々母國における時局に對する國論喚起に努めるため全國遊說に赴く在滿在鄉軍人時局同志會の特派員春日兼二郎氏以下十二名は七日午前十時出帆のあめりか丸で內地へ立つたが埠頭には在鄉軍人の各分會が時局同志會の大旆を擁して見送りあめりか丸舷側一面に「先人十萬の碧血をわすれず」「職點出でゝ東亞亂る」等々墨痕太々しく警句を記した十數枚のポスターを張りつけ意氣を揚げる、船室に訪へば一行中の足立氏は

先日二週間の日程で戰線を視て來た結果を交へて時局硬論を內地聯隊司令部所在地、縣廳所在地等主な都市を隈なく遊說に廻るつもりですが遊說には二名宛各班に別れ全國隈なく廻るつもりです、豫定は今月一杯、聲の續く限りやりますよ

と潑剌たる元氣で語る、愈々船が岸壁を離れるや見送りの同志より「命のあらん限り、聲の續く限り叫び續けます」と送られる者亦之に應えて颯爽たる元氣で出發した

下賜の眞綿を宮相から傳達

【東京七日發】畏くも皇后、皇太后兩陛下より滿洲派遣軍に御下賜の御沙汰あらせられた防寒用眞綿は七日調達を終つたので今朝一木宮相より陸軍側に傳達した、右眞綿は一人當り二十匁のもので陸軍では直に滿洲に急送することゝなつた

繃帶を下賜

【東京七日發】皇后陛下には七日午前十時半傷病兵に對し繃帶を御下賜あらせられた

暮祭り入場料を兵隊さんに贈る
協和會館と大正小學校とて 兒童館の演奏舞踊會

東洋平和のため在留同胞保護のため雄々しくも零下何十度の酷寒に心身を賭して戰ふ皇軍や警官に對して出來るだけの慰問をしやうと小さいながらも赤心を披瀝した北公園兒童館は五日沙河口兒童館は六日それ〴〵幹事會を開いて今年の暮祭りをどうしやうと相談した北公園の方は日本橋、松林、大廣場等の小學校四、五年級の小さい幹事が二十名、沙河口の方は下藤、聖德、大正小學校から十九名集まつて相談した結果北公園兒童館は十九日に協和會館で、沙河口兒童館は二十日に大正小學校で暮祭りの演奏舞踊會を催しその入場料全部を出動軍隊や警官に送らうと云ふことになつた、兒童達が異口同音に述べたことは「これまで毎年暮祭りには大人から澤山の贈り物を貰つたから今年は贈り物をお斷りしてこちらから大人に贈らう」と云ふのであつた、それで各小學校生徒に獻金袋を配つて一錢でも二錢でもよいから入れて暮祭りの日に各自に會場に持つて來て貰ふことにし會場入口には獻金箱を置いて一般人の獻金も受けることにした、それにカナリヤ子供會が暮祭りを應援しやうと申出て無報酬で出演することになつた、又兒童館音樂部のバンドは當日演奏するのだとて進軍、遼陽城などをもう一生懸命練習し始めてゐる

附近部落を掠奪しつゝ公太保農場襲擊
擊退され馬賊集結中

大民屯、小民屯附近に橫行せる梯字兒を頭目とする馬賊團二千名は既報の如く勸業公司公太堡農場を掠奪策謀中であつたが、五日午後十時五十分五道溝より柳家を經て附近を盛に掠奪しつゝ農場事務所の襲擊を開始し匪賊[illegible]名は農場周圍より發砲、農場應戰した、周壁近く押寄せた匪に手榴彈小銃を以て對抗せ[illegible]賊は暗にかくれ一先づ西方[illegible]したが更に賊團は途中各部落に於て軍資金を調達し大擧して再び農場を襲ふべく目下大部隊を集結中因に機關銃數挺を有する賊團に對し僅に數挺の小銃を以て對抗することは到底不可能にして三百餘名の鮮人は戰々兢々避難準備を急いでゐる、七日午後一時報に接した勸業公司では直に守備隊に通報し軍の出動を請願した【奉天電話】

新城子虎石臺に避難民殺到
虎石臺守備隊が討伐

新城子附近の馬賊團約百名に別れ同地より西南方二十[illegible]の支那部落にあり七日早朝守備隊は大橋方面より討伐[illegible]たが、同地一帶の避難民は虎石臺停車場に殺到してゐる、奉天署からは今曉應援のため山本警部補以下七名現場に向つた【奉天電話】

馬賊團と三日間交戰後彈藥つき掠奪さる
通遼の華興公司農場

奉天大倉組への入電によれば通遼の華興公司農場は過般來邦人員が飛行機で避難後鮮支人廿七名が留守してゐたところ去る廿七日北方より約七百名の匪賊團が襲來して事務所を遠巻きに包圍の上使を派して降伏を迫り武器財產の引渡しを要求した、留守の者はこれを拒絕し直に双方の間に激戰が開始された、かくて廿九日迄双方の間に交戰が續けられたが、同夜は彈藥つきたゝめ遂に脫出の已むなきに至つた、これと同時に匪賊團は農場事務所に殺到し機具を掠奪放火して逃走した、因に同地方には鮮農小作人若干名殘留してゐる筈であるが、消息は目下のところ不明【奉天電話】

使用人避難し來る

通遼の大倉組新興公司農場使用人[illegible]る四日漸く打通線甘旗卡驛にたどりつき打通線にて打虎山通過七日正午奉天に着いた、因にこれら避難者の話によれば本年收穫の籾その他の農作物、農具機械、種牛、種草等掠奪燒棄されその損害莫大であると【奉天電話】

順承王府の「正門」をパチリ
支那兵がグルリと取り卷く
北平にて 加藤特派員發

【北】「今度は北平だ」天津の日本人の頭にはピンとそう感じた、その矢先だ、海軍武官府の爆彈事件があ[illegible]の靜かな古池の樣な北平に大きな波紋を起した、記者（加藤特派員）は正に風雲急を告げ導火線に火の放たれた北平に飛ぶ、三日の朝だ戒嚴令下の揚村に集つてゐる灰色の支那兵におびやかされ正午、北平の土を踏む、またんだ、學生連の大デモにぶつつかり「矢張りしつかりしなければいけない」と覺悟を決める、大デモは馬占山が再度の力味ぶりに感激して募金中の學生で、可愛い事には一々金額に應じて受取證を出す、この淺譚で例へ樣のない惡しいデモに愛憎をつかせ

【滿】鐵公所に石井所長を訪ふ「いやあ、さうさう來たれ、忙しいかつて、あゝ忙しいよ、今が一番大事な時さ、滿鐵本社へ訓電を仰ぐのにこゝも出先の我々は全く奔命に疲るゝと云ふ形さ」いづれ又と辭して同所の田草川氏と共に市內を廻る、爆彈に今次事件の導火線となつた海軍武官府を訪れる、濱井武官に云はすと「事の大小を問はず國家の延長たる武官府に爆彈を投じた以上只では濟まされない」事實問題は重大である、白いか黑いかハツキリさせる必要がある、從つて濱井武官の搔くし立てる樣な元憤ぶりは當然である、武官府を覗き込む樣に建つてゐる匯文大學の校舍

【爆】藥の飽る强烈な事「こゝさこゝさ……」田草川氏が詳細に想像の程度を話してくれる「もし俺が死んでゐたら濱井一人を殺しやせんだらう、國民は俺を犬死させせん事はよく知つてゐる」帝國海軍を背負つて立つてゐる濱井中佐の鼻息は物凄い、事變後四日目爆彈の穴は枯葉がつまつてゐる、次に學良がゐると言はれる順承王府に行く「寫眞は危ないぞ」と注意はしてゐたが、來て見るとヤツつけちまへといふ氣になる「こゝですよ」殆ど城廓をなした古い建物だ

【武】裝いかめしい學良直屬の兵が一間每に立哨してゐる、その間を號令らしい白[illegible]

【日】[illegible]車隊が恐ろしいスピードで走り廻つてゐる、城角にはすつかり土嚢が築かれ物々しい[illegible]氣が漲つてゐる「やる[illegible]眞班員は思ひ切つて車[illegible]三十人許りの正規兵が[illegible]ゐる正門をパチリと寫[illegible]「しめた、飛ばせ」[illegible]た、次の辻まで車が走[illegible]傳令は早廻りして車に[illegible]命じる、何時の間にか[illegible]規兵にグルリと取圍ま[illegible]すると車內を一見した[illegible]「來龍」來いと云ふの[illegible]本人だなと[illegible]同時に急に[illegible]この間王府の內部との[illegible]偵察が派遣されその處[illegible]の見物が増えてくる、自分達は此處が度胸の見せ所と支那兵看視の中で悠々と煙草に火をつけ煙りをかけてやつた、そして滿洲日報記者だと名刺を見せると結局フイルムを出せとも、好いとも云はず、よろしいと解放する、滑稽なのは忙しいから早くしろと怒鳴ると「好々」と馬鹿に下出た事でこゝらにも如何に學良が日本人との間に事を起さしめないといふ事に努力してゐるかゞ窺はれる一行は朗かに口笛を吹

【吹】き旅舍に戾る、學良は日本人一人に巡警名位をつけて萬一の事件を防いでゐる【寫眞は順承王府正門】

カード階級に正月を贈る
派出所を通じて調査

歲の瀨が迫つて各家庭では樂しい春を迎へる準備に忙しい時この寒さに煖房の設備どころか其日の糧すら得ることが出來ず悲慘なドン底生活を送つてゐる不幸な邦人も尠くない、杖と賴む夫が永の病で家族一同が餓ゑてゐるもの、寄る年波を孤獄に泣く哀れな老母、失業と病と戰ふ痛ましい家庭など異鄕の空に不幸を喞つ人々これ等カード階級に對し世の同情を求め、せめて正月だけも一片の餅を贈りたいといふので大連署保安係では七日附各派出所に貧困者調査を命じたが廿日頃までには調査完了の豫定でその結果例年の如く各方面の篤志家の同情に訴へる筈である

白米を寄贈

双葉幼稚園ではさきに感謝祭を催した際園兒が持ち寄つた白米二斗を七日大連署を通じ貧困者に贈つた

衣類卅點を

七日午前十時ごろ大連市役所社會課に匿名の一女性から衣類三十點を貧困兒童救濟に屆けて來た

英艦乘組員カフエーで暴行

六日午後九時二十分市內岩代町三番地カフエー東京で英國ホールライン會社汽船シティーオブアンセンズ號の舵手エル・アール・テイラー（三二）が勘定のことから言ひ掛りをつけ植木鉢、痰壺、硝子窓を散々破壞し、果ては電話線を切斷するなど亂暴の限りをつくしこれを制止せんとした女給春井八重子（二三）も毆打全治一週間の傷害を負はせた、急報により大連署員驅つけ署に檢束、取調べ中である

日蓮宗慰問使

日蓮宗では管長代理として本山運永寺貫主平間僧正を正使に同宗社會課主事加藤通温師を副使に任命來る十一日大連埠頭着、同日午後四時關東州日蓮宗寺院主催の（春日町大蓮寺式場）國禱會午後六時戰死者追弔會午後七時講演會に導師となり十二日より旅順及び沿線を經て北滿方面に慰問追弔に出張し朝鮮經由歸朝の由

時局軍事映畫會

映畫「昂々溪戰」を中心に本社主催「護國祈願祭」實況」も映寫

今夜七時から滿日講堂で開催

◇…場內整理料として金十錢申受けます

主催 滿洲日報社

社外線社員は元氣で活躍
總裁代理で各地を慰問した竹中滿鐵理事歸連談

內田滿鐵總裁代理として奧地軍隊及び社外線勤務滿鐵社員を慰問した竹中理事は七日朝歸連したが次の如く語る

四洮、洮昂からチチハルに出てそれからハルビンを經て吉長に廻り北滿線も新民まで行つて軍隊、傷病兵、滿鐵社員を慰問した、各地の滿鐵社員は非常に喜んで會社の首腦者がこれほどまでに我々のために意を用いて吳れるかと感涙にむせぶ者さへあつた、社外線派遣員は體格、意氣ともに元氣揃ひの者ばかりで非常に人選宜しきを得てゐるために格別疲勞してゐる樣子もなく衞生狀態も至極良好でたつた一人病人があつたゞけである戰鬪中は職掌などは構つて居れず皆彈丸雨飛の中で活動したが一人の死者も出さなかつたことは天佑だと思つてゐる

外人船員檢束

目下入港中のノールウエー汽船ロンガ號の乘組員チセンソン（二八）クリスチヤム（二九）ペナム（二九）レム（二八）の四名は六日午後九時ろ各所で飮み廻つて酩酊し市內浪速町カフエー麗人會館で約五圓餘の飮食をなし、勘定となると女[illegible]食はせたチキンライスの代金を拂はぬといふ理由に勘定の支拂を拒否せんとしたので大連署員が船長を呼出し說諭したところ船長は留置して吳れと取り合はず種々交涉の結果勘定を二圓けることで解決放還した

警備電鈴調查

小崗子署では年末警戒を開始すると共にいよ〳〵犯罪期節となるのでかねて管內有力商家に取付けてある四百餘箇の警備電鈴を朝非番員總出動のもとに一齊調查を行つた

旅順市民大會へ後援會出席

旅順では七日午後六時から昭和園に於て市民大會を開催するので時局後援會からは小川會長、恩田、小野、寶性の各委員出席する筈

沙河口に强盗

六日午後六時十分ごろ市內沙河口西町一五三支那酒屋源興泉こと張六六方へ一名の强盗侵入しニッケル製拳銃を突きつけて家人を脅迫し金五圓小洋三十圓を强奪して逃走沙河口署では目下手配して犯人嚴探中

鈴木少佐赴任

旅順海軍無線電信所長より橫須賀海軍水雷學校兼通信學校敎官に轉勤を命ぜられた鈴木豐次郞少佐は家族同伴七日出帆のあめりか丸にて離連任地に赴いた

釋尊成道會

市內天神町常安寺にては明十二月八日午後六時より釋尊成道會法要を營み一般參詣者に對しては甘酒五味粥の接待ある由

天氣豫報

八日 北西の風（曇）後晴

各地溫度

	七日午前十一時	六日最高	六日最低
大連		四、一	五、八
旅順		三、二	三、七
營口		零下〇、六	零下一、五
奉天		同三、七	同三、〇
長春		同七、二	同一、五

暴風雨警戒解除 七日午前十一時遼東半島一帶の警戒をとく

けふの小洋相場（正午） 金百圓は二二四圓二〇錢

暗流阿修羅館 (265)

生田蝶介
挿畫 藤井耕達

乃傷(九)

「私は怨みを呑んで戻りました。寢ることも出來ません、食べ物も咽喉に通りませんでした。世の中がまつ暗になつたやうに思ひました。ぶつ／＼と怒りが黑く燃えあがるのです。もうどうしてよいかわかりませんのです。上樣もなければ自分もないの…。先祖に對して濟まぬといふ思ひで一ぱいでした。どうしてくれやうといふ怨みの焰でくすぼつてゐました。がまだ怨みは霽ませんでした。で、その次の日、御城を退ると、築地のお屋敷に伺ひました」

「ふん、それで、意知殿は逢はれたか」

と對馬守は、善右衞門の顏を見た。

「お目にはかゝれました」

「よく逢つたな」

「親にもまして尊大なことは誰も云つてゐました。私にもさう思はれるのです。覺悟はして參つたのでした。が、案外、すぐに逢つていたゞけたのでした。

やはり、何の用事で來た。と不機嫌さうに訊かれたのでした。それで系圖を大老にお貸したことから、前の一部始終を話し、大老はその樣なものは知らぬとのことに腑におちない數々を話した上。

──もしや、貴方の方におありではないかと思ひまして、夜分、無體にもかく參上いたしました。

と云ひました。

が、意知殿は、うるさいな、とでもいふ風に一寸眉を動かしたが

──其方は父意次に貸したと云ふではないか、私のところに催促に來たとて私に拘る道理はない。

と、にべもなく云ひ切るのです。ほんとに知らぬのか、それとも知つて知らぬ顏をするのか、冷たくおもひました。本來ならば、それは困るであらう、私が父上によく訊いて見てやらう。といふのが當り前だとおもひます」

「さうあるべき筈である。何といふ親子どもであらうな」

「それで、私は、父上に貴方から訊いていたゞきたい。といふことを云ひました。

──私はいやだ、私は訊くことはいやだ。父は父、何をしてゐるか、勝手なことをしてゐるであらう。私は父のすることは嫌ひだが、父の爲たことに干渉することも嫌ひだ、從つて父の爲たことに責任はもたれない。父の爲たことに對して、私のところに來るのは間違つてゐる、血迷つてゐる。たわけ者が！

が、私には、どうしても二人の間に連絡があるとしか思へませんでした。この野郎、しらばくれて居やがつて、と思つたのです。

──それではどうあつても──

──くどいな。だが、それほど大切の品であつたら、定めて一札の書類が渡してあるであらう。その證書を見せて貰はう。

──證書。

私は思はず「あつ」と云ひました。男と男、まして、大老の人格を信じればこそ門外不出の品を貸したのです。信じないものを、たとへいろ／＼の義理があるからとて何で貸すものでございませう。だのに、證書とは、何といふことでせう。

──證書。そのやうなものはいたゞきませんでした。證書などといふものは信の置けない下々の書くものです。

──證書なくして何が信じられやう。其方はそのやうに云ひがゝりを云つてどうしやうといふのか

この言葉で親子なれ合ひで仕組んだことゝ感付きましたのです。

そして、もうどの樣にしても再び私の手に、佐野家の系圖は戻つてくることはない、と思つた時、私は身體中の血潮がとまつてしまふかと思ひました」

キネマと演藝

映畫界の總決算(一) 昭和六年度

昭和六年度の映畫界は實に多事多端であつた、回顧して見ればそのいづれもが映畫の向上發展にとつての階段であり試練である、今月別にして主なる事件を列擧すれば左の如きものがある

▲一月 壽之助、若水絹子等下加茂退社金龍館に實演、マキノ爭議依然續く、日本劇場紛擾、マキノ新職制なさる、日活の小出眞弓君感光裝置を發明、阪妻大日本自由プロダクションを組織、ダグラス及び監督フレーミング來朝、大町北造氏日本發聲映畫を創立、國際教育映畫協會文部省へニュース交換の申込み、各國に教育映畫の輸入稅撤廢運動起る

▲二月 映畫スターの保險流行、大阪の東洋劇場工事着手、土橋兄弟トーキー機發明、蒲田西大三氏光力增感裝置を完成、廻轉數制限を中心に活動寫眞協會と興行組合が聯合會を開く、文部省民衆娛樂不調査委員會をつくる、關西セールスマン倶樂部出來る、日活撮影所の夜間料廢止、常設館サービス競爭時代、ロシヤ映畫輸入業者に當局の眼が光る、東和商事大阪支社設置、監督俳優の爭奪戰起る、東亞映畫の配給網成る

噂話

十二日に協和會館で獻金舞踊會を開く大連舞踊研究所では出動警官留守宅慰問のために招待券百枚大連署を通じて寄贈した

▲東活實演隊の「出征夜話」は近く大日活に脚本を送つて來る筈であるが▲正味約一時廿分を要する內容の充實した出し物で既に撮影所で稽古にかゝつてゐると

來滿に決定した東活撮影實演隊
現代劇部のみとなり
正月第一週に大日活に出演

東活撮影所では「北滿の落花」撮影隊の現代劇部と共に澤村國太郎らの時代劇部俳優を總動員して正月休暇を利用し一大レヴュウ團を組織し大々的に駐滿軍隊を慰問すべく計畫中であつたがその後各種の事情より時代劇部俳優の來滿は中止となり撮影隊として來滿する現代劇部のみが實演と映寫で軍隊慰問をなすことに決定し、一行は來る廿日前後來連し直に沿線各地を巡回軍隊慰問と撮影をなし、正月一日から大日活の正月興行に出演、滿洲事變を背景とした「出征夜話」を實演、旅順を振出しに奉天、長春にても公演する豫定で準備を整へつゝある、これがため大日活では既報の正月プロの順序を變更し、第一週を東亞週間として「白蝶秘門」前篇と「綠の地平」を上映、幕間に「出征夜話」を上演することゝなつた、なほ來滿する一行は根津新、井手錦之助兩監督の外、南光明、武村新、東瀬久義、岡田靜江、大內純子、宮城直枝ら男優七名女優六名である

日本廿六聖人

◇この一篇が日活の手によつて製作されるまでの經緯、その他日本基督教史の幾頁かを繙くお說教じみた撮影余談はファンにとつて何等の感激もないことだらうからこの一篇を日活超特作品時代劇といふところに觀點を置いて試寫を見た

◇先づ池田富保の脚色は日本基督教殉教史の幾頁かを教科書用映畫らしく平面的に至極あつさりと纏め上げて、大衆的興味を單純な母性愛へ集中してゐる、一見甚だ平凡であるが、その平凡なところにこの大作を纏め上げた手際は流石に老巧なものである

◇從つてその監督手法も至つて平々凡々、坦々たる道をドライヴするが如く事件を進めて、そこに映畫的進展を求めず一途に圓滑な仕上げの常道を辿つて全十九卷を可もなく不可もなく完成したところ、これまた池田富保一流のお手際である、たゞ後半、强ひて觀衆の涙を求めた子役の使ひ方に反省がないのは物足らない所だが、これで立派に觀衆を泣かし、この一篇の大衆的話題を提供してゐるそこは池田監督がよく呑み込んで日本映畫の常套的手段の大上段の構へでもある

◇キャストに就いてはそれこそ眞のオールスターキャストで名前のあげられてゐるだけがザット百人だから、日活の豐富な俳優群に頭を下げるより仕方がない、そこで印象に殘るのを一寸あげて見ると澤田清、山本社三郎、新興美助、高勢實乘、伏見直江らで、山本嘉一のペトロ・バプチスタ神父は扮裝が上手過ぎて山本嘉一といふ印象が薄く、斷然芝居の巧味は中村美雄のルドビコ佛市獨りに渡はれた感じである、特別出演の片岡千惠藏はフランシスコ傳吉に扮してゐるが、出し方が上手なためにあれだけのキャストのうちでハッキリと目際つところ、これまた池田富保の老練さの齎すところである

◇キャメラは池田監督とのコンビ酒井宏でムラがなく調子が整つてゐる點、近來の名キャメラで、超特作品らしい品格も亦このキャメラに負ふところが尠くない、結局は日活が總動員し得る監督池田富保が物するところ豐富な俳優陣と贅澤極まるセットを誇る所謂日活時代劇超特作品と言ふ型を固守した映畫日本基督教殉教史梗概書である【八日から帝國館上映】

本社特選 新棋戰 (其四)

平手 香交 七段△溝呂木光治
先手番 六段▲山北孫三郎

【圖は七四歩迄の局面】△溝呂木氏「持駒」歩 ▲山北氏「持駒」ナシ

△六五歩 ▲五三銀
△六六銀 ▲五一角
△三七桂 ▲六四歩
△同　歩 ▲同　銀
△六五歩 ▲五三銀引

【土居八段講評】▲溝呂木君は敵の六五歩に對し若し同銀と取ると七七桂、六四歩、九七角とのぞかれ頗る不利の局面に陷る故本譜の三五銀引は已むを得ない▲但し以下緩い手を指して居ては次第に壓迫さるゝ惧れあれば本譜の六四同銀は惡い。茲六二飛と轉じ敵の作戰を牽制する意味に我れより攻勢を執る處である。

【荻原六段解說】山北氏の六五歩は六六歩留めの時より考へて居た順で、この手があるから先の六六歩留は至當な手となるのである。溝呂木氏の五一角は敵の三七桂、四五桂の順を避けて、模樣によつて七三角、八四角出を窺つて居るのである。山北氏の三七桂は五五歩と指掛けても未だ早いので五筋より何れ攻める準備に出たものである。溝呂木氏の六四歩は五二金と上る方が順であらうが飛車の橫利きを消すし、五三銀の進退を十分にする爲めに、後手を引くがかく指したのである。

營口鹽稅稽核處を斷然 奉天省政府に回收す
滯り勝ちな外債擔保の義務履行 省民鹽飢饉から救はれん

奉天省政府では過般來英人の管轄にある營口鹽稅稽核處が南京政府の命により鹽の供給を斷ち東北四省民衆を鹽饑饉の苦境に陷れんとせるに憤りて今回斷然これを奉天省政府の手に回收するに決した、因に該稽核處は事變直後日本軍の手によつて管理されてゐたが秩序回復と共に張鹽運使との圓滿なる折衝の下に支那側に引渡したのであつた、然るに最近に至り鹽の送附を中止したので奉天、吉林兩政府當局は民衆に日常必要品供給の途杜絶せるを慮り後拂ひの前例なるを代金前拂ひを以てこれが急送方を要求すること再三なるに拘らず頑としてこれに應ぜざるため已むなくこの擧に出でたので、之により省政府はたゞに三千萬民衆の生活の安固を圖ると共に張學良政權當時兎角滯り勝ちであつた外債擔保に關する義務を完全に履行し内外に善政の實を示すと【奉天電話】

大連港輸出の 特產物增加
滿洲重要物產組合の 十一月中に於る調査

滿洲重要物產組合調査による十一月中の大連港輸出特產物中大豆は十二萬三千五百八十四瓲、豆粕は四萬四千二十五瓲、豆油は九千九百十四瓲、高粱は五千二百二十八瓲で、前年十月の

輸出高 に比し大豆は四萬九千五百五十二瓲の增加を示し豆粕は一萬六千二百三瓲、豆油は六千七十瓲、高粱は五百五十八瓲とそれぞれ增加を示してゐる、大豆の增加は主として歐洲向けであるがこは滿洲事變直後の銀價の奔騰、磅爲替の激落等で買氣杜絶してゐたのが十一月に至つて反動的に取極めをみた結果であらう、殊に前年は銀價の暴落に奧地方面の金融の梗塞、遼寧省政府の東三省聯運事務所の設置による特產買占め等に起因して異例的に少かつたものである、豆粕は日本向の需要增加によるものであるが更に歐洲向にも相當の數量を輸出してゐる豆油は殆ど

倍增の 有樣であるが、これは大連油房の產業助成金交付による豆粕の生產が激增したゝめ必然的に豆油の生產高を增し相場も勢ひ瓦落したので歐洲方面に相當數量を輸出してゐる、高粱は日本向において激減したるも本年春以來三井によつて試みられた歐洲への引合が成功しつゝあり當月も二千六百瓲の輸出をみた結果である、今各仕向地別に前年十月の輸出數量と比較せば左の如し(單位瓲)

大豆

	本年十一月	前年十一月
日本	一九、四四〇	一九、三六三
歐洲	九六、〇六六	三四、〇四五
米國	四八	八
南洋	九、一六七	六、〇六七
中國	三六、八六五	一三、五一九
朝鮮	—	—
合計	一二三、五八四	七四、〇三二

豆粕

	本年十一月	前年十一月
日本	三四、四三五	一七、一七〇
歐洲	八、四八一	六四〇
米國	一、五三〇	二、四三一
南洋	六三	三四
中國	九、四九一	七、〇三一
朝鮮	一六	—
合計	四四、〇二五	二七、八二二

高粱

	本年十一月	前年十一月
日本	一、九三〇	三、七九一
歐洲	二、六二〇	—
米國	—	—
南洋	—	—
中國	六六	八七
朝鮮	四	二
合計	五、二二八	四、六七〇

豆油

	本年十一月	前年十一月
日本	—	九
歐洲	四、九六九	二、二三六
米國	—	三四
南洋	四、九四五	一、五五五
中國	—	—
朝鮮	—	—
合計	九、九一四	三、八四四

東行俄かに 增加の傾向

滿洲事變のため北滿特產新穀の出廻りは奧地における兵匪の被害のため一時相當打擊を蒙つたが最近やゝ安定し一日平均八千噸見當の輸送が行はれてゐる、十月一日から十一月末日に至る北滿貨物の輸送數量を示せば左の通り

		比率
南行	二三九、五四六	四八、三七
東行	二五五、六六一	五一、六三
合計	四九五、二〇七	

尚十一月末から十二月初めに至つて浦鹽埠頭に於ける荷役は貨銀の改正、露人勞働力の增加等やゝ改善を加へたので東行が俄に增加の傾向にある

錢信の配當 一割維持

錢鈔信託株式會社の今期出來高及び手數料は既報の如く、手數料において前期及び前々期に比べ二、三萬圓減少してゐるが、今期は一般經費が減じたるのみならず、費も今や大分低下されてきたので純益の減少は前期に比べ比較的に小額ですんだ、そこで五日の重役會議において配當率は一割維持を申合せた模樣で、古澤專務は關東

ボンド下落
外國筋の資金 引揚げから

【ロンドン六日發】英藏相ネヴイル・チエンバーレン氏は昨夜ニユーポートに於いて財政問題に就き演說しボンド貨低落問題に就き左の如く述べた

最近のボンド下落は外國筋の不安に依る資金引揚げに依るものである然し之が永引くとは思はぬ賠償問題が圓滿に解決すれば全世界の神經過敏は除去されやう

…に對しこれが諒解を求むべく七日社旋した、然るに取引人に對する獎勵金は手數料が減じたので相當減額することになつてゐるのは確定的だと推定されてゐる

日銀主催の 財界懇談會

【東京七日發】日銀主催財界懇談會は今朝十一時より日銀で開會土方、深井正副總裁以下各理事、各特銀、東西市中銀行代表者出席、土方日銀總裁より最近の金融狀勢年末の金融見込等につき所感を述べ次で右問題につき意見交換二時散會した

大汽臨時總會

既報の如く大連汽船會社では七日午前十一時より同社に於て臨時總會を開催、取締役千秋寛氏、監查役小川逸郎氏辭任による補缺選擧を行つたが、取締役に築島信司氏監查役に谷川善郎氏が選擧された

錢信株主總會

錢鈔信託株式會社では二十三日定時株主總會を開いて昭和六年度下半期の決算を附議する筈

滿洲事變と東拓株

東拓株は米價の慘落、收納米の處分案じ等により業績を悲觀され昨年來暴落して創業以來の新安値を示現したが滿洲事變により滿蒙に於ける商租權の確立可能となつたので漸次昂騰を續け五日には舊株十五圓二十錢、新株五圓四十錢となり尚强含みである、東拓會社は商租權の確立により約一千萬圓の固定貸が完全に生きて來るほか中東、開林、北滿電氣等の諸投資事業が有利に局面を展開し內容は急激に好轉するものと見られてゐる

改訂か破棄か 獨賠償金の將來
シヤハト博士の主張

ドイツ聯邦の樞軸をなすプロシヤ州議會はこのほど次の如き決議案を可決した即ち

ヤング賠償案の改訂、更らに進んでは賠償金支拂廢止を實現する爲め聯邦政府は即時必要なる措置を講ずべし

◇

ドイツは大戰終了以來、外國から無理な債金を重ねながら出來るだけ賠償金を支拂つて來た、既に支拂つた總額は內輪に見積つても三百七十億マルクに上る、一部では之を以て大戰の損害は賠償濟だと主張してゐる、然しヤング案によるとドイツはなほ一九八八年迄今後五十七年間に約一千億マルク(五百億圓)の賠償金を拂はなければならない事になつてゐる、親、子、孫、三代に亘つて負ふべき重荷である、ドイツに之れを拂ふ力があるか勿論ない、失業者は五百萬にも上り、國民は重稅に喘ぎ、國立銀行の金準備は枯渇に瀕してゐる、明年二月には五十億マルクの短期債務が滿期となり、未だに適當なる對策がない、期限延期の協定が不調となれば金融恐慌再發は火を睹るよりも明かである、只幾分人意を强くするに足るものは外國貿易の趨勢である、本年一月以來既に二十三億六千萬マルク餘の輸出超過となつてゐる、然しこれとても極度の輸入制限と、他面に於て所謂「空腹輸出」をしてゐる結果なのである、然るに過般のイギリス金本位停止以來、北歐諸國は相次いでこれにならつた。これ等諸國の爲替崩落はそれだけ關稅を引上げたと同樣の結果となるのみならず、フランス及びオランダは輸入制限令を布き、イギリスも過當輸入防止の爲め關稅引上げをやつてゐる。

◇

唯一の賴みとする輸出にして前途誠に寒心すべきものありとすれば、ドイツとしては賠償協定の改訂或はそれの破棄より外に生きる途がないのではあるまいか、この賠償廢止の問題に關して前ライヒスバンク總裁にしてヤング協定起草者の一人であつたシヤハト博士はその近著「賠償の終結」の內に於て痛烈な論陣を張つてゐる、暫く氏の說く所を聞かう。

ヤング案は根本に於て次の點を認めてゐる

一、ドイツの支拂能力はドイツ將來のポテンシアリチーに依存するものである

二、ドイツの賠償金支拂の可能性はドイツの輸出の增加に俟たねばならぬ

三、國際決濟銀行はドイツを援助する爲めに世界貿易擴張の方策を講じなければならぬ

四、賠償問題の解決は協定參加各國の協力を必要とする

五、故に參加各國は協力してドイツの債務履行を可能ならしむるやうな方法を立てゝやらねばならぬ

これ等の原則が適用されない限りドイツは年二十億マルクの賠償金支拂ひが出來ないのは明白なる事實である。

◇

成程賠償金には支拂ひを延期し得る部分もある、然し延期し得ない無條件賠償の支拂ひに就ても上記の根本的原則が實行される事が必要である、故にわれわれは極力舊聯合國に對しこれ等先決條件の履行を要求しなければならぬ。而してこれ等が履行される迄賠償金の支拂ひを中止するのがドイツの義務である。若しドイツがこの手段を採らず外國よりの借金によつて賠償支拂を繼續するならば、ドイツ經濟界の基礎は更らに弱められ、結局ヤング案履行の可能性は益々乏しくなるのである。ヤング案の履行はドイツと債權國の双互的義務だ。勿論ドイツはその政府豫算の均衡を圖り、國民及び一般經濟界の利益を害せざる程度に於て極力輸入の制限に努めるべきだ。然し他方債權國も出來るだけドイツの輸出を增加せしむることに努め、ドイツの國際收支を改善し、以てドイツの支拂能力を增加せしむべき責任を負ふものである。然るにヤング案が實施されて以來、舊聯合國は毫もこの義務履行をなしやうとしない。又國際決濟銀行も今迄のところ、會計事務局の役割を演ずるのみで外に何等爲す所がない。債權國はドイツの爲めに世界貿易を振興せしめやうともせず、又ドイツの製品を買ふ事をも欲しない樣である。事態斯の如くとすればドイツに殘された途は一つあるのみ、即ち賠償支拂の廢止である。

◇

惟ふにヴエルサイユ條約と賠償協定とは全世界を道德的に又經濟的に一大混沌狀態に陷入れた。これを脫出する途は二つある。一は道義心の復活――これにはヴエルサイユ條約の非道德性が再吟味され、大戰の責任がドイツのみにあると云ふ非難が正式に撤回され、相互の信賴が回復されなければならぬ。第二は經濟的見地よりする途である。北極にバナナを栽培する事が困難なる如く、拂へないものより金を搾り取ることは不可能である。賠償金を拂へるだけの金をドイツをして儲けしめよ、それにはドイツのヨーロッパ市場進出を許せ、ドイツに植民地を返還して原料品自給を可能ならしめよ、廣く世界の新市場開拓を援けよ。これが爲めには舊聯合國の爲政者は舊聯合國をして彼等がヤング案に負ふ義務を履行する樣督促すべきである。而して彼等が履行しないならば賠償支拂を停止すべきである。

日貨封印は 自繩自縛の沙汰
上海時事新報の論調

【上海六日發】日貨封印に對する上海支那商の怨嗟益々甚だしく露骨に對日經濟絶交の緩和を要求する聲が昂まりつゝあるが上海支那紙時事新報は次の如く論じてゐる

經濟絶交に因り支那商側の打擊甚大なることを裏書する事實は非常に多い、經濟絶交に依つて暴日を制するのは何人も異論なき所なるも日貨封印は自繩自縛に外ならない、今日上海で封印されてゐる日貨は五千萬元を下らないであらうが而も皆支那人の所有日貨であつて日本人は關係の無いものである、よろしく現有の日貨に限り之を海外に賣捌くか又は嚴格に處理して以て金融を緩和すべし

輸出に反して 輸入振はず
十一月中における 旅大兩港の貿易額

十一月中旅大兩港貿易額輸出一千四百五十萬四千百廿圓、輸入七百四十八萬八千七百四圓合計總額二千百九十九萬二千八百廿四圓にてこれを前年同月に比ぶれば輸出約二百十六萬六千圓の增加を見たるも、輸入は事變の影響にて振はず約三百九十六萬四千圓の減退を來たせる結果、貿易總額にて百七十九萬八千餘圓の減少を見るにいたつた

下半期の 五品成績

大連五品取引所の本年度下半期の營業成績をみるに手數料收入は商品部五千五百八圓、株式部一萬一千四百五十六圓、計一萬六千九百六十四圓で之れを前期の手數料收入一萬八千五十九圓に比較すれば一千餘圓の減入であるが各取引物件別に出來高及手數料收入を示せば左の如し

△株式部

種別	出來高(枚)	手數料(圓)
定期	四三、四四〇	二、八三三
現物	三三、〇八〇	三、〇〇六
延取引	六四、五五〇	六、六六七
計	一四九、〇四〇	一一、四五六

△商品部

種別	出來高	手數料
綿糸	一〇、五四五梱	四、四四九
同(銀建)	六〇〇梱	二六
綿布	七〇〇俵	一三〇
麻袋	一九九千枚	八三

奉天手形交換 不渡なく順調

奉天組合銀行十一月中の手形交換高は二千二百八十五枚、金額百六十二萬五千七百九十九圓八十錢にして前月に比し三萬九千九百十一圓九十一錢の減少、また前年同期に比すれば二千七百五十七圓八十錢の增加を示してゐるが不渡は一枚もなく頗る順調である

中國銀行發行高

十一月末における上海中國銀行の發行準備檢查委員檢查の結果は左の如し(單位元)

▲兌換券發行總額	一二七、七九九、九三五
內本行發行額	六六、一五九、〇五三
聯行領用額	三一、四四一、〇七六
各行莊領用額	三〇、〇九八、八〇四
▲本聯行兌換券準備額	九七、七〇三、一〇四
內現金準備	五八、七三四、八二一
保證準備	三八、九六八、二八三

黄塵

◇…內地では又候金利引上げの氣運が濃厚となつて來た、歳末金融界は更に世智辛さを加へる譯だ。

◇…各種事業會社は生產過剩と國內購買力の減退に加へて輸出不振のため製品を抱いて苦惱してゐる處へ金融逼迫が益々甚だしくなつては當面の切拔けが問題である。

◇…尤も日銀は興業銀行其他を通じて金融の途を拓き歳末を切拔け得られるやうな方途を講ずることにはなつてゐる。

◇…若しこの方策が効を奏したら年末だけは兎も角切り拔けられるかも知れないがそれを以て危機去れりと安心する譯には行くまい。

◇…世界的金の偏在と金本位制の行詰り、國內的資金の偏在――こうした不況の根本的事情が何とか矯正されない限り財界の前途は樂觀されないであらう。

市場電報

銀塊及爲替

倫敦銀塊	一九片八分五
同 先物	一九片十六分十三
紐育銀塊	二九仙〇分〇
孟買銀塊	六二留比四分三
スチール	四五弗〇分〇
アナコンダ	一三弗二分一
英米爲替	三弗三九仙四分三
米日爲替	四九弗六七仙
米支爲替	二三弗〇分〇

棉花

●米棉

現物	六仙一五
十二月	五仙九九
一月	六仙〇〇
三月	六仙二三
五月	六仙四一
七月	六仙五七
十月	六仙八〇

●印棉

ベンゴール	一四四留比
ブローチ	一九八留比

大阪期米 / 東京期米 / 神戸期米 / 大阪株式 / 東京株式 / 大阪綿糸 / 大阪棉花 / 横濱生糸 / 印度麻袋

[illegible]

市況(七日)

特產 豆油昂騰 買氣ありて

今朝の定期は差したる材料はないが大豆は强調を辿り豆粕は睨り豆油は買氣ありて昂騰を示し高粱は區々保合を入れた

◇定期前場(銀建)

▲大豆(强調)單位厘 [illegible]

▲普通大豆出來不申 出來高 二百二十七車

▲豆粕(睨り)單位厘 [illegible] 出來高 五萬枚

▲豆油(昂騰)單位錢 [illegible]

▲高粱(區々保合)單位厘 [illegible] 出來高 二萬一千五百箱

▲包米 出來不申 出來高 二十車

◇現物前場(銀建)

	寄付	大引
混保(袋込) 大豆(裸物)	四九九〇	五〇二〇
出來高	二百車	
普通(袋物) 大豆(裸物)	四九五〇	四九五〇
出來高	五車	
豆粕	一七四〇	一七五五
出來高	二萬八千枚	
豆油	一二四〇	一二五五
出來高	四千箱	
高粱	二八〇〇	二八〇〇
出來高	五車	
包米(次物)	三〇八〇	三〇八〇
出來高	三車	

定期喰合高(五日)

		前日對比
大豆	三八一五車	△二一車
高粱	一〇〇一車	一五車
豆粕	四二二二千枚	五千枚
豆油	四六二〇百箱	△一五百箱

錢鈔 材料高なれど 當市伸力なし

今朝海外銀塊は倫敦近物十九片八分の五(十六分の三高)、同先物十九片十六分の十三(十六分の三高)、紐育二十九仙丁度(四分の一高)、孟買六十一留比四分の三(四分の三高)と睨りを入れたるも當市は伸力なく軟弱を報じたる…

豆

休日明けの今朝差したる新味もないが一般に睨り商狀を辿り▲殊に豆油は仕手關係で昂騰を呈し取引も多量であつた▲現物大豆は油房百六十五車、華商三十五車で二百車の手合をみたが永衡の賣物が三十車あつた▲普通大豆は五車で富發台の賣に東記の買物▲今日の豆粕生產高は十萬五千枚、操業工場三十四軒である▲銀價の奔騰や磅爲替の激落で滿洲特產物の取引不振を傳へるも十一月の輸出は前年より多い

◇現物前場(單位錢) 出來高(期近三百萬圓 遠期二百六十八萬圓)

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	四六〇	一〇八〇	二二四五
十時	—	一〇八五	—

銀

休日明けの今朝、銀塊睨り標金引緩みさして銀高材料揃つたが▲當市は時局安定見越などのため弱氣多く大で▲甚だしく伸力を缺ぎ賣られ氣味にて保合つたが商內は相當出來た▲奉天では五日から鈔票の取引を開始したが▲五日の出來高は前場二萬一千圓、後場六千圓といふ▲初立會としては眞に心細い商內だ▲元來實需のないところだから將來も大した期待はかけられまいと思ふ

株

北濱の前場は鐘紡の外他株は保合であつたが東新は百廿二圓臺から十八九圓臺に急反落を入れ▲當市の東新も三圓六七十錢安と暴落したが他株は閑散裡の保合であつた▲政變見越しから買はれた東新だけに協力內閣の行惱みを眺めて失望したものと思はれる▲强氣は政變を買ひ金の再禁止を買ひ日支問題解決後の理想を買つてゐるが環境を無視してゐるところに無氣味な氣配が漂つてゐる

糸

土曜日の米棉情報は市況鈍狀無材料で當業者は見送りの態度を執つてゐると入報あり現物先物共全然釘付を示し▲大阪三品は寄鼻ボンヤリ乍ら引は小睨りで前日引値と各限共殆んど變らず當市も氣乘薄閑散であつた▲三品は實勢不振の壓迫で期近から崩落し當限は原價を割込むだが未だ底入れ濟みの商狀とはみられない▲米棉もクリスマス前後までの間に今一度豐作相場が出さぬとも云へず從つて綿糸も原棉安から來る下値を殘してゐるのではないかと考へられる

株式

十一時	四六〇	一〇八五
十二時	四六五	一〇八五

出來高(銀對金 十萬四千圓 銀對洋 四萬一千圓)

前場

◇定期

銘柄	當限	先限
新豆 寄	[illegible]	[illegible]
新豆 引	[illegible]	[illegible]
錢鈔 寄	[illegible]	[illegible]
錢鈔 引	[illegible]	[illegible]
五品 寄	八八	八四
五品 引	八五	八七

◇延取引(單位十錢)

銘柄	寄値	高値	安値	大引
五品	六三	六三	六三	六三
豆	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新鈔	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東新	二九〇	二九〇	[illegible]	[illegible]
鐘新	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲爲替及受渡日歩 [illegible]

後場(軟弱)

◇定期 [illegible]

滿鐵株(保合)

東短前場 滿鐵新株 二十三圓三十錢 / 大阪現物 / 滿鐵舊株 出來不申

東新株暴落 五品保合

北濱定期の寄は大株十錢安鐘紡二圓六十錢安新東は三圓安を入れ當市も寄二圓七十錢安と暴落したが五品は保合であつた

商品

定期	一一二〇枚
延取引	一二〇一枚
合計	二三二一枚
早受渡手形	[illegible]
金額	[illegible]

麻袋變らず 綿糸も閑散

麻袋 產地情報は寄合爲替二留比二分の一高なるも延取引は安値待ちにて見送つた

上海爲替情報

【上海七日發】銀塊高、アメリカ株の小戾し、支那國內時局の不安など標金安寄り後、元茂永、泰康潤、吳培初などの賣りに安がりしも安値一部利喰、恒餘、物品筋の買戾しあり漸騰勢三月三十二、八分の三から八分の一まで三井、正金買に弱くなる、英米クロスの綱落なき見込み、日本政變懸念も薄らぎ標金突込み賣り警戒、引前盂買八高を入れて下押す

綿糸 米棉保合印棉五八留比高、大阪三品は期近六十八錢安先限保合に寄付きアト當限一圓四十錢高中限九十錢乃至一圓四十錢高先限二三十錢高と引締つたが當市は氣乘薄く見送つた

上海標金

寄値	六九三兩〇
高値	六九八兩〇
安値	六八七兩〇
止値	六九四兩〇

手形交換高(七日)

金	三〇〇枚	一九三、八六五圓
銀	四三枚	一六六、三四〇圓

爲替相場

正金(銀勘定) 日本向參着賣(銀百圓)八〇圓五〇 同十五日買(同)八四圓五〇 上海向參着賣(銀百圓)七〇兩五〇

正金(金勘定) 倫敦向電信賣(一圓)二志十一片十六分八 米國向電信賣(百圓)四九弗五分一

鮮金(金勘定) 倫敦向電信賣(一圓)二志十一片分三 紐育向電信賣(金百圓)四九弗五分一 上海向電信買(同)一四一兩〇〇 同 賣(銀百圓)八四圓〇〇 日本向電信賣(同)八五圓〇〇 同十五日拂賣(同)八四圓五〇

奧地市況

錢鈔

奉天(奉票)	現物	三三七〇
奉天 大洋票	先物	[illegible]
開原	現物 當限 先限	[illegible]
安東 鎭平銀	當限 先限	[illegible]
哈爾濱(大洋)	現物	[illegible]

特產 ▲大豆 [illegible]

各地特產發送高

▲開原 大豆 四〇車 高粱 一車 豆粕 八車 雜穀 八車

▲四平街 大豆 四車 高粱 一車 豆粕 一四車 雜穀 八車

▲公主嶺 大豆 五車 高粱 一車 豆粕 二車 雜穀 二車

▲長春 大豆 一八二車 高粱 二一車 豆粕 八車 雜穀 二車

大連埠頭到着高

大豆	四一〇車
高粱	一四車
豆粕	一四車
雜穀	七三車

埠頭在高貨物

11月27日 (單位瓲)

品目	本年ノ本日	昨年ノ本日
大豆 混保	188.947.7	54.090.7
大豆 非混保		
大豆 白眉豆	9.103.3	4.069.4
大豆 青豆	3.874.1	2.064.6
大豆 合計	201.925.1	60.224.7
小豆	3.052.3	4.784.9
吉豆	727.7	1.256.0
高粱	21.221.0	4.589.9
包米	3.388.0	1.123.8
大米	2.130.7	89.7
小米	286.7	423.7
麥子		4.4
蕎麥	690.6	103.6
芝麻	348.1	6.5
大麻子	120.8	46.0
小麻子	1.122.7	346.4
蘇子	692.1	322.0
落花生	3.033.0	1.435.9
雜穀	546.4	552.3
豆粕	58.853.6	19.334.1
雜粕	734.7	561.9
獸骨	25.8	331.0
豆油	756.3	1.076.1
其他ノ油類		
麥粉	2.888.7	2.388.8
燒酎	5.9	
セメント	846.1	2.431.4
麩子	326.1	645.6

滿洲日報

第五項、宣言修正要求聯盟はまだ容認せず

英セシル卿の對案に對し日本は承認せぬ意嚮

【東京六日發】外務省は六日パリ代表部より理事會との折衝經過報告並に請訓を接受したが、右によると理事會は伊藤述史氏が我修正點に關し詳細説明諒解を得た模樣である、然し決議第五項の新字句削除要求、並に議長宣言修正は未だ容認されるに至らない、右に對する理事會の意向は

一、第五項中の新字句は之を削除する代り日本の要求を尊重し書換へる事

二、匪賊討伐權は諒解し得るも、聯盟の性質上武力行爲を認める譯に行かぬ

といふのであつて、之に關しセシル卿が初めて對案を提出した、所謂セシル案は未だ内容は判明しないが、日本は該二點に關しては四日訓令を以て最後的としてゐるので、セシル對案承認の可能性は少いものと觀られてゐる。何れにしても我修正に關する折衝には時日を要するものゝ如くこの間支那側も態度を變じ決議案受諾に難色を示して來た模樣である

妥協の餘地全く無し

我外務首腦部の主張强硬

【東京六日發】理事會決議案議長宣言案の起草は目下起草委員長セシル氏と伊藤氏との間に折衝中なるが五日セシル氏は

一、日本の保留條項は公開理事會で芳澤代表より宣明せしむ

二、調査委員の權限は或程度迄枉げて承認されたい

と重ねて主張したので六日訓電して來たつた、之がため幣原外相は七日外務首腦部會議を開き協議するが政府としては

一、保留條項は決議案と同樣の效力を有するものなれば代表の聲明では不充分なるため飽迄議長に宣言せしむ

二、支那調査委員は支那の國情調査を使命とするもので九月三十日の決議履行に關し日本を監視又は掣肘する權限を附與するは事實上日本に期限附撤兵を强要 中立國の效果的介在を承認するものなり、よつて日本は右の如き權限附與の字句挿入される事に反對す

の既定方針を變へず妥協餘地なき旨回訓する

わが回訓決定と外務當局の意嚮

【東京七日發】芳澤代表の報告に基き軍部、外務省の首腦部が協議の結果七月中に回訓するに決した外務當局の意向左の如し

一、匪賊討伐權に關しては議長の宣言となさず芳澤代表の留保聲明とするも差支へなし、但し支那側には絶對留保をなさしめざる事

一、第五項の新字句左の如く訂正

理事會は調査委員會が支那に到着後九月三十日の決議が實行されつゝありや否やの事態に關し理事會に報告する事を命じ得べし 即ち調査委員會が理事會に勸告をなし得る權限を極限すると共に理事會自ら必要に應じ調査委員會に報告を提出する樣命ずる事を得と訂正す

以上二點のうち第二點は伊藤參事官の私案として提出されたものを承認したものである

支那留學生强硬要求

【パリ五日發】支那留學生は本日施肇基代表を訪ひ

一、日本軍の撤兵期の明示

二、調査委員は日本軍の撤兵を監視し支那が日本より得べき賠償金額を定めること

三、錦州中立地帶設置を拒絶すること

四、日支紛爭に對し聯盟規約十一條に依らず、十條と十六條の適用を要求す

五、聯盟にして支那に滿足を與へざる時は支那は理事會出席を拒絶し必要な時は聯盟を脱退すべし

この五ケ條に亘る對日强硬要求を提出した

支那一戰を辭せず

施代表に打電

南京來電によれば南京政府は錦州中立地帶設置に反對の旨國際聯盟の施代表に打電し、又國際聯盟が日本の攻擊を中止し得ざる場合には支那は一戰を交へる止むなきに

北平の形勢險惡（上）は排日ビラを一ぱい貼つた順承府（下）は北平公使館區域の警備

依然、滿洲の治安を脅威すれば斷乎處置

一應錦州軍の撤兵を要求の上　參謀本部の肚決まる

【東京七日發】參謀本部では七日午前十時より滿洲視察より歸京せる二宮次長を加へ金谷參謀總長以下首腦部出席の上二宮次長の報告を聽取したるのち錦州方面の對策につき重要協議をなした結果參謀本部としては錦州軍の撤兵を要求し萬一これに應ぜず依然現狀を續け滿洲の治安を脅威するに於ては自衛上斷乎たる處置に出づる事に一決した 而して錦州攻擊斷行さるれば内地より增兵を要し姫路の第十師團が候補に押されてゐるが軍制改革案の結果八年度より滿洲に移駐さるべき第十四師團の一部を先發せしめてはとの說もあり今日のところ未定である

反張派の暗躍學生の示威に無氣味な北平の空氣

五日北平にて　加藤保敏特派員發

北平海軍府の爆彈事件に端を發し北平における形勢險惡とみた記者（加藤特派員）は山口特派員と共に、三日北平へ飛ぶ北平の形勢は表面穩かのやうだが内部には幾多の危險を孕み反張派の策動學生連のデモンストレーション、學良腹心部下の裏切り等、幾多の問題が伏在してゐる、殊に爆彈事件に對してわが海軍側の主張極めて强く學良はさりつく島もない始末で、一部消息通の說による餘命幾何もないとさ、記者等は五日親歸津すべくステーションに馳せつけたところ既に列車は鐵道大學をはじめ輔仁、滙文、燕京各大學の學生等のため占領され、學生團はレールの上に夜を明して列車を南京まで運行さすべく示威運動を起してゐた、從つて天津行乘客は全く足を失つた形で驛に集まり善後策を講じたが、軍隊の力でもない限り解散は不可能とみられる、幸ひ余等は自動車にて永定門に走らせ折柄學良と密議を了し歸津する王樹常のための特別列車に便乘し危うく北平臟腑から遁れることが出來た目下の處中國交通機關は全く學生に占領された形である

錦州政府が操縱の馬匪賊が益々增加

漸次滿鐵沿線方面に進み來る　二宮參謀次長視察談

【東京七日發】二宮參謀次長は中央部の重要使命を帶びて去月十七日滿洲に派遣され今後の滿洲對策について關東軍司令部の意向を聽取すると共に中央部の方針を示し更に各地の軍情を視察し七日午前八時半東京驛着の列車で渡歐來課長、長谷川副官を帶同して歸京した、同驛ホテルで小憩後直に參謀本部に到り金谷參謀總長ほか首腦部に報告したが途中車中にて左の如く語つた

吉林を除いて北はチチハルから南は新民に至るまでに我軍の出動してゐる地方は全部視察すると共に本庄軍司令官から種々腹藏ない意見を聽取して來た、各幕僚の意見はなかなか强硬ではある、政府方面に滿洲對策委員會を設けるといふ事は自分が奉天を出發した後に起つたものだが斯る機關を設ける事は外國に疑惑を持たせる、田中内閣當時の東方會議の二の舞の如き結果になりはせぬか、殊に今更年寄連中を集めて見たつて仕方がないではないか、これに對し留守中陸軍中央部の方針がどう決まつたか知らないが關東軍の今後の滿洲對策を如何にしたいかの考へが種々多い譯である、自分も意見があるが話す譯に行かない、錦州方面の事態も最近は馬賊土匪等殆んど錦州政府が操縱してゐるもののみで然も完全に武裝した者が多くその數も次第に增加して二萬五千位あらう、これが漸次滿鐵沿線方面に進みつゝあるのは確實で錦州には奉天軍も三萬はゐる、内地から續々送つて來るところの種々の

慰問品は軍は心から感謝してゐるが然し一人に御守が三十枚、齒刷子手拭が十本と云ふので殊に御守の如きには困つてゐる、慰問品は金で送つて軍で必要な品物を買求めるが最もいゝ都合である

【圖】別働隊　義勇軍　純馬賊

學生廿八名を逮捕

【南京六日發】北平の學生請願團は外交部に殺到し、なほ我領事館を襲はんとしたが南京衞戍司令は武力彈壓に出で六時半主謀者二十八名を逮捕した

天津市黨部義勇軍編成

【天津六日發】天津市黨部は益々義勇軍の編成を急ぎ日本帝國主義打倒國恥の永久打破を目的として目下地下的運動を行つてゐる、日貨排斥に關しては市政府より止められてゐるに拘はらず倍舊の力で從前通り邁進するといつてゐる

錦州政府が各縣代表を威嚇

錦州政府は十一月末奉天省各縣代表者を錦州に招致し種々對日策を打合せた外各種の稅金は錦州政府に直送すべしと命令した、なほ奉天よりの一指揮員に對し若し命に從はざれば殺害すると威嚇した【奉天電話】

起草委員會日支の回訓聽取

【パリ五日發】理事會決議案起草委員會は明日日曜日にも拘らず支那代表施肇基氏を招き南京政府の回訓を聽取しそれより日本代表の出席を求める事となつた

學良の操縱する不逞團

張學良は各地の擾亂を圖り盛んに別働隊、憲兵、巡警を基幹とし馬賊を糾合して組織せる義勇軍並に純馬賊を操縱してゐる、その配置は圖表に示す如くである、因に別働隊の勢力は約一九、〇〇〇にして更に義勇軍六大隊（約五千）を組織中、純馬賊數は遼寧全省に於て五、六千ある見込

河北驛を警戒

例年の如く遼河は數日來流氷の爲め交通杜絶されんとしてゐるので營口對岸河北驛警備の我兵十五名は三日を以て營口に引揚げたが四日營口水源池のある田庄臺の西方に東北軍の麾下にある正規兵來襲するの報あり獨立第三守備隊は同日執直に一個中隊を派し危險なる遼河の流氷を冒して渡河河北驛に至り警備の任に就いた【營口電話】

菅原東拓總裁近く滿洲視察

【東京特電五日發】東拓總裁菅原通敬氏は今秋滿洲に於ける拓殖事業の視察をなす豫定のところ時局の爲め延期し今日に至つたが大體將來の見極めもついたので來春早々德川秘書同伴大連を振出に滿鐵沿線を視察旅行するはずである

結束第一主義で難局を押切る

近く與黨が申合はす

【東京六日發】安達內相依然自重論を持してゐるので內相をめぐる協力內閣派も暫く表面的活動を避け和戰兩樣の準備で時局を靜觀する事となつた、又增稅問題も九百萬圓程度の增稅緩和で折合ひ政府も七日の閣議で豫算編成を終り議會對策にとりかゝる事となつたなほ近く幹部會を開き結束第一主義で難關に臨む申合せをなす事となつた

派遣軍補充部隊

來る十二日仙臺出發

【仙臺六日發】第二師團では六日午前七時陸軍省軍務局横田少佐を迎へ同九時より緊急會議を開き滿洲へ第二次補充派遣を決定發表した、派遣部隊は〇〇〇名で十二日出發の豫定である

滿蒙協議委員會準備會議は延期

陸軍が都督制立案中のため

【東京六日發】政府は滿洲事變善後措置並に今後の方針確立のため滿鐵、關東軍、關東廳、外務省出先官憲を包含する滿蒙問題協議委員會を設置する事となり、これが準備のため七日川崎翰長外關係省の次官が首相官邸に參集し協議する筈であつたが、陸軍側に滿鐵を中心とする該委員會設置に異論あり、武官を都督とする關東都督を置かんとする意向を有し、目下陸軍省で立案中なので七日の準備委員會は一時延期に決した、軍部と政府との一致迄には餘程相當の時日があらう

銀輸出と販賣の協定締結案發表

國際商議大會に上程

【スポーケーン（ワシントン）五日發】アメリカ國際商業會議所副會長サイラス・ストローン氏は目下當地に開催中の商業會議所西部大會席上銀價昂騰策としてアメリカ銀生產者と印度政府間に輸出並に販賣に關する新協定を締結する案を發表した、氏の語るところによると新協定案は國際商業會議所專門委員會で立案されたもので案は明年三月一日パリで開かれる國際商業會議所大會に上程される筈であるが兩者間に成立さるべき同新協定案に有效な手段が執られる事になるであらうと期待されてゐると

顧氏辭職理由

【上海六日發】外交部長顧維鈞氏の辭職理由は過勞のためとあるが實は學生其他から不人氣で辭職勸告を受け政府との間に板挾みとなり動きがとれなくなつたゝめといはれてゐる

今村司令官等を滿鐵招待

內田、江口滿鐵正副總裁は七日晚練習艦隊司令官今村中將以下幕僚を滿洲館に招宴する

原田秘書首相訪問

【東京六日發】西園寺公の秘書原田男は六日午前十時若槻首相を官邸に訪ひ歲入缺陥補塡の爲め增稅並びに關稅改正に關し會見一時間にして辭去したが午後興津に赴き園公に報告する筈である

社説

護國祈願祭に就て
市民諸氏に深謝

六日我社が主催者となり、大連神社に於いて擧行した護國祈願祭は、寔に豫期通りの盛儀であつた。莊嚴に盛大な祭事と、眞劍にして、しかも熾烈な氣魄のほとばしつた市民運動は、曾て大連にあつては一度も見聞したことがない、と此土地に古くから在住する市民諸氏が一樣に話して居た。いかにもその通りである。昨紙にも報じた通り、當日の祈願祭に參加した市内の各團體は、總數百二十餘の多きを算し、それがあらゆる階級、あらゆる方面を網羅してゐたことに於て、正しく全市民の祈願祭であつた。又或る意味に於て全市民の大示威運動共いふべきものであつた。我社はこの企を發意した當初から、深くこのことを念じ、希くはこの祈願祭が我社一個の催しでなく、全市民の祈願祭であれかしと祈つて居た。果然この切望が達せられてこの未曾有の盛儀を見るに至つた。畢竟市民諸氏の胸奧深く内在してる報國の赤心が、我社の發意によつて流露合體したものである。國家の爲め、取り分け時局が吾人の慶賀措かざるところである。

◇

實のところ我等は、大連市民に對する多少の批評を聞いた。その第一は、時局への關心ぶりが聊か微弱であるといふことである。同じく在滿の日本國民として、奧地在住の同胞に比し、獨り大連市民のみが、その心理に左樣な差別などあるべき筈がないが、併し事變發生地の奉天市民、乃至出動皇軍の勞苦を日常親しく目睹してゐる奧地の同胞に比ぶれば、或はその氣持に多少不緊張な處があつたかも知れない。然るに近來の大連市民は、全部を擧げて、異常に熱烈な關心を時局に持ち出して來た。事變以來、各地の戰鬪に於て名譽の戰死を遂げた勇士の遺骨がつぎ〳〵にこの地を通過し、その都度執り行はるゝ慰靈祭に參列するにつけても、市民の神經は彌が上に刺戟されて來た。また後送さるゝ傷ましい傷病兵諸氏を迎へても、大いに深察の情が溢れて來た。さらに聯盟理事會の推移などに對しても、慨然として奮起した。近來隨處に見聞する時局美談、例へば恤兵獻金の爲めの少女の夕刊賣り、婦人團の街頭進出等、これ等の弱き婦人間にも、時局に對する熾烈な熱情が動き出して來たのを見るそしてこれ等全市民の大きな赤誠が一團となつて、如實に具象されたのが、今度の祈願祭である。これこそは正に蔽ふべからざる大事實で、同時に大連市民の時局に對する大決心、大覺悟のほどを明白に示したものである。

◇

我等は今回の護國祈願祭を以て、その効果を數字的に算定するものではない。さりながら、あの莊嚴な式典に於ける參列者の異常な感激と祈念ぶり、乃至忠靈塔前に於けるあの天地も碎けよとばかり叫んだ萬歲の聲、それ等は幾千里の山河を越えてパリに、ゼネバに、乃至世界の諸都市に波長を送らなかつたであらうか。少くとも滿洲の一角から揚げた市民諸氏のこの大きな響音は、必ずや世界に對して大きな反響を傳へるであらうことを信ずる。

按ふに滿蒙の天地は、今や瞭かに更始一新の氣運が磅礴として居る。その大地は新なる建設への叫びから、颶風に醬いて居る。新なる建設とは何ぞや。多年兇悪なる軍權の壓迫によつてこの黎明の滿蒙民生を指導してその新なる建設の支持者として大任が、一に吾帝國に繫つてゐることを想へば、我等はこゝに更めて深く省察せねばならない。我等は祈願祭の當日、社頭の一角より、前面一帶の地に蝟集して居る潮の如き市民の大衆を望んで、心先づ躍り、退いて社前に額いてこの日のこの盛儀を感謝した。しかもこの盛儀が一つの事故なしに完了せるにおいていかに市民諸氏が肅正にその統制を保たれたかを明示された。吾人は昨日の紙上に於て取敢へず市民に對する挨拶を述べて置いたが、更に改めて本欄に於て謝意を表する。

稅制整理案と增稅案の要綱
きのふ閣議で決定

【東京七日發】今日の閣議で決定せる增稅案要綱並に稅制整理案要綱左の如し

增稅案要綱

一、所得稅の增徵
（一）法人の普通所得稅、生產所得稅につき所得金額百分の一、五を增徵す
（二）第二種所得稅につき所得金額百分の一を增徵す
（三）個人の所得稅につき五千圓を超ゆる所得者に對し稅額の五分を增徵す
（四）同族會社の加產稅につき所得稅法廿一條の二による稅額の五分を增徵す
二、ビール稅に對し一石につき五圓の增徵を行ふ
三、以上は三ケ年間の臨時增徵とす

稅制整理案要綱

一、所得稅
（一）法人所得稅を資本金十萬圓以下の小法人に對しては課稅せぬ事に改正す
（二）法人解散の場合清算分配金にして拂込み資本を超過する部分はこれを受くる個人の所得に綜合課稅する事とし合併の場合もこれに準ず
（三）預金部預金の利子を第二種所得稅とす
（四）特別賞與、記念賞與、退職手當、一時恩給等に對し課稅する事、けだし退職手當及一時恩給は五千圓を超ゆる金額に對してのみ課稅する事
（五）第三種所得の追加決定をなし得る期間を三ケ年に延長する事
二、資本利子稅
（一）資本利子稅の稅率百分の二を百分の四に引き上ぐ
（二）稅法施行地内に居住する者の稅法施行地外に於て支拂を受くる公債社債銀行預金の利子又は貸附信託の利益に對しては課稅す
（三）預金部預金の利子に對し課稅す
三、相續稅
（一）課稅價格百萬圓以上のものに對する稅率を引き上げ整理し最高率の適用を受くる課稅價格を二千萬圓を超ゆる金額とする事
（二）相續財產價格中不動產の價格が八割以上を占むるものに對しては年賦延納の期間を十年以内に延長す
（三）相續開始地が稅法施行地なる時は稅法施行地外にある相續財產に對しても課稅す
四、鑛業稅
（一）鑛山稅の半額を市町村に委讓する事とし昭和八年より實施す
五、酒稅
（一）アルコール中燒酎の原料として白酒、味醂、燒酎の使用を認め味醂の原料として淸酒の使用を禁ずる事
六、取引所稅
（一）取引所外に於て行はるゝ差金取引を取引所稅脫稅行爲と見做し同稅法中に之れが取締り處罰に關する規定を設く
七、ガソリン稅
（一）ガソリン稅を創設しガソリン製造場、保稅區域より引き取る際取引人に對し百ガロンにつき一圓五十錢の稅率を以つて課稅す

『增稅は明かに內閣の政策破綻』
研究會は默過出來ぬ

【東京七日發】貴族院研究會は七日午前政務審査部各部長理事會を開き意見交換の結果
現內閣が前議會に於て國民負擔輕減を標榜し減稅を斷行しながら財界不況の深刻化を餘所に增稅せんとするは明かに政策破綻であり研究會としてはこれを默過するを得ない
との强硬論に意見一致し今後愼重に調査研究するに決したが、增稅案に關しては旣に公正會も絕對反對を表明してゐる事でもあり本案を廻つて貴族院の形勢は頗る注目されて來た

稅制整理案は
けふ行財政審議會に附議す

【東京七日發】七日の定例閣議は午前十時半開會、井上藏相より增稅稅制整理案の修正點につき說明し
與黨側の希望に依り豫に示した增稅案四千萬圓より九百十四萬圓を減じ、增稅額を三千九十三萬圓とした、然して九百十四萬圓の大部分は關稅增收に依るものである
旨を報告し別項の如き案を滿場一致承認その結果政府は八日午前十時より行財政審議會を開き稅制整理案を附議決定し九日の閣議に於て增稅案國債發行額その他來年度歲入豫算案の全部を上程茲に明年度總豫算案の正式決定を見る事となつた

きのふの閣議

【東京七日發】七日の閣議は午前十時より首相官邸に開會、先づ井上藏相より增稅案の說明を爲し次いで南陸相より支那各方面の情報を報告したのち馬占山の公式報告によれば昂々溪における支那側の戰死者六百名、負傷者五百名であると述べ、安保海相より上海學生騷ぎは大した惡化ない旨を報告し九日の閣議には軍縮會議の訓令案を決定する事を申合せ零時三十分散會した

閣議決定事項

【東京七日發】閣議決定事項
一、硫酸アンモニア委員會規定制定の件

宇垣總督離京

【東京六日發】宇垣朝鮮總督は六日午前十時東京驛發七日午前園公を訪ひ名古屋に一泊の後歸任する筈である

明年度の豫算概算
歲出十四億七千九百九十九萬圓
歲入不足一億七千萬圓

【東京七日發】七日の閣議で決定せる明年度歲入歲出豫算概算左の如し（本計算は後日多少の異動は免れず）（單位千圓）

項目	金額
歲出閣議決定額	一、四七九、九〇〇
歲入概算額	一、三〇七、八〇〇
差引歲入不足額	一七二、一〇〇
右補塡內譯	
電話事業公債	一七、五〇〇
震災善後公債	七、七〇〇
失業公債	四一、七五〇
純不足額	一〇五、一五〇
右不足補塡計畫	
增稅	三〇、九三〇
關稅其の他	九、一四〇
公債	六五、〇八〇

「弱腰と思ふなら非難したらよい」
二宮次長、下關で語る

【門司特電六日發】滿蒙問題根本解決策としてわが軍部は滿蒙新獨立國成立前には支那軍閥を制御する必要上、關東軍司令部に**政治部**を設けて外交、行政、產業、交涉、經濟その他の機關を統制し、茲に新國家建設の事業を遂行せしめんとする決意を有し、二宮參謀次長の滿蒙視察となり、本庄關東軍司令官は右決意に對し實際問題に卽せる自己の具體的意見と或る重要獻策を告げ、兩者の間に重大協議が遂げられたので二宮次長は歸途京城にて林朝鮮軍司令官とも會見協議して今朝七時下關着、同九時發急行列車で歸京したが語る

軍隊は 皆元氣だ、軍人でもない滿鐵社員すら敵彈の飛び來る中に飛び込んで働くといふ眞劍さだ、戰爭ではないがこの事變の跡始末こそわが國民の死活問題であるから上下一致眞劍に考へねばならぬ、北滿線から軍隊を引いたのは決して外務大臣から掣肘されたのではない、況んや國際聯盟をやだ、軍は軍の考へを以て引いたのだから必要ありと認むれば獨自の行動をさるよ、何？軍部の腰が弱いてそんなことがあるものか、腰は强いつもりだがしかし軍部の思ふまゝにならぬことがあるよ、軍部が腰が弱いと思ふなら國民は大いに非難して呉れ給へ喜んで受けるよ、昨今支那兵が錦州を中心に盛んに集結してゐるそうだがそれもよからう、一體中立地帶設置說は何處から出たのか、國際聯盟か、

支那か まさか日本ではあるまいね、奉天で一外國武官が中立地帶でノーマン（無人）地帶かと笑つたが全くだ、餘程考へてかゝらぬと馬鹿をみるよ、關東軍司令部に政治部を設ける方針に定めたかと言ふのか、そんな情報は東京か奉天か、何？兩方だつてアハヽ……我輩も多少そんな研究もして意見も持つてゐるが參謀總長に報告した上でないと天機洩らすべからずだ滿蒙新國家が出來たら張景惠を行政長官に馬占山を軍政長官に任ずると言ふ說はあり得ないことではないが、過渡期には豫想外のことも起れば臨機應變の處置も必要だ、將棋をさすとき敵の金をとつて之れを使ふこともあるぢやないか

轉戰實に五十餘日
輝く武勳を樹てて
第三旅團長春に歸る
在住市民總動員で凱旋を祝福

彼の大興、三間房の激戰において優勢なる馬占山軍を擊破した第三旅團步兵第四聯隊は滿洲出動部隊中唯一の勇武果敢なる軍隊なりとの

讃辭を贈 られたが、新鋭部隊と交代してチチハル方面から原駐地に歸還することゝなり六日午後四時二十五分臨時列車にて長春に歸着した、在住邦人は老も若きも總出で小旗に紅提灯を手にして歡迎しプラットホームを埋め萬歲の聲は天地をどよもした、此日時局後援會の手で驛前には「祝凱旋」のアーチを建て、市内各所に「祝凱旋」「祝戰勝」「祝第三旅團第四聯隊凱旋」等のビラが貼りつけられ、各戶に立てられた國旗と祝賀燈は全く凱旋祝勝氣分をそゝらせ、たゞ二時頃から降り出した雨を恨んだ、歡迎市民の旗の波と灯の海にとり圍まれながら驛前から廣場に整列した第四聯隊の主力は驛貴賓室から

聯隊旗を 迎へるや田代領事官民を代表して歡迎の辭を述べ之に對し長谷部旅團長より感謝の挨拶あり午後五時廿分小雨を衝いて長春商業學校のバンドを先頭に軍隊のラッパ隊、馬上姿凛々しい長谷部旅團長、大島大佐、その他幕僚、步兵主力之に續き步武堂々日本橋から吉野町を經て長春神社に到り凱旋を奉告後平安町第四聯隊兵營に到り旅團司令部へ廻り萬歲の歡聲裡に六時十分解散したが事變勃發以來五十日、死線を越ゆること幾度か、戰士は未だ

戰塵にま みれ雪にやけ白く見ゆるは眼と齒のみ、然も士氣は愈々旺盛さすが東北健兒さいはる名に恥ぬものであつた、當日支那側公安局の巡警隊や白系露人等も歡迎の旗を立てて多數參加したことは特に目を引いた、全市を擧げて斯くの如き旗行列、提灯行列の盛大なる歡迎は長春としては未曾有のことで此日の全長春人は戰勝氣分に浸つた【長春電話】

遂に失敗した英・印圓卓會議
印度國民會議派の自治運動

過去二ケ月間、英京ロンドンで開會中だつた第二回英印圓卓會議はまたも失敗に終つたこれが爲め業を煮やしたインド國民會議派ではまたも自治運動を開始せんとしてゐる、同派の兩神ジャワハラル・ネール氏はカルカッタにおける演說において左の如く力說してゐる

我等は……（以下判讀困難）

……たらよいか、卽ちインドの憲法問題や政治問題に就て英印兩國代表を交へての相談會である、今度の圓卓會議は第二回目のもので、第一回目は昨年十一月十二日から本年一月十九日迄開かれた第一回の會議にはガンヂー氏一派の國民會議派は參加しなかつたが第二回の會議には參加してゐる、第一回の會議は九月十四日開會され十一月十四日を以て終了したが委員會で行詰り、本會議開會までには立ち至らなかつた

×

第一回、第二回の圓卓會議とも會議の最大癌腫は、多數民族たる印度教徒と少數民族たる回教徒間の意見の扞格利害の衝突であつた

（註）インドの人口三億二千五百萬人中二億二千萬人迄はインド敎徒で、回敎徒は僅か七千八百萬人に過ぎない

由來、兩敎徒代表とも、インドの完全なる自治を要求する點に於ては一致してゐる、而してインドを將來聯邦組織にする事に就ては第一次圓卓會議に於て旣に意見一致し聯邦構成委員の任命を見た程である、然し新聯邦中央議會の議席の問題となると却々一致しない

×

今回の會議に於ても聯邦構成委員會の方は著るしく進捗し十一月初め旣に新聯邦中央議會制度に關する左の如き報告草案を完成してゐる

一、聯邦中央議會は上院及び下院の二院制度とす
一、上院は定員二百名、下院三百名とす、而して聯邦中各獨立侯國選出議員が新議員に於て占むべき數は、上院議員の四割卽ち八十名、下院三分一卽ち百名とす
一、上院議員は凡て各地方議員が之を選擧し、下院議員は廣汎な地域に亘る大選擧區の下に一定の制限資格により選擧民がその一部を選擧し、其他地主、實業家並に勞働者階級よりも特別の代表を送るものとす

×

然し各種族の議席問題を議する少數民族委員の方は一向進捗しない、これは少數民族たる回教徒がその權益擁護の爲め相當の議席確保を要求して讓らない爲である、衆知の如く、インド三億四千萬の人口は多數の種族に分れてゐる、宗敎、言語、發達の過程等を各異にしてゐる、從つて利害一致せず常に爭つてゐるのである、然しこの議席問題が解決しない限り、圓卓會議は行詰らざるを得ない、斯くて會議は本會議の開會も見ずに十一月十四日を以て閉會することになつたのである、これが鳴物入りとなつてゐたロンドンにおけるインド公佈が最近又復歡迎となつた

滿洲增兵要望
全支居留民大會
わが軍部に感謝慰勞打電

【上海六日發】全支日本居留民大會は午後一時開會、參會者五千餘名午後四時二十分盛會裡に散會、既報聲明決議の外大會の名を以て本庄司令官、香椎司令官、鹽澤第一遣外艦隊司令官、津田第二遣外司令官に感謝慰勞の電報を發する件並に滿洲、山東、南支在鄕軍人代表の名義を以て政府に對し滿洲の憂慮に堪へず速かに增兵を望む旨を打電する決議を可決した

全旅順市民射擊大會

時局柄開催された全旅順市民の射擊大會は六日午前九時から步兵第三十聯隊の射擊場で在鄕軍人分會關東廳體育研究所の共同主催で開始されたが參加者は折柄の雨にも拘らず在鄕軍人、工大生、一中生、靑年警備隊員だけでも三百餘人その他一般市民二百餘人、殊に旅順高女生十數人が伊藤敎諭に引率されて參加し軍人、警察官の婦人等もたまに出場する等の盛況で十的の射擊場から發射さるゝ壯烈なる銃聲は周圍の山々にこだまして壯觀を呈し午後四時半漸く終了したが當日の主なる成績は左の通りであるが、女學生が三十九點關東廳のタイピストが二十七點を擧げたのは特筆に値するであらう

▲第一班（郷軍）四十一點高森篤三十四點山本分三▲第二班（中學、靑訓）三十九點奥山彰城、三十八點原崎正三、三十七點入江利光▲三班（工大）三十九點東義雄▲第四班（靑年警備隊）四十三點吉田順吉▲第五班（一般市民）四十二點鈴木勝維

昌圖附近兵匪の武裝解除

既報―昌圖附近の兵匪討伐に向へるわが守備兵は六日午後兵匪に對し武裝解除中である【奉天電話】

八相

冷血な家主さん
避難一女子

◇妾共母子は最近天津から避難して參つたもので御座います。支那軍の襲擊により租界は非常な危機に陷り婦女子は生命からがら避難したので御座います。

◇妾共母子も當地に避難しまして事變の片附くまで家を借り度いと或家主さんの處へ參りました處が「天津の方ならドウせ二三ケ月でしようから」と斷られたので御座います。次の家主さんは「母子さんだけで保證物もない樣では家賃が不安だから」と云はぬばかりの口吻で斷られました。三度目には「遠方の方だから三人以上の保證人が要ります」と面倒を言はれ體よく斷られました。然し、幸ひにも知人が居てお世話くだされて漸く落着く事を得てホット致したので御座います。

◇避難民などに家を貸したら家賃が取れないと云ふ家主さんの心配は御尤もだと思ひます、然しながら斯る場合に私慾を離れて相互に助け合ふ處に日本人の麗しさと强さとが有るのではありますまいか、若しも、一片の溫かい同情をもつて心よく貸して戴いたならソノ御恩惠に對しても

◇三ケ月の僅かな家賃を寧ろ惜む者があらうか、ましてこの暖かな時にこそ家主さんは一般市民であらうとも、それは言はゞ當然の事ですから平時も戰事もないと言はるゝのは當然ではありませうが餘りにも冷やかな態度だと思ひます。多くの家主さんの中にはコンナ冷酷な人ばかりでは勿論ありますまいが今少しく哀れな避難者達に一片の溫情を注いで戴けないものでございませうか。

◇何等深い知己でもないのに避難者に對し厚い世話をされてゐる篤志家も有ると聽いて居ります、斯うした隱れたる篤志家の光が一部冷やかなる家主さんの爲めにソノ光を失ふことも遺憾では御座いますまいか。

投書歡迎　五十行以內　中傷はさらず

鄕軍同志會代表派遣

大連在鄕軍人同志會ではチチハル方面の戰況を母國同胞に報告し輿論を喚起する爲め代表十一名を派遣することゝなり桂大尉以下七日出帆の定期船で出發する

無煙無臭の煉炭製法
小沼氏が發明

【東京六日發】元撫順炭礦古城子採炭所長小沼得四郎氏は數年前から帝國發明協會研究所で家庭燃料の改善について研究中であつたがこの程漸く無煙無臭の煉炭の製法を發明し首尾良く特許を得たが家庭燃料に大革新を齎すものである

東北電政局長
金璧東氏任命

東北支那電信、電話の最高統制機關たる東北電政管理局長は朱光沐の逃走で缺員のところ吉長吉敦鐵路局長金璧東氏を任命これで東北三省の最高機關は完成した【奉天電話】

大觀小觀

六日、祈願祭當日の大連市中は感激の渦であつた▲老も若きも、男も女もサラリーマンも學生も、官吏も商民も、感激又感激▲參衆五萬の大行列と沿道堵列の民衆に漲り渡つたこの熱情を看よ、實に力强きはわが國民性の發露である▲それにしてもこの事變勃發以來、奉天その他戰火の巷よりきた人々、或は內地の各都市より國民の熱誠を籠めてきた人々の間に▲「大連市民は兎角時局に冷淡だ」といふ非難も屢々聞いたが、大連市民の此の日の熱誠を觀た人は誰れかその赤誠を疑ふ者があらうぞ▲たゞ惜むらくはけふ此の日まで團體的にわれ等の熱情を發揮し具現する機會が乏しかつたのだ▲個々、一人々々を叩けば血汐は迸しる、湯も沸ぎる▲而も大連市民全體の態度として見る時、從來のそれは餘りにも冷靜に、餘りにも熱情に乏しく見られたのではなからうか▲そこでわが社は今度の「護國祈願祭」を機會にその叩き出し役、湯沸かし役を勤めたわけだ▲果して血汐は迸しつた、湯は沸つた▲だがわが社は決してこの血汐を、この熱湯をその儘に放つて置かうといふのではない▲更に之を機會に今後第二次、第三次、第四次の計畫を樹てゝ▲われ等の國家に對する熱誠、皇軍に對する信頼を表現するつもりだ▲この日、途中より生憎の雨、されど大衆の感激はその雨滴さへ沸騰せしめた▲「熱情の解けて時雨や祈願祭」

市況

株式
東新引小戾り 地場株保合

內地東新の引强保合を入れて當市は七八十錢高五品新豆は一二十錢安に引けた

◇後場

◇延取引（單位十錢）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	会	会	会	会
新豆	三	三	三	三
錢鈔	｜	｜	｜	｜
大新	｜	｜	｜	｜
東新	二六	二四	二六	二四
鐘新	｜	｜	｜	｜

特產
新材料なく一般平調

後場の定期は何等特異な材料なく大豆は軟調を呈し豆粕、豆油は保合高粱は添はず軟調裡に大引した

◇定期後場（銀建）

▲大豆（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	四九〇	五〇〇	四九〇	四九〇
一月末	五〇〇	五〇〇	五〇〇	五〇〇
二月末	五一〇	五一〇	五一〇	五一〇
三月末	五二〇	五二〇	五二〇	五二〇
四月末	五三〇	五三〇	五三〇	五三〇

出來高 百二十五車

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
一月限	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇
二月限	一六〇	一六〇	一六〇	一六〇

出來高 三萬七千枚

▲豆油（區々保合）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
一月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
二月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
三月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇
四月限	一三〇	一三〇	一三〇	一三〇

出來高 九千箱

▲高粱（軟調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月末	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
一月末	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
二月末	二〇〇	二〇〇	二〇〇	二〇〇
三月末	二一〇	二一〇	二一〇	二一〇
四月末	二二〇	二二〇	二二〇	二二〇

出來高 二十三車

▲包米 出來不申

◇現物後場（銀建）

品名	寄付	大引
混保大豆（袋入）	五〇〇	五〇〇
大豆（裸物）	｜	｜
普通大豆（袋物）	出來不申	
出來高	五十車	
豆粕	一七四五	一七四〇
出來高	五千枚	
豆油	一二六〇	一二六〇
出來高	一千四百箱	
高粱	出來不申	
包米	出來不申	

商品
綿糸軟弱　麻袋變らず

●綿糸　大阪三品大引は前場寄に比し期近保合乍ら中物五十七十錢安大先一圓九十錢安と軟調を辿り當市はマバラの小手合せをみた

銘柄	約定期	値段	梱數
福助	二月限	九五、〇	三〇
同	四月限	九九、六	四〇

出來高 七十梱

●麻袋

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	二月限	一九、二	三〇

出來高 二萬枚

錢鈔
上海標金軟調　鈔票軟り

上海標金軟調を入れて地場鈔票は漸騰歩調となり軟りに引けた

◇定期後場（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
期近	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
遠期	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 期近百五十三萬圓　遠期百九十一萬圓

◇現物後場（單位錢）

時間	銀對金	銀對洋	金對洋
一時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三時半	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高 銀對金二萬一千圓　銀對洋二萬二千圓

奧地市況

現物 ▲奉天大洋 四九、五〇
先限 ▲開原大洋 二〇三、三〇　二〇〇

市場電報

現物 ▲安東鎮平銀 四九、六〇
當限 六八二　六八二
先限 ▲哈爾濱大洋 六八二　六九一
現物 三五、二〇　三五、二〇
▲公主嶺錢鈔
奉票現物 [illegible]
鈔票同 一二〇〇圓　五九五〇〇圓
▲哈爾賓大豆
十二月 七六五　七六五
一月 七七五　七七五
二月 七九二五　七八七五
▲同小麥
十二月 一、二七〇〇　一、二七〇〇
一月 [illegible]
二月 一、三三五〇　一、三三五〇

神戶特產

品名	前場	後場
大豆現物	三六〇	三六〇
先物	三六〇	三六〇
豆粕現物	九七	九七
先物	二〇四	二〇四
滿洲小麥	三〇〇	三〇〇
豆油現物	一六〇〇	一六〇〇

東京株式（長期）

銘柄	後場寄	後場引
東株新	一二五五	一二五八
東新	一二〇九	一二〇九
五品當中先	不申	不申
豆信當中先	不申	不申

東京株式（短期）

銘柄	寄	引
新	不申	不申
中	不申	不申
先	不申	一二六〇

大阪株式

銘柄	東新	鐘新
寄値	一一七〇	六三三〇
引値	一一九三〇	六三三〇
高値	一一九〇〇	六三三〇
安値	一一八六〇	六三三〇

銘柄	後場寄	後場引
大株	六六五〇	六六二〇
大新	五七三〇	五七四〇
鐘紡	一五一〇	一五一〇
鐘新	一六二七〇	一六二六〇
東株	不申	不申
東新	一二〇一〇	一二〇三〇
日糖	不申	不申
郵船	三三〇	不申

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二〇一五	二〇一一
一月	二〇八〇	二〇七〇
二月	二一三一	二一三〇

神戶期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二〇二四	二〇二〇
一月	二〇九三	二〇八一
二月	二一四八	二一三六

東京期米

限月	後場寄	後場引
十二月	二〇〇九	二〇〇一
一月	二〇七〇	二〇六〇
二月	二一二八	二一三〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
十二月	五五〇〇	五五二〇
一月	五七四〇	五七四〇
二月	不申	五八七〇
三月	五九一〇	五九三〇
四月	五九九〇	六〇〇〇
五月	六〇五〇	六〇五〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十二月	九一七〇	九一五〇
一月	九四二〇	九三八〇
二月	九五四〇	九五〇〇
三月	九七七〇	九七二〇
四月	九九九〇	九九〇〇
五月	一〇一〇〇	一〇〇九〇
六月	一〇二〇〇	一〇〇五〇

曙の鐘 (132)

倉田潮
河野想多畫

夜船情話（三）

「何うして戀をすれば、女を殺さればならないのですか」

と春木はカンテラの灯で煙草をすいつけながら訊いた。浦吉は默つて立ち上ると燒酎のかめを出して來て、それをコップについで春木にすゝめ、己もまた舌なめずりをしながら、

「舟の習ひなのです」

と語り出した。昔から金華山通ひの舟には執拗な性の道德があつて、二十歲以下の女が密通すると對手の若者は放され、女は遊女に賣られることになつてゐる、しかも、その規約が嚴然と行はれて來たのだつた。さうしないと、その舟は海の怒りにふれて必ず海路に難澁に逢ひ、死にいたらない迄も二度と本國の土は踏めないと信じてゐたのだつた。舟の戀は人に見つけられない譯には行かない。見つけた以上、それが親であつても寸毫のかしやくもなく娘を遊女に賣り放つ。だが、氣強い海の女は汚辱の殘生を送るのを嫌つて、殆ど皆海に投じて死ぬのだつた。

浦吉もそれを思ふと、おしのに對する戀を耐えればならなかつたが、耐えやうとしても耐え得ないのは戀の常である。ましておしのは目立つて彼の後を追ふやうになつて來た。或る夜遲く彼がおしのゝ舟から歸らうとすると、おしのは後を送つて來て、意味ありげに彼を見て笑ひながら「こゝばかりが海ではない。流れて行く先に海はある」と云つた。浦吉はそれを聞くとおしのと戀に落ちても外の海に逃げてしまへば大丈夫だと考へた。そして、思ひ切つておしのの手を握つた。二人は夜の荒海の上で互に抱き合つて、耐えてゐた戀を打ちあけた。

奧州の冬の海は荒れて寒い。舟は木の葉のやうに波に搖れる。しかし、二人は氷風に裾を亂しながら、何時までも抱擁し合つて離れなかつた。

次日から彼は毎夜おしのの舟に忍んで行つて、納舍倉にかくれておしのの來るのを待つた。夜の泊りには舟が眠がつて岸についてゐるので、舟べりを傳つて行くと、わけなくおしのの舟に行けるのだつた。おしのは夜更けて床からもぐり出し舟の上をはつて戀人に逢ひに來た。

二人は危ふく人に見つけられさうになつたことはあつても、仕合せに危難を脱して、まだ本當に見つけられたことは一度もなかつた。見つけられない中に逃げてしまはうと相談して、ひそかに其の日を十二月十一日と約束した。彼の舟は友舟と別れて松島をめぐつて來て、十二月十一日に洋上でおしのの舟に逢ふことになつてゐたのだつた、別れの日に二人は彼の舟で忍び逢つたが、その時も人には見つけられなかつた。歸る時おしのは四艘友舟を渡つて、自分の舟に歸つて行かねばならないのだつた彼はその途中を案じたが、おしのは大丈夫だと云つて強いて一人で歸て行つた。彼の舟はその夜直に松島に向けて出發した。

松島から歸つた夜、約束の十二月十一日の夜に、彼は直木船からはしけをおろして、荒海をそつとおしのの舟にこぎつけた、が、約束のあいづをしても、おしのは姿を見せなかつた。心騷ぎがしたのではないか。それとも此の前逢つた時人に見つけられたのだらうか——彼は闇の中で山のやうな波にもまれながら、おしのの身を案じわづらつてゐた。すると、おしのの舟のへりに細い灯が見え出して、それが次第に浦吉のはしけの方に近づいて來た。彼は逃げようと思つたが、おしのが來たのではないかと思つて、己の小舟をおしのの舟のへりにかくして待つてゐた。灯は彼の小舟の眞上まで來ると、すのこにくるんだ女の死體を彼の舟に放りこんで、思ひ切りよく立ち去つた。死體は勿論おしのの自殺したもので、袂にあつた書置きを見ると、最後に逢つた夜の歸り道に舟の若い衆に見つけられたことが判つた。若い衆は早くから浦吉とおしのの關係を見ぬいてゐてその夜大勢でおしのを捕へ、浦吉の親舟が松島に出發すると間もなく、おしのをつれて其の兩親のもとにかけ合ひに行つたのだつた。

けふの放送

大連 JQAK

十二月八日

▲午後六時五十分 ニユース ▲講話「鳴鶏聲に因んだ盛花と投入」廣田耕司 ▲ハーモニカ獨奏（A）竹に雀と新內流し（永田編曲）（B）ケークウオークダンス（ブレイオー作）（C）波濤を越えて（ローシエス作）永田彰男 ▲浪花節「乃木將軍松樹山」有明亭龍月 ▲漫談「モダン高田馬場」百藤六郎 ▲職業紹介事項 ▲天氣豫報 ▲ニユース

東京 JOAK

十二月八日午前六時三十分

▲講演未定▲放送映畫劇（大阪より）「噂の女」新興キネマ現代劇部 歌川八重子、瀨良章太郎、德川良子、牧英勝▲放送歌劇「トロヴァトーレ」ヴエルデイ作伊庭孝譯 時十五世紀、所スペインの北部 レオノラ姫南部たかれ、イネッ（レオノラ姫の侍女）佐藤あき子、アッチエナ（ジプシイの老婆）豐島政子 マンリーコ（トロヴアトーレ）奧田良三、ルナ伯爵德川漣、フエルランド（ルナ伯爵の家來）下八川圭祐 ルイヅ老たるジプシイ原田潤、其の他大勢TOAK合唱團、伴奏日本放送交響樂團、指揮ニコライ、シフエルブラット、放送指揮伊庭孝

(昭和三年一月廿二日第三種郵便物認可) 滿洲日報 (日刊)

滿蒙新國家成立後は有力な總督制が妥當

滿蒙政策遂行機關に對するわが軍部當局の意見

我滿蒙政策遂行の機關に就て關東軍當局の內意を聞くに大要左のやうである

滿蒙獨立國家成立前は軍部獨裁政治、成立後は滿洲總督制を妥當とする、前者は一の過渡機關にして政治と政略の調和を圖り支那軍閥制禦の必要からで、後者は新國家に接續さすべき新機關で顧問府と稱し、相折衝して滿蒙國是を終始一貫完成し得る有力なる機關たらしめんためである、而して兩者共政治、經濟、交通の各機關を包含せるものなること勿論である【奉天電話】

軍部首腦の重要會議

けさ二宮次長の歸京匆々

【東京七日發】二宮參謀次長は七日午前八時半東京驛着歸京すると共に直に參謀本部に登廳、金谷參謀總長、梅津總務部長、建川第一部長、橋本第二部長等總長室に集り、二宮次長より

一、滿洲各方面の實情

一、今後の滿洲軍の兵力を如何にすべきか

一、今後關東軍司令部に民政方面の事務を掌る部を設置するための職制改正方法

一、錦州方面の事態

等に關し、詳細說明報告し更に本庄軍司令官の今後の滿洲對策に關する意見の具陳について報告をなし、種々重要協議を遂げた後午前十一時半散會した

理事會審議停頓狀態

【パリ六日發】兵匪討伐權に關して日本は依然議長宣言を固執し、聯盟は相當困難な立場にあるが更に支那側が中立地帶反對意向で決議案と中立地帶問題との關連等あり、理事會は目下のところ開會を豫想し得ない狀態にある

起草委員會

收穫無く散會

【パリ六日發】決議案起草委員會は本日午後三時半より四時四十五分まで會合、伊藤氏を招き協議したが遂に何等進展をみず散會した右會合では主として調査委員會の權能に關する決議第五項の措辭につき討議されたが、日本對案たる委員會は若し命ぜられた場合、次の理事會までに撤兵に關する報告をなすべしといふ案は委員會の權限を制限するとの理由で受諾する事を得ずといふ事になり更に修正案も出たが結局決定に至らず起草委員會は更に明日午前會議を續行する筈

學良自身陳謝せざれば斷じて許さぬ

北平武官府投彈事件と我態度

北平におけるわが海軍武官室への爆彈投下は更に日支關係を惡化し酒井駐在武官の如きは「學良自身の陳謝なき限り斷じて許せない」と亢奮してゐるが、北平は今や爆彈事件を中心として日支關係が微妙に動きつゝある、爆彈は正しく支那軍隊の使用するもので武官室正門前の滙文大學校舍より酒井武官の歸邸を目がけて投げ込まれたもので、爆藥力の强烈な事は恐るべきで二間四方位に散發してゐると、事件後直に日支兩國により共同調査が行はれたが酒井武官が記者に語るところによると

當時自分は天津に在つて危く難を免かれたが單に爆藥力が強いとか弱いの問題でなく、帝國海軍の延長たる武官室に事件を釀した事に對しては正々堂々抗議をするつもりで目下本省の指示を仰いでゐる、事件後二日目三十日に學良の使ひが來たがこちらでは單なる見舞として承はりおくといつておいた【寫眞×印は武官府の爆彈跡】

峻嚴な抗議提出

日本の重大決意暗示

【北平六日發】日本公使館より昨日午後張學良の許に文書を以て提出した我海軍武官室投爆事件に關する正式抗議は字句極めて峻嚴でこれを以て帝國の代表機關に與へた重大なる敵對行爲なりとなしこれが回答如何によつては相當の決心ある旨暗示したもので、錦州政權に對する我政府の强硬態度と關聯せる重要な內容を持つものと觀測す

全滿日本人聯合會

けさ十時から奉天において開催

滿蒙問題對策を討議

時局に關する全滿日本人聯合會は七日午前十時から奉天ヤマトホテル地下室において開催された、出席者は

大連大內、田邊、相川、仙波、番外吉田、芦刈▲大石橋小林山下▲松樹山路、東▲營口上田▲遼陽細矢、安達、飯田、生田▲撫順中島、高久、窪田、末廣▲開原佐竹、佐藤▲昌圖青柳▲長春箱田▲安東荒川、藤平▲奉天上田、野口、富村、守田、萩原、石田、入江、木下、中尾、鯉沼、三谷、笹江、菅原

その他總勢五十名餘に達し奉天の上田氏座長に推薦され議案の審議に先立ち緊急動議として大連の吉田氏は政府問責委員派遣の件につき協議の結果、議案を委員に附託することゝなり可決しいよく議案の協議に入る

第一案　滿洲におけるわが政治外交軍事などの全權を有しこれを統轄する最高機關を設置要望の件

右案に關しては大連田邊氏よりこの際三頭、四頭政治を統一した最高機關の出現は絕對必要であることを說明し奉天守田氏はこの方法として來るべき議會に建議案として提出することに滿場一致可決した、その建議案は問責委員上京の際持參せしむることゝなつた

第二案　滿洲政策に在滿邦人の代表を參與せしむべく要望の件

右に對しては奉天の守田氏の說明あり異議なく可決、また代表に關しては全滿日本人聯合會より選出しその方法は委員附託となる

第三案　關外の支那舊政權の掃討に關する件

第一項滿洲治安維持のため山海關以東の支那舊政權軍を掃討すべし、第二項若し中立地帶を設けるとせば絕對に山海關以西たることを要す、右に對しては大連の相川氏の說明あり奉天守田氏は錦州地方に中立地帶を設くることは絕對反對であるとの意見を述べ結局第二項は中立地帶を設置することは絕對反對すに字句を訂正して滿場一致可決

第四條　新國家建設に關する在滿邦人の意見協定の件（新國家は東北四省の民衆を基礎とする）

この議案につき萩原氏の說明あり新國家建設については從來の警制を改革し如何なる國家にせよ東北四省三千萬の民意を基礎とすること、新國家建設についてては事重大問題で更に研究を重ねて又理事會を開き具體的に審議してもさしつかへない事、この際手ぬるい對策を排して東北省を日本の保護國として新國家建設を支那側になさしめること等議論百出したが結局委員附託となり十二時半頃散會した

解決案の二大難關

支那の態度に事態紛糾

【パリ六日發】中立地帶に關する十二ケ國代表會議からの問合せの手紙中の主なるものは「地域の決定」であるが、今一つの重要な點は日本の留保內容を知りたいといふ點である、即ち緊急必要の場合に適當行動を執るといふ點に關するものでこの點につき今少し判然たる所を知りたいといふのである但し決議案と中立地帶問題とは全然別個の問題として取扱はれてゐるので、決議案が纏まつた際中立地帶問題は放棄するか否かは今のところ不明である、中立地帶設置を好まぬ支那政府の態度は益々事態を紛糾せしむるものとの印象を與へてゐる

日本の行動好印象

中立各國視察員の報告

【パリ六日發】理事會六日の形勢は匪賊討伐宣言形式及び中立オブザーバーの勸告權につき日本よりの回訓を待つてゐるが、朝來在滿各國オブザーバーの報告が相次いで到着し何れも日本側の行動に好印象を與へてゐる、午後の起草委員會はセシル卿希望で伊藤氏も加はり日支双方の立場につき檢討を重ねたが南京政府が錦州地帶不要論に傾いた事は理事會を立往生せしむるものと見られ、出席を求むる筈だつた施肇基氏へもこの狀態では別段語り合ふ必要もあるまいといふ事になり本日は出席を求めなかつた、なほ聞知する處によれば南京政府の回訓に基き施肇基氏が決議案宣言文に關する回答を理事會に提出したのは四日であつたが、ドラモンド氏は內容不滿足なるもの故形勢惡化を避けるため一時ポケットに之を納め施肇基氏へ再考を希望した、理事會も痺れを切らし閉會に漕ぎ着けんと苦心してゐるから日本の回訓到着次第急進展するであらうと見られてゐる

英視察員報告

國際聯盟に到着

【パリ六日發】滿洲視察中のイギリス、オブザーバー團は聯盟に對し左の報告を寄せた

一、十二月三日前後錦州は平靜で日本の飛行機が日々偵察飛行に姿を現はすのみ

二、日本兵約百名北寧線新民府の次驛たる柳家溝に殘留してゐるこは新民府への匪賊襲來に備へるためとさる

三、日本兵三百、目下遼河以西にあり新民府及び巨流河に駐屯し匪賊警戒を理由として分遣隊をして鐵道警備に當らしめてゐる然し余等は匪賊襲來を目擊した事はない

四、日本軍は兵員全部を引揚げさせるに十分な軍用列車を新民府に引き込んでゐる

五、長城以北の鐵道線上には未だ支那軍の移動を聞かぬ

米の行動は九國條約に違反

日本の信用他國に劣らず

米上院シ氏の言明

【ワシントン六日發】ミネソタ州選出の農民勞働黨上院議員ヘンリッグ・シプステードク氏は日支紛爭に關しアメリカの態度を非難しアメリカが聯盟に參加し日本に命令しやうとするは九ケ國條約違反である、今日の國際關係において日本の信用は他國に比し劣つてゐない、日本がケロッグ條約の遵守者である事は他國以上だと考へると言明した

北平の學生騷擾擴大

當局優柔に暴動化の危險

【北平六日發】北寧、平漢、平綏三鐵道の發着驛を占領せる學生團は各大、中學生の應援も數を增し七、八十輛の車輛と驛の各室に陣取り構內で炊出しをなし飲食店が出張するなどごつたがへして居る驛員及び乘務員は全部逃亡し鐵道電話も不通となつた、支那側は武力彈壓を唱へてゐるが後難を懼れ優柔不斷引續き公安局長や學校長などが慰撫に努めてゐる、學生側は益々强硬で事態如何によつては暴動化する危險あり今晚も睨み合の儘過ごされるであらう、一方北平外交團は學良に對し列車運轉の恢復方を非公式に要求し我矢野參事官も公安局長を訪問し同樣の談をなしたが支那側が斷乎たる措置に出でぬ限り解決の見込なしと觀られてゐる

反學良運動の前奏曲

【天津六日發】北平學生團の停車場占領は單に學生の意思のみでなく鐵道從業員各種工人團體とも連繫あり非武裝團體の反學良運動の前奏曲でその背後に廣東、直隸、安福各派の動きあり更に共產學生の指導を受け事態收拾は頗る困難となつて來た、學良は武力解散を決意したものゝ學生團は戰略上女學生を矢面に立てゝゐるので威嚇射擊も出來ず全くもてあましてゐる、なほ右學生團は北平大中學生を網羅してゐるが、アメリカ系の淸華大學が參加し居らぬことは注目されてゐる

各地に學生運動

形勢漸く重大化す

【上海七日發】北平學生の上京阻止、南京に於ける北平學生代表の監禁、學生團の請願禁止命令等に刺戟された學生運動は益々猛烈となり北平では更に中等學校學生二千名が大學團に應援して永定門、正陽門、豐臺各停車場を占領し天津、漢口への兩交通は杜絕され形勢愈々重大化しつゝあるが、濟南でも學生團が停車場を占領して上京を迫り政府を手古擂らして居り漢口でも學生代表が省政府に對し請願團の上京を要求してゐる、上海、南京各大學生は南京で監禁された學生の釋放運動のため學生大會を開き政府攻擊の決議を爲しつゝあり、上海學生代表二百名は本日死を決して釋放請願のため赴京する筈であるが學生逐に圍をあや

上海學生團の示威運動

【上海七日發】上海各大學排日救[illegible]

土匪團も活動開始

【天津六日發】北平に學生騷擾發生し反張氣勢濃厚となつて來たのに乘じ塘沽天津鐵路附近の土匪昨日來俄然活動を開始し鐵路をも破壞し兼ねまじき情勢を示して來たが附近の支那軍隊は無力にて今朝天津から機關銃を持つて討伐隊が出動した

北平附近鐵道全部不通

【北平六日發】平綏線も今朝來不通となり北平を繞る全鐵道の運轉停止され全く孤立に立つに至つたので當地の外交團は平津間交通保全の條約上の權利につき抗議すると共に國際列車の運轉を考慮するに至つた

汪精衞氏痛烈に外交政策を糺彈

國民進退兩難に陷る

【上海六日發】當地にある汪精衞氏は蔣介石氏に對し最近錦州中立地區設置又は天津國際管理な聯盟に提議したといふが眞偽如何、事實とせば絕對反對なりとの電報を發し、國民政府の外交政策を糺彈した、顧維鈞氏に對する反對は今や國民政府の外交政策への總攻擊となり聯盟との間に國民政府は今や進退兩難に陷りつゝある

天津學生も起つ

對日宣戰運動を起す

【天津六日發】當地の支那學生は北平の學生運動に刺戟され相呼應して對日宣戰運動を起し氣勢を揚げることになり南開、北洋等の各大學代表三十名は昨夜佛租界で會合し左の決議をなし王樹常に手交することゝなつたが、何時暴動化するやも測られず我軍は警戒を嚴にしてゐる

一、錦州中立地帶絕對反對

二、聯盟を脫退し對日宣戰布告

三、當局は學生義勇軍に武器を與へよ

南京學生團

汪氏に赴京請願

【上海六日發】南京で列車を占領し乘務員を脅迫運轉させ來滬した暴力學生團二百名の南京學生は本日午後四時半伍朝樞氏邸で汪兆銘氏と會見し民衆政治、革命外交實現、東北失地回收、三民主義實現のため汪氏の來京を請願した、汪氏は廣東から胡、伍、陳、孫氏等が數日中來滬の豫定だからその上同氏と共に赴京すると約し民衆政治を力說し團結に當る旨强調したるの結果となるべく形勢重大となつて來た

蔣氏に下野要求

廣東派執行委員通電

【廣東六日發】昨日終了した廣東派國民黨第四次代表會議執行委員は「蔣介石が下野せざれば南京に赴かず廣東に暫時中央黨部を設く」との通電を發したの諸氏中から選定される筈である豫算委員長は森田茂、常務顧問には筆頭總務に森田、輙母木、松田緣、中村(啓)諸氏から二名が選ばれる筈

東北軍の第二旅滄州で兵變

韓、石兩軍應援の下に

【天津六日發】確なる筋への入電によれば今日午後五時頃津浦線滄州に在る東北軍第二旅丁喜春部下の一部は韓復榘、石友三應援の下に兵變を起し學良打倒の一石を投じた

當局の彈壓に益々惡化

【南京六日發】學生の暴動惡化し警備隊と正面衝突し双方負傷者を出すに至つたので、衞戍司令部は彈壓令を發し今曉までに百八十五名(內女三名)を逮捕して衞戍監獄に打込んだ、當局の謝罪、損害賠償を要求し猖獗を極め更に別働隊は打倒顧維鈞、蔣介石等國民政府反對のビラを貼り廻し形勢不穩である

張海鵬獨立宣言要旨

洮南の張海鵬氏が去月廿九日易幟を斷行して國民政府及び張學良より名實共に獨立せることは既報したが張海鵬氏が當時發表した獨立宣言は最も明確に獨立を表明してゐる、全文は頗る長文であるがその前文において民國二十年間の腐敗政治を指摘し蔣介石、張學良の失政を糾彈した後次の如く結論してゐる(張學良を指す)關係を脫離し今後本軍の到る地方は均しく自主獨立し以て保境安民に資し東北大局の根本政權歸一するを俟つてその隸屬統轄に應ずべきを宣告す【四平街電話】

宇垣總督園公訪問

【淸水七日發】宇垣總督は歸任の途次今朝八時半興津に園公を訪ひ治鮮方針並に對滿方針その他につき約一時間に亙り報告十時四十分辭去久能山に參拜午後三時二十分靜岡發途中舞天島に立寄つた

坪井聯隊長戰況講演會

辛島民政署長、小川市長、時局後援會主催で來る十三日午後六時から協和會館において洮昂線に活躍した坪井步兵三十聯隊長の戰況講演會を催す由、市民多數の來聽を歡迎すると

學良全軍を擧げて錦州へ增援の準備

積極的に攻防を策す

【北平六日發】錦州方面に戰端開かれた場合東北軍は全軍を擧げて增援すべく該方面は榮臻指揮の下に數十の壁壕を構築し鐵條網その他攻防工事完成され飛行機よりの爆彈除けの土穴も夥しく掘られてゐる

錦州を死守

學良榮臻に命令

【北平六日發】東北軍幹部は中立地帶設置に絕對反對を表明し日本軍進擊し來らば蔣、張の命令如何を問はず斷乎反擊を決行すると主張しなり殊に少壯派の鼻息荒く最早制止の術なきに至つたので張學良は昨夜榮臻に對し錦州を死守せよとの命令を發した

顧外交部長は私邸で執務

【南京六日發】蔣介石氏は本日午前顧維鈞氏を私邸に招致し國民の反對は余が責任を負ふ故外交事務を余の宅において執られたいと命じ、顧氏はこれに對し

余は事務は執るが全國各會、言論機關が爭つて余に反對して居る、この反對歇まざれば辭職の外ない

と答へた旨發表された、顧維鈞氏は當分蔣氏の私邸で政務を見る筈

劉珍年軍防備

韓軍の攻擊懸念

七日未明芝罘より入港せる某艦客の談によれば、劉珍年は芝罘において日支衝突を避けるため從來極力芝罘における反日運動を壓へてゐたが最近に至つて韓復榘が反張的に態度を變へたゝめ劉珍年は韓復榘軍の襲擊を怖れ俄に芝罘において防備を嚴にして韓軍に對して備へてゐる

國會は六日午後代表大會を召集し北平大學生應援のため七日代表を派遣する事代表の出發前に租界內において大示威運動を行ひ秘密外交、中立地帶設置反對、調査委員派遣反對、顧維鈞氏の査辦、抗日運動厭迫反對、即時出兵等を交涉する事に決したが、一方上海中學生抗日救國聯合會も同じく昨日午後大會を開催三十五校代表參加各學校は七日から一齊に休校する、全國各會一致罷市を斷行し政府に出兵を督促するとの決議をなし大學生團に對抗して氣勢を揚げる事となつた

與黨の院內役員

詮衡とその顏ぶれ

【東京七日發】第六十議會召集も間近に切迫し豫算編成は既に五日與黨、顧相間の折衝で關稅問題妥協なり、協力內閣問題も安達內相の園公訪問の結果現狀維持で押進むこと明瞭となつたので、愈々院內役員詮衡に取りかゝることゝなつたが、常務顧問富田幸次郎氏は旣に議長の後任議長に推され、院內筆頭總務には中村啓次郎氏、山道襄一氏何れかが就任、院內一派を切廻すとの說が有力である、筆頭總務は慣例を破り輙母木桂吉氏が重任せざる限り齋藤一、中村啓次郎兩氏の中何れかが選任される筈で、幹事長は山道襄一氏が事實上の筆頭總務になり總局に當り、後任は小山松壽、一宮房次郎、永井柳太郎三氏何れかである、要するに院內外總務及び幹事長の人選如何によつて總務、部長の顏觸れが決定されるのであつて何れにしても院內外總務は

磯浮宇八、小西和、岡崎久次郎、吉田磯吉、井上剛一、廣瀨德藏、堤康次郎、增田義一、木檜三四郎、加藤鯛一、內ケ崎作三郎、津原武、斯波貞吉、土屋淸三郎、田中萬逸、鈴木富士彌、小坂順造、粟山博、山本厚三、野村嘉六、小川鄉太郞、八木逸郎、野田文一郎、荒川五郎

人事

▲江口定條氏(滿鐵副總裁)七日朝奉天より歸連

▲山西恒郎氏(滿鐵理事)同上

▲八木聞一氏(滿鐵秘書役)同上

▲山ノ井格太郎氏(滿鐵囑託)同上

▲竹中政一氏(滿鐵理事)社外線滿鐵社員慰問を終へ七日朝歸連

▲シ・バーロン氏(佛大使館附武官)七日午前十時出帆のあめりか丸にて內地へ

▲原田貞吉氏(豫備陸軍中將)同上

▲在滿在鄕軍人時局慰問團一行十二名　同上

▲九州日報主催軍隊慰問團一行五十一名　同上

▲キニー氏(滿鐵囑託)同上

▲鈴木豐次郎氏(海軍少佐)家族同伴同上

ばいかる丸

八日午前八時半大連港外着の豫定

蛇角

南京外交部長顧維鈞繇意、學生から辭職勸告を受けた態、頑張ると王正廷のやうな目に遭ふ。

◇

北平學生運動に、政治的黑ん坊がある、正體は反動派か共產派か例によつて不明、不明といふよりもゴッチヤ。

◇

津浦線滄州の東北軍第二旅、學良打倒の兵變を起す、韓復榘の尻押、張韓の反目追々具體化。

◇

女學生を先頭に立たせるのは支那示威運動の常套手段、幼兒を看板にする乞食と同一心理。

◇

馬占山後援の五百餘名、上海から北上の途に就く、共感共鳴驚く可きも、無理にも崇拜者を製造せんとする心理狀態には同情。

東亞の謎 (143)

國枝史郎　作

插畫　伊藤順三

危機から危機へ (十七)

先刻から堂の入口で、瞬の陰に身をひそめながら、眼ばかり出して見詰めてゐた。

伯も一切を直感してゐた。

彼の額からは汗が流れ、胸は激しく躍つてゐた。

彼の横に次郎がゐた。

彼は先刻から喘いでばかりゐた。

「ハ、伯爵！お、伯爵！」

呻くやうな聲で彼は云つた。

その時彼は伯の兩手が、銃をソロくと持ち上げるのを見た。

（うむ、俺も）

と次郎も思つた。

彼は自分が蒙古兵として、蒙古兵の服裝をし、さうして先刻蒙古兵を仆し、その手から奪ひ取つた劍附きの銃を、握つてゐることを

小夜子はヂリくと引き寄せられて行つた。

引き寄せられながらも小夜子は思つた。

（どうせ妾の體なんか、これ迄メチャくに穢されてゐる。誰に穢されたつて同じだ。でもこんな野蠻人の也速該なんかに穢されるのは厭だ。それに此奴の目的は、妾を愛して妾の體を、自由にしやうとするのではなく、さういふ事をすることによつて、妾の體へ一肌へ現はれる、謎の解釋を得やう爲めなんだ。……それを上げたい人は他にある！松下伯爵へ！あのお方へ！）

それで彼女はどうあらうとも、也速該の魅力から遁れやうとして心と體とをもがかせるのであつたが、遁れることは出來なかつた。

それは謂はれぬ動物的の、不可抗力であるからであつた。

彼女はジリくと引き寄せられて行つた。

やがて彼女は臺座まで來た。

彼女の手は自と臺座にかゝつた。

也速該の濡れた紫色の唇が、蛭かのやうに蠢いた。

彼女はやつと是だけの言葉を、

「伯爵様！伯爵様！」

死物狂ひで口から吐いた。

「伯爵様！妾の伯爵様！」

彼女の體は捲き上げられるかのやうに、臺座の側面を上の方へ登つた。

也速該の露出した肥つた股が、盛上がりながら眼の先にあつた、その上へ彼女が乘せられたら……

…………。

彼女の體は登りつゝあつた。

「助けて！伯爵様！妾の伯爵様！」

松下伯は見詰めてゐた。

忘れてゐた。

が、今は氣がついた。

（撃つんだ！畜生、也速該の野郎を！）

彼も銃を持ち上げた。

伯も狙ひを也速該へつけた。

也速該の胸へ、擴げた胸へ。

が、この時叫び聲が、それも洋子の叫び聲が、本堂の方から聞えて來た。

恐怖と、怒りと、悲哀とに充ちた。

「兄さ——ん！」

といふ聲であつた。

「助けてヨ——ッ」

といふ聲であつた。

ブルッと顫え、思はずよろめき伯は銃を下へ下げ、聲の來た方へ顏を向けた。

その時也速該は兩腕を延ばし、小夜子を股の上へ抱上げた。

瞬間鐵砲の音がした。

次郎が夢中で擊つたのである。

と、それの木霊かのやうに、洋子の悲鳴の來た方角からも、同じく鐵砲の音がした。

奉天長春チチハル間の定期航空路を開設する
追て京城大連にも延長計畫
當分は隔日に一回

兒玉遞信省航空局技術課長佐藤朝鮮總督府航空官、島田陸軍々務局航空中佐の三氏は去る三日京城より飛行機で來奉、麥田日本航空會社運輸所長參加の上軍當局と滿洲航空路開設に關し協議中なること既報の如くであるが、聞くところによれば愈々近く奉天、長春、ハルビン、チチハル間の定期航空路開設の運びとなり先づ奉天、チチハル間隔日一回より開始されるに決定した模樣で、なほ本航空路は追つて京城、大連に延長さるべく斯て日滿連絡の一大エポツクを造るわけである【奉天電話】

遼河以東の匪賊を徹底的に討伐
支人側の要望も容れ
自衞手段斷行

滿鐵沿線を脅威する兵匪別働隊等の跳梁止まざるため我軍は支那人側の希望もあり遼河を境さしてそれ以東の兵匪を一人殘さず徹底的に討伐する事に決定した【奉天電話】

警務局の一部奉天に進出
松田高等課長が滯在して
各方面と連絡し警備統制

關東廳警務局の一部奉天進出はかねてより第一線に於て活躍しつゝある沿線各警察署の切望する處であつたが中谷警務局長も最近沿線視察の結果その必要を痛感し、突然これを實現することゝなり、奉天に於ける關東軍、滿鐵、憲兵隊等の連絡、情報の蒐集、警備上の統制等の任務に松田高等課長が當ることゝなり、支那通の末光警部が同伴六日夜大連發急行で赴奉したが、事務所は奉天署內に置き、松田高等課長一行は奉天にて越年、來春まで滯在し形勢の推移に順應する筈である

農民の窮狀に救恤金下賜
青森縣と北海道に
黑田侍從を御差遣

【東京七日發】兩陛下におかせられては本年の北海道並に青森縣下における凶作による農民の窮狀を聽し召され殊の外御軫念遊ばされ七日特に侍從を御差遣並に救恤金御下賜の御沙汰あつた、よつて侍從黑田長敬氏は七日午後十時卅分上野發青森縣へ赴き四日間同縣下の視察をなした上更に北海道に渡り仔細に凶作による農民の窮狀を視察の上十八日歸京、兩陛下に御復命申上げる趣きである

鐵道聯隊勇士
昨夜東京出發

【東京六日發】支那兵匪に破壞された滿洲各地の鐵道修理のため派遣を命ぜられた近衛師團管下の千葉鐵道〇〇聯隊の牛田大尉以下〇〇名の將士は千葉市民の歡呼に送られて六日午後七時二十四分千葉驛發同八時四十四分兩國驛着、直に東京驛に集合し婦人待合室で月桂冠、勝栗、鯣などで岡本師團長、林第一師團長、林警備司令官等が牛田大尉以下の出動將士を招じて奮鬪を誓ひ乾杯、斯くして派遣將士は十一時三十五分萬歳聲裡に勇躍西下した、一行は八日午前十時三十分下關發關釜連絡船で渡滿する

戰線の實感で輿論を喚起
在滿在鄉軍人時局同志會の
內地特派員一行出發

滿洲實情報告旁々母國における時局に對する國論喚起に努めるため全國遊說に赴く在滿在鄉軍人時局同志會の特派員春日兼二郎氏以下十二名は七日午前十時出帆のあめりか丸で內地へ立つたが埠頭には在鄉軍人の各分會が時局同志會の大旆を擁して見送りあめりか丸舷側一面に「先人十萬の碧血をわすれず」「驥驥出で、東亞亂る」等々墨痕太々しく警句を記した十數枚のポスターを張りつけ意氣を揚げる、船室に訪へば一行中の足立氏は

先日二週間の日程で戰線を視て來た結果を交へて時局硬論を內地聯隊司令部所在地、縣廳所在地等主な都市を限なく遊說に廻るつもりですが遊說には二名宛各座に別れ全國隈なく廻るつもりです、豫定は今月一杯、聲の續く限りやりますよ

さ潑剌たる元氣で語る、愈々船が岸壁を離れるや見送りの同志より「銃聲を張りあげて聲援に努める、聲のあらん限り、聲の續く限り叫び續けます」と送られる者亦之に應へて颯爽たる元氣で出發した

下賜の眞綿を宮相から傳達

【東京七日發】曩に皇后、皇太后兩陛下より滿洲派遣軍に御下賜の御沙汰あらせられた防寒用眞綿は七日調達を終つたので今朝一木宮相より陸軍側に傳達した、右眞綿は一人當り二十匁のもので陸軍では直に滿洲に急送することゝなつた

繃帶を下賜

【東京七日發】皇后陛下には七日午前十時半傷病兵に對し繃帶を御下賜あらせられた

順承王府の「正門」をパチリ
支那兵がグルリと取り巻く
北平にて 加藤特派員發

「今度は北平だ」平津の日本人の誰もがピンとそう感じた、その矢先だ、海軍武官府の爆彈事件があの靜かな古都の樣な

北 平に大きな波紋を起した、記者(加藤特派員)は正に風雲急を告げ導火線に火の放たれた北平に飛ぶ、三日の朝だ、張學良殿下の掛村に集つてゐる灰色の支那兵におびやかされ正午、北平の土を踏む、とたんだ、學生連の大デモにぶつつかり「矢張りしつかりしなければいけない」と覺悟を決める、大デモは馬占山が再度の力味ぶりに感激して募金中の學生で、可愛い事には一々金額に應じて受取證を出す、この淺薄で側へ樣のない惡しいデモに愛情をつかせ

滿 鐵公所に石井所長を訪ふ「いやあ、さうさう來たれ、忙しいかつて、あゝ忙しいよ、今が一番大事な時さ、滿鐵本社へ訓電を仰ぐのにこゝもさ出先の我々は全く努命に疲るゝさ云ふ形さ」いづれ又さ約して同所の田草川氏と共に市內を廻る、最初に今次事件の導火線さなつた海軍武官府を訪れる、酒井武官に云はすさ「事の大小を問はず國家の延長たる武官府に爆彈を投じた以上只では濟まされない」事實問題は重大である、白いか黑いかハツキりさせる必要がある、從つて酒井武官の捲くし立てる樣な元憤ぶりは當然である、武官府を覗き込む樣に建つてゐる滙文大學の校舍

爆 藥の餘る强烈な事「こゝさこゝさ……」田草川氏が詳細に爆彈の程度を話してくれる「もし俺が死んでゐたら酒井一人を殺しやせんだらう、國民は俺を犬死させせん事はよく知つてゐる」帝國海軍を背負つて立つてゐる酒井中佐の鼻息は物凄い、事變後四日目爆彈の穴は枯葉がつまつてゐる、次に學良がゐるさ言はれる順承王府に行く「寫眞は危ないぞ」さ注意はしてゐたが、來て見るさヤツつけツちまへさいふ氣になる「こゝですよ」殆ご一廓をなした古い建物だ

武 裝いかめしい學良直屬の兵が一間每に立哨してゐる、その間を傳令らしい自轉車隊が恐ろしいスピードで走り廻つてゐる、城角にはすつかり土嚢が築かれ物々しい、思ひなしか殺氣が漲つてゐる「やるぞ」山口寫眞班員は思ひ切つて車から降り、三十人許りの正規兵が啞然さしてゐる正門をパチリと寫してしまふ「しめた、飛ばせ」しかし運がつた、次の辻まで車が走つた時既に傳令は早廻りして車にストツプを命じる、何時の間にか自動車は正規兵にグルリと取圍まれてゐる、「來罷」來いさ云ふのだ「行け」するさ車內を一見した彼等は

日 本人だなと直感するさ同時に急に鄭重になる この間王府の內部との間に次々に使者が派遣されその度每に支那兵の頭數が增えてくる、自分達は此處が度胸の見せ所と支那兵看視の中を悠々と煙草に火をつけ煙りを吐きかけてやつた、そして滿洲日報の記者だと名刺を見せると結局フイルムを出せとも、好いとも惡いとも云はず、よろしいと解放する、滑稽なのは忙しいから早くしろと怒鳴ると「好々」と馬鹿に下から出た事でこゝらにも如何に學良が日本人との間に事を起さしめないといふ事に努力してゐるかゞうかゞはれる一行は朗かに口笛を

吹 き旅舍に戻る、聞けば學良は日本人一人に巡警十名位をつけて萬一を慮り事件惹起を防いでゐる【寫眞は順承王府の正門】

暮祭り入場料を兵隊さんに贈る
協和會館と大正小學校とで
兒童館の演奏舞踊會

東洋平和のため在留同胞保護のため雄々しくも零下何十度の酷寒に心身を曝して戰ふ皇軍や警官に對して出來るだけの慰問をしやうさ小さいながらも赤心を披瀝した北公園兒童館は五日沙河口兒童館は六日それぞれ幹事會を開いて今年の暮祭りをどうしやうさ相談した北公園の方は日本橋、松林、大廣場等の小學校四、五年級の小さい幹事が二十名、沙河口の方は下藤繁徳、大正小學校から十九名集まつて相談した結果北公園兒童館は十九日に協和會館で、沙河口兒童館は二十日に大正小學校で暮祭りの演奏舞踊會を催しその入場料全部を出動軍隊や警官に送らうさ云ふことになつた、兒童達が異口同音に述べたことは「これまで毎年暮祭りには大人から澤山の贈り物を貰つたから今年は贈り物をお斷りしてこちらから大人に贈らう」と云ふのであつた、それで各小學校生徒に獻金袋を配つて一錢でも二錢でもよいから入れて暮祭りの日に各自に會場に持つて來て貰ふことにし會場入口には獻金箱を置いて一般人の獻金も受けることにした、それにカナリヤ子供會が暮祭りを應援しやうさ申出て無報酬で出演することになつた、又兒童館音樂部のバンドは當日演奏するのだとて進軍、遼陽城などをもう一生懸命練習し始めてゐる

附近部落を掠奪しつゝ公太保農場襲擊
擊退され馬賊集結中

大民屯、小民屯附近に橫行せる樣字兒を頭目とする馬賊團二千名は既報の如く勸業公司公太堡農場を掠奪策謀中であつたが、五日午後十時五十分五道溝より柳家高棚を經て附近を盛に掠奪しつゝ遂に農場事務所の襲擊を開始し斥候三十名は農場周圍より發砲、農場員は應戰した、周壁近く押寄せる賊團に手榴彈小銃を以て對抗せるため賊は暗にかくれ一先づ西方に退却したが更に賊團は途中各部落に於て軍資金を調達し大舉して再び農場を襲ふべく目下大部隊を集結中因に機關銃數挺を有する賊團に對し僅に數挺の小銃を以て對抗することは到底不可能にして三百餘名の鮮人は戰々兢々避難準備を急いでゐる、七日午後一時報に接した勸業公司では直に守備隊に通報し軍の出動を請願した【奉天電話】

新城子虎石臺に避難民殺到
虎石臺守備隊が討伐

新城子附近の馬賊團約百名は二隊に別れ同地より西南方二十二支里の支那部落にあり七日早朝虎石臺守備隊は大橋方面より討伐に赴いたが、同地一帶の避難民は新城子虎石臺停車場に殺到してゐる、奉天署からは今曉應援のため山本警部補以下七名現場に向つた【奉天電話】

馬賊團と三日間交戰後彈藥つき掠奪さる
通遼の華興公司農場

奉天大倉組への入電によれば通遼の華興公司農場は過般來邦人從業員が飛行機で避難後鮮支人廿七名が留守してゐたところ去る廿七日北方より約七百名の匪賊團來襲し事務所を遠卷きに包圍の上使を派して降伏を迫り武器財產の引渡しを要求した、留守の者はこれを拒絕し直に双方の間に激戰が開始された、かくて廿九日迄双方の間に交戰が續けられたが、同夜農場側は彈藥つきたゝめ遂に脫出の已むなきに至つた、これと同時に匪賊團は農場事務所に殺到し機械器具を掠奪放火して逃走した、因に同地方には鮮農小作人若干名殘留してゐる筈であるが、消息は今のところ不明【奉天電話】

使用人避難し來る

既報通遼の大倉組新興公司農場使用人は去る四日漸く打通線甘旗卡驛にたどりつき打通線にて打虎山通過七日正午奉天に着いた、因にこれら避難者の話によれば本年收穫の粱その他の農作物、農具機械、種牛、種草等掠奪燒棄されその損害莫大であると【奉天電話】

日蓮宗慰問使

日蓮宗では管長代理として本山永寺貫主平間僧正を正使に同宗社會課主事加藤通温師を副使に任命來る十一日大連埠頭着、同日午後四時關東州日蓮宗寺院主催の(春日町大連寺式場)國禱會午後六時戰死者追弔會午後七時講演會に導師となり十二日より旅順及び沿線を經て北滿方面に慰問追弔に出張し朝鮮經由歸京の由

カード階級に正月を贈る
派出所を通じて調査

歲の瀨が迫つて各家庭では樂しい春を迎へる準備に忙しい時この寒さに煖房の設備どころか其日の糧すら得ることが出來ず悲慘なドン底生活を送つてゐる不幸な邦人も尠くない、杖と賴む夫が永の病で家族一同が餓ゑてゐるもの、寄る年波を孤獨に泣く哀れな老母、失業と病と戰ふ痛ましい家庭など凍鄉の空に不幸を喞つ人々これ等カード階級に對し世の同情を求め、せめて正月だけも一片の餅を贈りたいといふので大連署保安係では七日附各派出所に貧困者調査を命じたが廿日頃までには調査完了の豫定でその結果例年の如く各方面の篤志家の同情に訴へる筈である

白米を寄贈

双葉幼稚園ではさきに感謝祭を催した際園兒が持ち寄つた白米二斗を七日大連署を通じ貧困者に贈つた

衣類卅點を

七日午前十時ごろ大連市役所社會課に匿名の一女性から衣類三十點貧困兒童救濟に屆けて來た

英艦乘組員カフエーで暴行

六日午後九時二十分市內岩代町三番地カフエー東京で英國ホールライン會社汽船シテイーオブアンセンズ號の舵手エルアール・テイラー(三〇)が勘定のことから言ひ掛りをつけ植木鉢、痰壺、硝子窓を散々破壞し、果ては電話線を切斷するなど亂暴の限りをつくしこれを制止せんとした女給春井八重子(二三)にも毆打全治一週間の傷害を與へた、急報により大連署員駈つけ本署に檢束、取調べ中である

社外線社員は元氣で活躍
總裁代理で各地を慰問した
竹中滿鐵理事歸連談

內田滿鐵總裁代理として奧地軍隊及び社外線勤務滿鐵社員を慰問した竹中理事は七日朝歸連したが次の如く語る

四洮、洮昂からチチハルに出てそれからハルビンを經て吉長に廻り北寧線も新民まで行つて軍隊、傷病兵、滿鐵社員を慰問した、各地の滿鐵社員は非常に喜んで會社の首腦者がこれほどまでに我々のために意を用いて吳れるかと感涙にむせぶ者さへあつた、社外線派遣員は體格、意氣ともに元氣揃ひの者ばかりで非常に人選宜しきを得てゐるために格別疲勞してゐる樣子もなく衞生狀態も至極良好であつた一人病人があつただけである戰鬪中は職掌などは構つて居れず皆彈丸雨飛の中で活動したが一人の死者も出さなかつたことは天佑だと思つてゐる

時局軍事映畫會

映畫「昂々溪戰」を中心に本社主催「護國祈願祭」實況」も映寫
今夜七時から滿日講堂で開催
◇…場內整理料として金十錢申受けます
主催 滿洲日報社

外人船員檢束

目下入港中のノールウエー汽船タロンガ號の乘組員ヂセンソン(四九)ペナム(二九)クリスチヤム(二九)スーレム(二九)の四名は六日午後九時ごろ各所を飲み廻つて酩酊し市內濱速町カフエー麗人會館で約五圓の飲食をなし、勘定をさると女給に食はせたチキンライスの代金は支拂はぬといふを理由に勘定の踏み倒しをせんとしたので大連署員が檢束

船長を呼出し說諭したところ船長は留置して吳れと取り合はず種々交涉の結果勘定を二圓に負けることで解決放還した

警備電鈴調查

小崗子署では年末警戒を開始すると共にいよいよ犯罪期節となつたのでかねて管內有力商家に取つけてある四百餘箇の警備電鈴を七日朝非番員總出動のもとに一齊に調査を行つた

旅順市民大會へ後援會出席

旅順では七日午後六時から昭和閣に於て市民大會を開催するので時局後援會からは小川會長、恩田、小野、寶性の各委員出席する筈

沙河口に强盜

六日午後六時十分ごろ市內沙河口西町一五三支那酒屋源興泉こと張六竹方へ一名の强盜侵入しニツケル製拳銃を突きつけて家人を脅迫し金五圓小洋三十圓を强奪して逃走沙河口署では目下手配して犯人嚴探中

鈴木少佐赴任

旅順海軍無線電信所長より橫須賀海軍水雷學校兼通信學校教官に轉勤を命ぜられた鈴木豐次郎少佐は家族同伴七日出帆のあめりか丸にて離連任地に赴いた

釋尊成道會

市內天神町常安寺にては明十二月八日午後六時より釋尊成道會法要を營み一般參詣者に對しては甘酒五味粥の接待ある由

天氣豫報

八日 北西の風(曇)後晴

各地溫度

	七日午前十一時	六日最低
大連	四、一	五、八
旅順	三、二	三、七
營口	零下〇、六	零下一、五
奉天	同 三、七	同 三、〇
長春	同 七、二	同 一、五

暴風雨警戒解除

七日午前十一時遼東半島一帶の警戒をとく

けふの小洋相場(正午)

金百圓は二二四圓二〇錢

暗流阿修羅館 (265)

生田蝶介 作　挿畫 藤井耕達

乃 傷（九）

「私は怨みを呑んで戻りました。寝ることも出來ません、食べ物も咽喉に通りませんでした。世の中がまつ暗になつたやうに思ひました。ぶつ／＼と怒りが黒く燃えあがるのです。もうどうしてよいかわかりませんのです。上様もなければ自分もないのです。先祖に對して濟まぬといふ思ひで一ぱいでした。どうしてくれやうといふ怨みの網でくすぼつてゐました。が、まだ恨みは寒ませんでした。で、その次の日、御城を退ると、築地のお屋敷に伺ひました」

「ふん、それで、意知殿は逢はれたか」

と對馬守は、善右衛門の顔を見た。

「お目にはかゝれました」

「よく逢つたな」

「親にもまして尊大だとは誰も云つてゐました。私にもさう思はれるのです。覺悟はして參つたのでした。が、案外、すぐに逢つていたゞけたのでした。

やはり、何の用事で來た。と不機嫌さうに訊かれたのでした。それで系圖を大老にお貸ししたことから、前の一部始終を話し、大老はその樣なものは知らぬとのことに腑におちない數々を話した上、

――もしや、貴方の方におありではないかと思ひまして、夜分、無禮にもかく參上いたしました。

と云ひました。

が、意知殿は、うるさいな、とでもいふ風に一寸眉を動かしたが

――其方は父意次に貸したと云ふではないか、私のところに催促に來たとて私に貸る道理はない。

と、にべもなく云ひ切るのです、ほんとに知らぬのか、それとも知つて知らぬ顔をするのか、冷たくおもひました。本來ならば、それは困るであらう、私が父上によく訊いて見てやらう。といふのが當り前だとおもひます」

「さうあるべき筈である。何といふ親子どもであらうな」

「それで、私は、父上に貴方から訊いていたゞきたい。といふことを云ひました。ところ、

――私はいやだ、私は訊くことはいやだ。父は父、何をしてゐるか知らないが、勝手なことをしてゐるであらう。私は父のすることは嫌ひだ、父の爲たことに干渉することも嫌ひだ、從つて父の爲たことに責任はもたれない。父の爲たことに對して、私のところに來るのは間違つてゐる、血迷つてゐる。たわけ者が！

が、私には、どうしても二人の間に連絡があるとしか思へませんでした。この野郎、しらばくれて居やがつて、と思つたのです。

――それではどうあつても――

――くどいな。だが、それほど大切の品であつたら、定めて一札の書類が渡してあるであらう。その證書を見せて貰はう。

――證書。

私は思はず「あつ」と云ひました。男と男、まして、大老の人格を信じればこそ門外不出の品を貸したのです。信じないものを、たとへいろ／＼の義理があるからとて何で貸すものでございませう。だのに、證書とは、何といふことでせう。

――證書。そのやうなものはいたゞきませんでした。證書なぞといふものは信の置けない下々の書くものです。

――證書なくして何が信じられやう。其方はそのやうに云ひがゝりを云つてどうしやうといふのか

この言葉で親子なれ合ひで仕組んだことと感付きましたのです。

そして、もうどの樣にしても再び私の手に、佐野家の系圖は戻つてくることはないと思つた時、私は身體中の血潮がとまつてしまふかと思ひました」

キネマと演藝

映畫界の總決算 昭和六年度（一）

昭和六年度の映畫界は實に多事多端であつた、回顧して見ればそのいづれもが映畫の向上發展にとつての階段であり試練である、今月別にして主なる事件を列擧すれば左の如きものがある

▲一月 壽之助、若水絹子等下加茂退社金龍館に實演、マキノ爭議依然續く、日本劇場キノ新職制をとる、日活の小出眞弓君感光裝置を發明、阪妻大日本自由プロダクションを組織ダグラス及び監督フレーミング來朝、大町北造氏日本發聲映畫を創立、國際教育映畫協會文部省へニュース交換の申込み、各國に教育映畫の輸入税撤廢運動起る

▲二月 映畫スターの保險流行、大阪の東洋劇場工事着手、土橋兄弟トーキー機發明、蒲田西大三氏光力增感裝置を完成、興行制限を中心に活動寫眞協會と興行組合が聯合會を開く、文部省民衆娛樂調査委員會をつくる關西セールスマン倶樂部出來る日活撮影所の夜間料廢止、常設館サービス競爭時代、ロシヤ映畫輸入業者に當局の眼が光る、東和商事大阪支社設置、監督俳優の爭奪戰起る、東亞映畫の配給網成る

噂話

十二日に協和會館で觀金舞踊會を開く大連舞踊研究所では出動將士留守宅慰問のために招待券百枚大連署を通じて寄贈した

▲東活實演隊の「出征夜話」は近く大日活に脚本を送つて來る筈であるが▲正味約一時廿分を要する内容の充實した出し物で既に撮影所で稽古にかゝつてゐると

來滿に決定した東活撮影實演隊

現代劇部のみとなり 正月第一週に大日活に出演

東活撮影所では「北滿の落花」撮影隊の現代劇部と共に澤村國太郎らの時代劇部俳優を總動員して正月休暇を利用し一大レヴュウ團を組織し大々的に駐滿軍隊を慰問すべく計畫中であつたがその後各種の事情より時代劇部俳優の來滿は中止となり撮影隊として來滿する現代劇部のみが實演と映寫で軍隊慰問をなすことに決定し、一行は來る廿日前後來連し直に沿線各地を巡回軍隊慰問と撮影をなし、正月一日から大日活の正月興行に出演、滿洲事變を背景とした「出征夜話」を實演、旅順を振出しに奉天、長春にても公演する豫定で準備を整へつゝある、これがため大日活では既報の正月プロの順序を變更し、第一週を東亞週間として「白蝶秘門」前篇と「線の地平」を上映、幕間に「出征夜話」を上演することゝなつた、なほ來滿する一行は根津新、井手鐵之助両監督の外、南光明、武村新、東嘉久義、岡田靜江、大内純子、宮城直枝ら男優七名女優六名である。

日本廿六聖人

◇この一篇が日活の手によつて製作されるまでの經緯、その他日本基督教史の幾頁かを繙くお說教じみた撮影余談はファンにとつて何等の感激もないことだらうからこの一篇を日活超特作品時代劇といふところに觀點を置いて試寫を見た

◇先づ池田富保の脚色は日本基督教殉敎史の幾頁かを教科書用映畫らしく平面的に至極あつさりと纏め上げて、大衆的興味を單純な母性愛へ集中してゐる、一見甚だ平凡であるが、その平凡なところにこの大作を纏め上げた手際は流石に老巧なものである

◇從つてその監督手法も至つて平々凡々、坦々たる道をドライヴするが如く事件を進めて、そこに映畫的進展を求めず一途に圓滑な仕上げの常道を辿つて全十九巻を可もなく不可もなく完成したところ、これまた池田富保一流のお手際である、たゞ後半、強ひて觀衆の涙を求めた子役の使ひ方に反省がないのは物足らない所だが、あれで立派に觀衆を泣かして、この一篇の大衆的話題を提供してゐるそこは池田監督がよく呑み込んで日本映畫の常套的手段の大上段の構へでもある

◇キャストに就いてはそれこそ眞のオールスターキャストで名前のあげられてゐるだけがザット百人だから、日活の豐富な俳優群に頭を下げるより仕方がない、そこで印象に殘るのを一寸あげて見ると澤田清、山本嘉三郎、新妻美助、高勢實乘、伏見直江らで、山本嘉一のペトロバプチスタ神父は扮裝が上手過ぎて山本嘉一といふ印象が薄く、斷然芝居の巧味は中村美雄のルドビコ傑市獨りに獲はれた感じである、特別出演の片岡千惠藏はフランシスコ傳吉に扮してゐるが、出し方が上手なためにあれだけのキャストのうちでハッキリと目際つところ、これまた池田富保の老練さの靈すところである

◇キャメラは池田監督とのコンビ酒井宏でムラがなく調子が整つてゐる點、近來の名キャメラで、超特作品らしい品格も亦このキャメラに負ふところが尠くない、結局は日活が總動員し得る監督池田富保が物するところ豐富な俳優陣と贅澤極まるセットを誇る所謂日活時代劇超特作品と言ふ型を固守した映畫日本基督教殉教史梗概書である【八日から帝國館上映】

本社特選 新棋戰（其四）

平香交 七段△溝呂木光治
平手番 六段▲山北孫三郎

【圖は七四歩迄の局面】

△溝呂木氏「持駒」歩
▲山北氏「持駒」ナシ

△六五歩 ▲五三銀
△六六銀 ▲五一角
△三七桂 ▲六四歩
△同 歩 ▲同 銀
△六五歩 ▲五三銀引

【土居八段講評】▲溝呂木君は敵の六五歩に對し若し同銀と取ると七七桂、六四歩、九七角とのぞかれ頗る不利の局面に陷る故本譜の三五銀引は已むを得ない▲但し以下緩い手を指して居ては次第に壓迫さるゝ惧れあれば本譜の六四同銀は惡い。茲六二飛と轉じ敵の作戰を牽制する意味に我れより攻勢を執る處である。

【萩原六段解說】山北氏の六五歩は六六歩留めの時より考へて居た順で、この手があゝから先の六六歩留は至當な手となるのである。溝呂木氏の五一角は敵の三七桂、四五桂の順を避けて、模樣によつて七三角、八四角出を窺つて居るのである。山北氏の三七桂は五五歩と指掛けても未だ早いので五筋より何れ攻める準備に出たものである。溝呂木氏の六四歩は五二金と上る方が順であらうが飛車の横利きを消すし、五三銀の進退を十分にする爲めに、後手を引くがかく指したのである。